



取扱説明書

ビジネスプロジェクター

EB-1795F

EB-1785W

EB-1781W

EB-1780W

マニュアル中の表示の意味	6	コンポジットケーブルで接続する	25
プロジェクターを使用する前に	7	USB機器を接続する	26
本機の特長	8	USB機器のデータを投写する	26
かんたん投写	8	USB機器を接続する	27
らくらく無線投写	8	USB機器を取り外す	27
柔軟な接続性	9	書画カメラを接続する	27
コンピューターと接続する	10	リモコンに電池を取り付ける	28
モバイルデバイスと接続する	10	リモコンを操作する	28
会議をもっとスムーズに	10	レンズカバーを開く	30
プロジェクターの各部名称と働き	11	プロジェクターの基本機能を使用する	31
プロジェクターの各部名称 - 前面	11	プロジェクターの電源を入れる	32
プロジェクターの各部名称 - 背面	12	ホーム画面	33
プロジェクターの各部名称 - 底面	13	プロジェクターの電源を切る	35
プロジェクターの各部名称 - 操作パネル	13	日時を設定する	36
プロジェクターの各部名称 - リモコン	15	メニューの言語を選択する	38
プロジェクターを準備する	17	設置モードを選択する	39
プロジェクターの設置	18	リモコンで設置モードを変更する	39
プロジェクターの設置・取り付け	19	メニューから設置モードを変更する	39
投写距離	19	映像の高さを調整する	41
プロジェクターを接続する	20	映像の形状を補正する	42
コンピューターを接続する	20	自動タテヨコ補正	42
USBケーブルを接続して映像と音声を出力する	20	自動タテ補正	42
コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する	21	フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する	43
HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する	22	台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する	44
スマートフォン・タブレット端末を接続する	23	Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する	45
ビデオ機器を接続する	23	ズームリングで映像の大きさを調整する	48
HDMIケーブルで接続する	24	フォーカスボタンで映像のピントを調整する	49
コンポーネントビデオケーブルで接続する	24	フォーカスリングで映像のピントを調整する	50

投写映像を切り替える.....	51	リモコンでコンピューターのマウス操作をする.....	80
映像のアスペクト比を設定する.....	53	リモコンでポインターを表示する.....	82
映像のアスペクト比を切り替える.....	53	ユーザーロゴを設定する.....	83
アスペクトモードの種類.....	53	複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正.....	86
各アスペクトモードの投写イメージ.....	54	プロジェクターにIDを設定する.....	86
カラーモードを設定する.....	56	操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する.....	86
カラーモードを変更する.....	56	複数のプロジェクターの映像品質を合わせる.....	88
カラーモードの種類.....	56	セキュリティ機能.....	89
オートアイリスを設定する.....	57	パスワードプロテクトの種類.....	89
映像の色合いを調整する.....	58	パスワードを設定する.....	89
色相、彩度、明度を調整する.....	58	パスワードプロテクトの種類を設定する.....	91
ガンマを調整する.....	59	パスワードを入力する.....	91
音量ボタンで音量を調整する.....	62	操作パネルのボタン操作を制限する.....	92
プロジェクターの便利な機能.....	63	操作ボタンロックを解除する.....	93
2つの映像を同時に投写する.....	64	セキュリティケーブルを取り付ける.....	93
2画面投写できない入力ソースの組み合わせ.....	66	ネットワーク上のプロジェクターを使用する.....	94
2画面投写中の制限事項.....	66	無線LANでの映像投写.....	95
PC Free機能で投写する.....	67	プロジェクターの無線LANを設定する.....	95
サポートファイル形式.....	67	Windowsで無線LANを設定する.....	98
PC Free使用時の注意事項.....	68	OS Xでの無線LANを設定する.....	98
PC Freeのスライドショーを開始する.....	68	無線LANのセキュリティを設定する.....	98
PC FreeでPDFファイルを投写する.....	70	サポートするクライアント・CA証明書の一覧.....	100
PC Freeで動画を投写する.....	72	QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する.....	101
PC Freeの表示オプション.....	73	NFC機能を使用してAndroid端末に接続する.....	101
投写画面上の手の動きでプレゼン进行操作する.....	74	USBキーを使って接続する（Windowsのみ）.....	102
タッチプレゼンターの制限事項.....	75	モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）.....	104
映像と音声を一時的に遮断する.....	77	Screen Mirroringを設定する.....	104
映像を一時的に停止する.....	78	Windows 10でScreen Mirroring接続する.....	106
画面の一部を拡大表示する.....	79	Windows 8.1でScreen Mirroring接続する.....	107

Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する	108
セキュアHTTP.....	109
メニューからWebサーバー証明書を設定する	109
サポートするWebサーバー証明書の一覧	109
プロジェクターを制御する	111
Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する	112
Webブラウザで証明書を設定する	114
ESC/VP21コマンドを使用する	116
ESC/VP21コマンドを使用するための準備をする	116
ESC/VP21コマンドリスト	116
通信プロトコル.....	117
メニューの設定	118
プロジェクターメニューを操作する.....	119
ソフトキーボードを操作する	120
ソフトキーボードで入力可能な文字	120
画質メニュー	121
映像メニュー	123
設定メニュー	125
拡張設定メニュー	127
ネットワークメニュー.....	129
ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定	130
ネットワークメニュー - 基本設定メニュー	131
ネットワークメニュー - 無線LANメニュー	132
ネットワークメニュー - その他メニュー	134
ネットワークメニュー - 初期化メニュー	135
節電メニュー	136

情報メニュー	138
情報メニュー - プロジェクター情報	138
Event ID一覧	139
初期化メニュー	141
メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）	142
USBメモリーを使って一括設定する	142
コンピューターを使って一括設定する	143
一括設定でエラーが発生したときは	144
プロジェクターをメンテナンスする	145
レンズを清掃する	146
本機を清掃する	147
エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする	148
エアフィルターおよび吸排気口を清掃する	148
エアフィルターを交換する	148
ランプをメンテナンスする	150
ランプを交換する	150
ランプ点灯時間を初期化する	154
リモコンの電池を交換する	156
困ったときに	157
トラブルの対処方法.....	158
インジケーターの見方.....	159
ヘルプの見方	162
映像や音声に関するトラブル	163
映像が表示されない	163
USBディスプレイの映像が表示されない	164

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される.....	164	消耗品.....	176
ノート型コンピューターから映像を出力する.....	164	スクリーンサイズと投写距離.....	177
Macのノート型コンピューターから映像を出力する.....	165	対応解像度.....	180
「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージ が表示される.....	165	本機仕様.....	182
映像の一部が表示されない.....	165	接続端子.....	183
映像がゆがむ.....	166	外形寸法図.....	184
映像にノイズが入る、乱れる.....	166	USBディスプレイのシステム要件.....	185
映像がぼやける.....	167	IEC60950-1 A2対応 安全規格対応シンボルマーク.....	186
映像の明るさや色合いが違う.....	167	用語解説.....	188
音が出ない、小さい.....	168	一般のご注意.....	190
PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない.....	168	電波法による規制.....	190
プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル.....	169	使用限定について.....	190
電源が入らない、予期せず切れる.....	169	本機を日本国外へ持ち出す場合の注意.....	190
リモコンで操作できない.....	169	瞬低（瞬時電圧低下）基準について.....	190
パスワードが入力できない.....	170	JIS C 61000-3-2適合品.....	190
「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示 される.....	170	表記について.....	190
タッチプレゼンター機能が動作しない.....	170	商標について.....	191
ネットワークに関するトラブル.....	171	ご注意.....	191
無線LAN認証できない.....	171	著作権について.....	192
Webブラウザを使って設定を変更できない.....	171		
ネットワーク経由で投写した映像が乱れる.....	171		
NFCタグが読み取れない.....	172		
Screen Mirroringで接続できない.....	172		
Screen Mirroringの映像・音声乱れる.....	172		

付録 174



オプション・消耗品一覧.....	175
スクリーン.....	175
ケーブル.....	175
設置用金具.....	175
外付けオプション.....	176

マニュアル中の表示の意味



安全に関する表示

本製品および取扱説明書には、製品を安全にお使いいただくために絵表示が使われています。

人体への危害や財産への損害を防ぐために、次の絵表示で表記された説明は、内容をよくお読みいただいた上で、説明に従ってお取り扱いください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	注意して取り扱わないと、本機の故障や損傷の原因となるおそれがある内容を記載しています。
	知っておくと便利な関連情報を記載しています。
【ボタン名】	リモコンまたは操作パネルのボタン名称を示しています。 例：【戻る】ボタン
[メニュー/設定名]	プロジェクターのメニュー、設定の名称を示しています。 例： [画質] メニューを選択する ☛ [画質] > [アドバンスト]
▶▶	関連事項を記載しているページを示しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。

プロジェクターを使用する前に

本機の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

- ・ 「本機の特長」 [p.8](#)
- ・ 「プロジェクターの各部名称と働き」 [p.11](#)

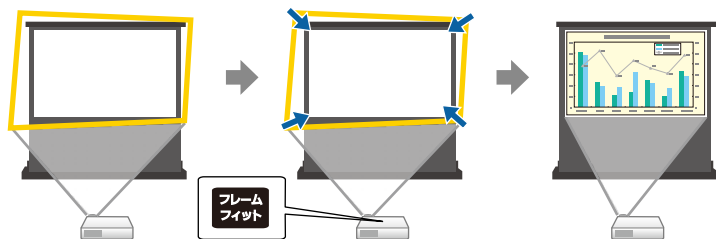
本機は、すばやく簡単に投写準備をすることができ、状況に応じてさまざまな機器と接続できる柔軟性を備えたプロジェクターです。各機能の特長と各部の名称について説明します。

▶ 関連項目

- ・「かんたん投写」 p.8
- ・「らくらく無線投写」 p.8
- ・「柔軟な接続性」 p.9
- ・「会議をもっとスムーズに」 p.10

かんたん投写

- ・電源コードをコンセントに差し込むだけで本機の電源をオンにします（ダイレクトパワーオン）。
- ・映像信号を検出して、自動的に本機の電源をオンにします（オートパワーオン）。
- ・ホーム画面を使って、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。
- ・リアルタイムで自動的にタテヨコの台形補正を行い、常にゆがみのないスクリーンを表示します（自動タテヨコ補正）（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。
- ・自動的に投写映像のタテ方向のゆがみを補正し、常にゆがみのない映像を表示します（自動タテ補正）（EB-1780W）。
- ・投写スクリーンに合わせて映像のゆがみを補正して投写します（フレームフィット機能）（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。



▶ 関連項目

- ・「自動タテヨコ補正」 p.42
- ・「拡張設定メニュー」 p.127
- ・「プロジェクターの電源を入れる」 p.32
- ・「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 p.43

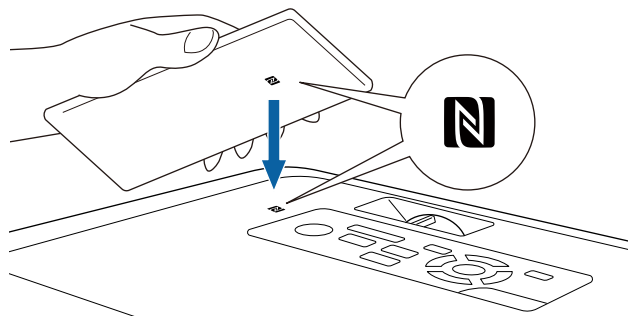
らくらく無線投写

- ・Screen Mirroringを使うと、Miracastに対応のモバイルデバイスと本機を無線で接続します（EB-1795F/EB-1785W）。



- ・Epson iProjectionを使うと、本機とモバイルデバイスを無線で接続できます。Epson iProjectionはApp Store、Google Playからダウンロードできます。
NFC（Near Field Communication）機能を搭載したAndroid端末で本機のNFCタグを読み取ると、本機とAndroid端末を無線で素早く接続で

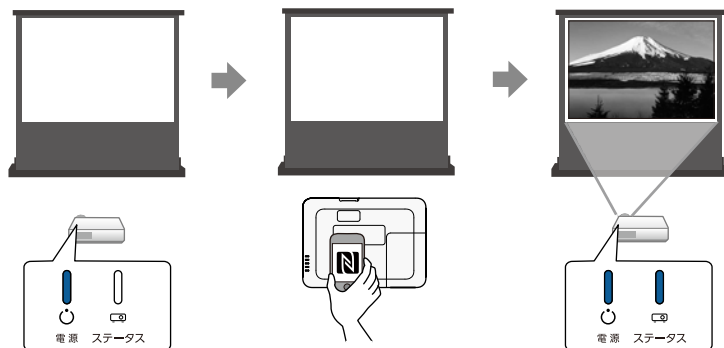
き、Android端末に保存されたファイルをEpson iProjectionで投写することもできます (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)。



App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

[拡張設定] メニューの [オートパワーオン] が [NFC] に設定されているときは、Android端末を本機のNFCタグにかざすだけで、自動でプロジェクターの電源が入り、無線での投写ができます。

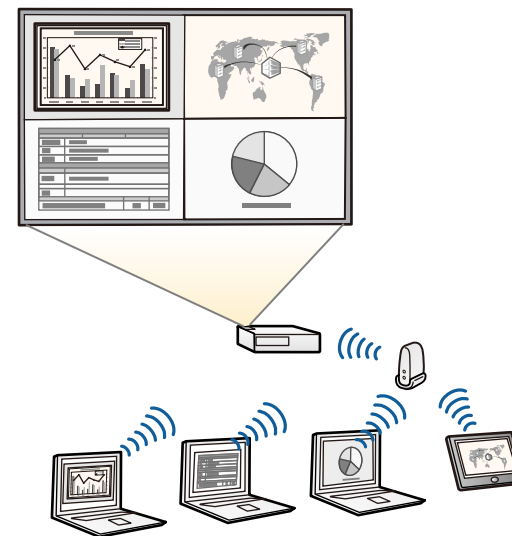
☛ [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]



- EasyMP Multi PC Projectionを使うと、投写画面を分割して最大4つの画面を同時に投写できます。ネットワーク上のコンピューターの画

面や、Epson iProjectionがインストールされているスマートフォンやタブレット端末内のデータを投写できます。

詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。



- 必要なソフトウェアおよび取扱説明書は以下のWebサイトからダウンロードできます。

<http://www.epson.jp/download/>

▶ 関連項目

- 「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 p.94
- 「NFC機能を使用してAndroid端末に接続する」 p.101

柔軟な接続性

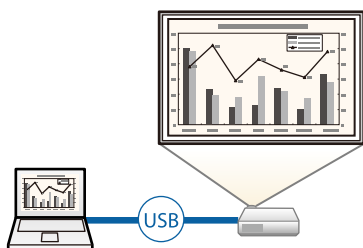
本機はさまざまな機器と簡単に接続ができます。

▶ 関連項目

- ・「コンピューターと接続する」 [p.10](#)
- ・「モバイルデバイスと接続する」 [p.10](#)

コンピューターと接続する

USBケーブルを接続して、映像の投写と音声の出力ができます（USBディスプレイ）。

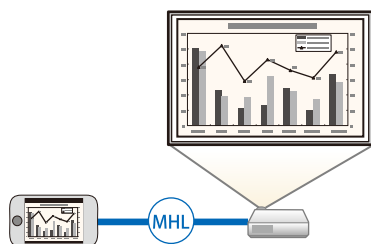


▶ 関連項目

- ・「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.20](#)

モバイルデバイスと接続する

- ・本機のHDMI端子とモバイルデバイスをMHLケーブルで接続できます。



▶ 関連項目

- ・「スマートフォン・タブレット端末を接続する」 [p.23](#)

会議をもっとスムーズに

タッチプレゼンター機能を使うと、投写画面上の手の動きでプレゼン操作ができます。スクリーンの前に立っているときにリモコンがなくてもプレゼンを進められるので便利です（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。



▶ 関連項目

- ・「投写画面上の手の動きでプレゼン操作する」 [p.74](#)

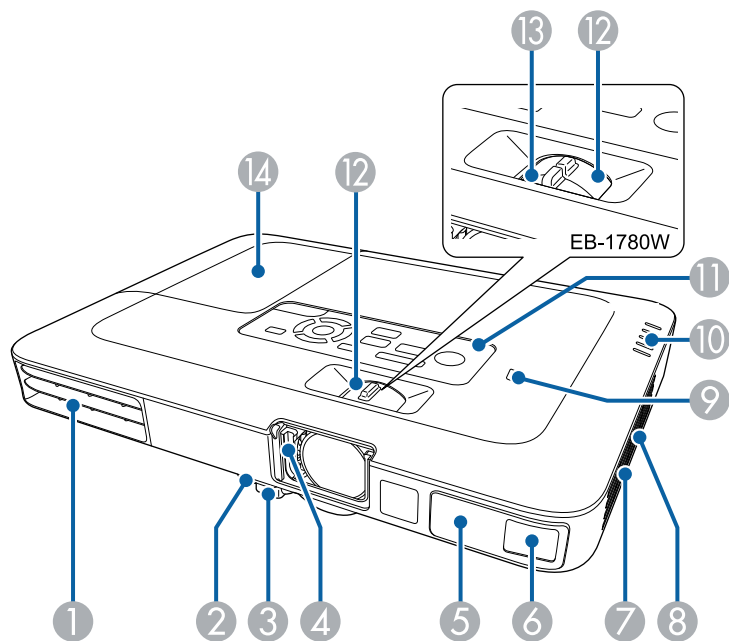
本機の各部名称とその働きについて説明します。

本書では断りがない限りEB-1795Fのイラストを用いて説明しています。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの各部名称 - 前面」 p.11
- ・「プロジェクターの各部名称 - 背面」 p.12
- ・「プロジェクターの各部名称 - 底面」 p.13
- ・「プロジェクターの各部名称 - 操作パネル」 p.13
- ・「プロジェクターの各部名称 - リモコン」 p.15

プロジェクターの各部名称 - 前面



名称	働き
① 排気口	<p>本機内部を冷却した空気の吐き出し口です。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>排気口をのぞかないでください。ランプが破裂した場合、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。万一、ガラス破片が目や口に入ったときは、直ちに医師の診断を受けてください。</p> <p>⚠ 注意</p> <p>投写中は手や顔を排気口に近づけたり、熱による悪影響を受けるものを排気口の近くに置かないでください。排気口から温風が出るため、やけどや変形、事故の原因となります。</p>
② フットレバー	フットレバーを押して、フロントフットを伸縮させます。
③ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。
④ スライド式レンズカバー	レバーをスライドさせてレンズカバーを開閉します。本機を使用しないときに閉じて、投写レンズを保護します。投写中に閉めると映像と音声を消すことができます。
⑤ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑥ センサー (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)	スクリーン枠を検出するためのセンサーです。
⑦ 吸気口 (エアフィルター)	本機内部を冷却するための空気を取り込みます。
⑧ スピーカー	音声を出力します。

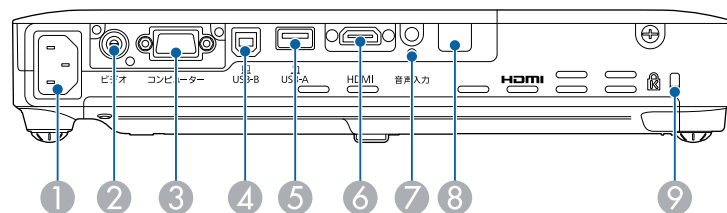
名称	働き
⑨ NFCタグ (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)	NFC機能を搭載したAndroid端末へ本機のネットワーク情報を転送します。
⑩ インジケータ	本機の状態を表示します。
⑪ 操作パネル	本機の操作をします。
⑫ ズームリング	映像の大きさを調整します。
⑬ フォーカスリング (EB-1780W)	映像のピントを合わせます。
⑭ ランプカバー	ランプ交換時に、このカバーを開けて中のランプを交換します。

▶ 関連項目

- ・「インジケータの見方」 [p.159](#)
- ・「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.48](#)
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.50](#)
- ・「NFC機能を使用してAndroid端末に接続する」 [p.101](#)

名称	働き
② ビデオ端子	ビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
③ コンピューター端子	コンピューター映像信号やビデオ機器のコンポジットビデオ信号を入力します。
④ USB-B端子	USBケーブルでコンピューターと接続して、コンピューターの映像を投写したり、ワイヤレスマウスやタッチプレゼンター機能を使用したりします。
⑤ USB-A端子	USBメモリーやデジタルカメラを接続して、PDFファイルや動画、画像をPC Freeで投写します。オプションの書画カメラを接続します。
⑥ HDMI端子	HDMIに対応したビデオ機器やコンピューター、MHL (Mobile High-Definition Link) に対応した携帯端末のビデオ信号を入力します。本機はHDCPIに対応しています。
⑦ 音声入力端子	コンピューター端子またはビデオ端子に接続された機器の音声を入力します。
⑧ リモコン受光部	リモコン信号を受信します。
⑨ セキュリティスロット	Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応したセキュリティスロットです。

プロジェクターの各部名称 - 背面

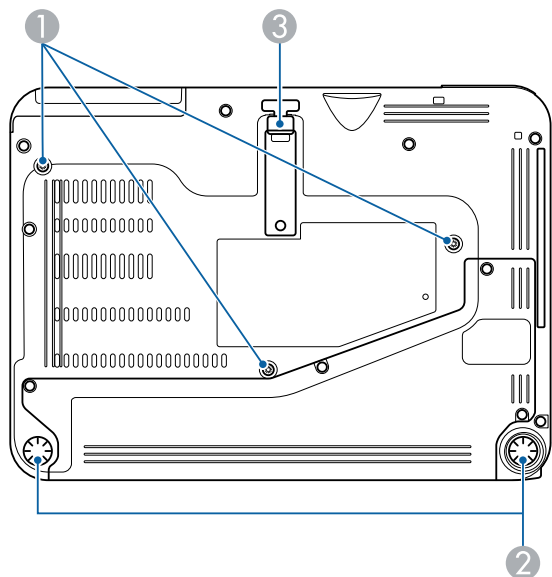


▶ 関連項目

- ・「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.80](#)
- ・「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.93](#)
- ・「PC Free機能で投写する」 [p.67](#)

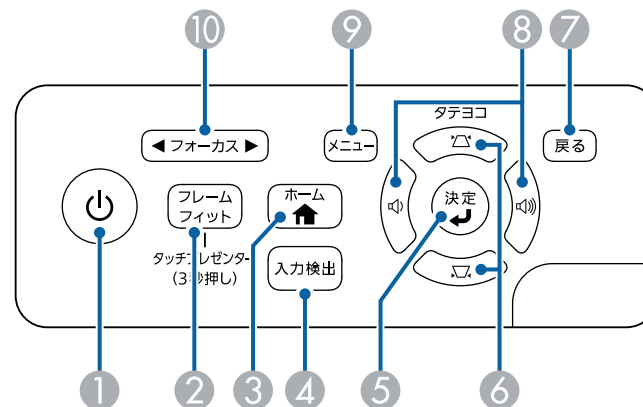
名称	働き
① 電源端子	電源コードを接続します。

プロジェクターの各部名称 - 底面

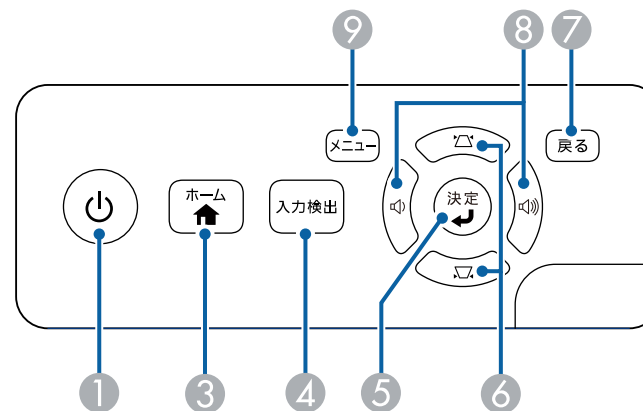


プロジェクターの各部名称 - 操作パネル

EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W



EB-1780W



名称	働き
① 天吊り固定部 (3箇所)	天井からプロジェクターを吊るときは、オプションの天吊り金具をここに取り付けます。
② リアフット	机上設置時に、フットを伸縮させて水平方向の傾きを調整します。
③ フロントフット	机上設置時に、フットを伸ばして映像の高さを調整します。

▶ 関連項目

- ・「セキュリティーケーブルを取り付ける」 p.93

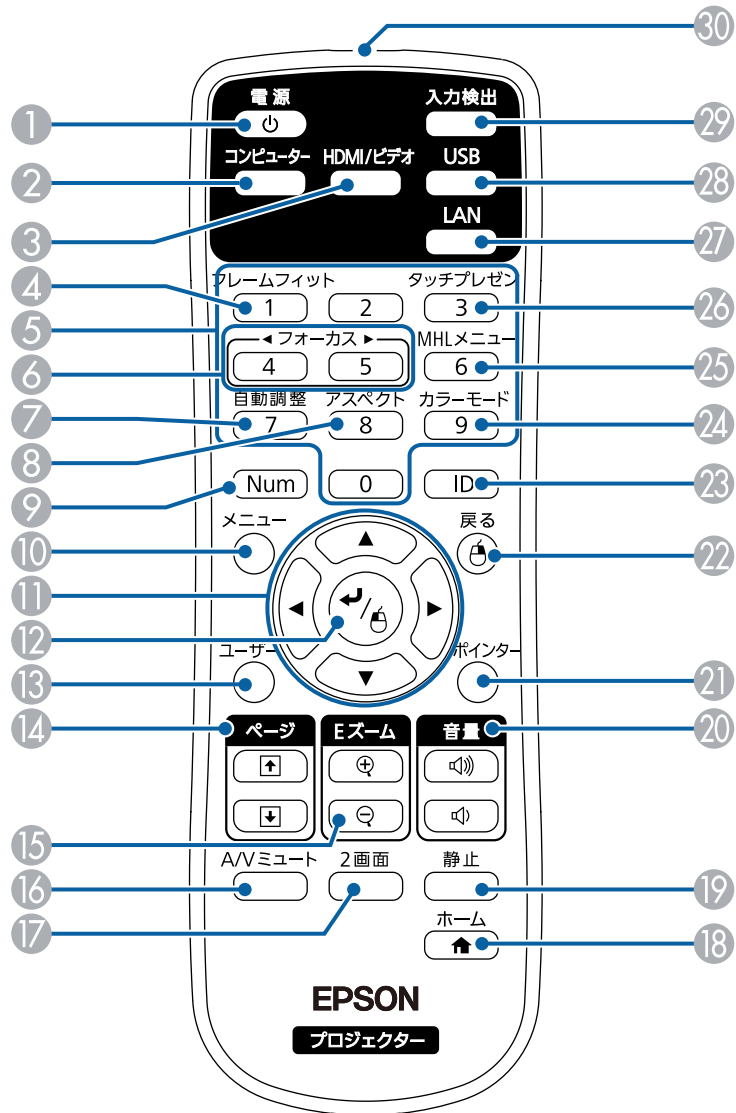
名称	働き
① 電源ボタン	本機の電源をオン/オフします。

名称	働き
② 【フレームフィット】 ボタン (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)	フレームフィット機能を実行して、スクリーンに合わせて映像の形状と位置を自動的に補正します。 3秒間長押しすると、タッチプレゼンター機能のメニューを表示します。
③ 【ホーム】 ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
④ 【入力検出】 ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
⑤ 【決定】 ボタン 【↵】	メニューやヘルプを表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。 コンピューター端子からアナログRGB信号を投写しているときに押すと、[映像] メニューの [トラッキング]、[同期]、[表示位置] の設定を最適にします。
⑥ 台形補正ボタン/上下ボタン	台形補正画面を表示して、タテヨコ方向の台形ゆがみを補正します。 メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑦ 【戻る】 ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューを表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。
⑧ 音量ボタン/左右ボタン	スピーカーから出力する音量を調整します。 メニューやヘルプを表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑨ 【メニュー】 ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑩ 【フォーカス】 ボタン (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)	映像のピントを合わせます。

▶▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 p.123
- 「ホーム画面」 p.33
- 「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.44
- 「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 p.43
- 「フォーカスボタンで映像のピントを調整する」 p.49

プロジェクターの各部名称 - リモコン



名称	働き
① 電源ボタン	本機の電源をオン/オフします。
② 【コンピューター】ボタン	コンピューター端子からの映像に切り替えます。
③ 【HDMI/ビデオ】ボタン	ビデオ入力端子とHDMI入力端子からの映像に切り替えます。
④ 【フレームフィット】ボタン	フレームフィット機能を実行して、スクリーンに合わせて映像の形状と位置を自動的に補正します。
⑤ テンキーボタン	【Num】ボタンを押しながらテンキーボタンを押して、メニュー内で数字を入力します。
⑥ 【フォーカス】ボタン (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)	映像のピントを合わせます。
⑦ 【自動調整】ボタン	コンピューター端子からのアナログRGB信号を投写しているときに押すと、[映像]メニューの[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を最適にします。
⑧ 【アスペクト】ボタン	アスペクトモードを切り替えます。
⑨ 【Num】ボタン	数字を入力するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
⑩ 【メニュー】ボタン	メニュー画面を表示/終了します。
⑪ 上下左右ボタン	メニューやヘルプの表示中に押すと、メニュー項目を選択します。
⑫ 【決定】ボタン (↵)	メニューやヘルプの表示中に押すと、選択項目を決定して、次の階層に進みます。 ワイヤレスマウス機能を使用しているときは、マウスの左ボタンとして機能します。

名称	働き
13 【ユーザー】ボタン	〔設定〕メニューの〔ユーザーボタン〕で設定した機能を実行します。
14 【ページ】送り/戻しボタン	USBケーブルやネットワーク経由でプロジェクターとコンピューターを接続しているときに、コンピューター上のページを送り/戻しします。 PC Free機能を使用しているときは、画像ファイルを送り/戻しします。
15 【Eズーム】 +/- ボタン	投写映像の一部分を拡大表示します。
16 【A/Vミュート】ボタン	映像と音声を一時的に遮断します。
17 【2画面】ボタン	投写画面を分割して、2つの異なる機器の画面を同時に投写します。
18 【ホーム】ボタン	ホーム画面を表示/終了します。
19 【静止】ボタン	映像を一時停止します。
20 【音量】上げ/下げボタン	スピーカーの音量を調整します。
21 【ポインター】ボタン	投写中の映像にポインターを表示します。
22 【戻る】ボタン	実行中の機能を終了します。 メニューの表示中に押すと、前のメニュー階層に戻ります。 ワイヤレスマウス機能を使用しているときは、マウスの右ボタンとして機能します。
23 【ID】ボタン	リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択するときに、このボタンを押しながらテンキーボタンを押します。
24 【カラーモード】ボタン	カラーモードを変更します。

名称	働き
25 【MHLメニュー】ボタン	HDMI端子に接続された機器の設定メニューを表示します。
26 【タッチプレゼン】ボタン (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)	タッチプレゼンター機能のメニューを表示します。
27 【LAN】ボタン	ネットワーク経由で接続している機器からの映像に切り替えます。
28 【USB】ボタン	USBディスプレイとUSB-A端子に接続された機器からの映像に切り替えます。
29 【入力検出】ボタン	映像信号が入力されている入力ソースに順番に切り替えます。
30 リモコン発光部	リモコン信号を出力します。

▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.53](#)
- ・「カラーモードを設定する」 [p.56](#)
- ・「映像メニュー」 [p.123](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・「ホーム画面」 [p.33](#)
- ・「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 [p.43](#)
- ・「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.80](#)
- ・「2つの映像を同時に投写する」 [p.64](#)
- ・「リモコンでポインターを表示する」 [p.82](#)
- ・「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.20](#)
- ・「投写画面上の手の動きでプレゼンを操作する」 [p.74](#)
- ・「フォーカスボタンで映像のピントを調整する」 [p.49](#)
- ・「PC Free機能で投写する」 [p.67](#)
- ・「ネットワーク上のプロジェクターを使用する」 [p.94](#)

プロジェクターを準備する

プロジェクターの準備方法を説明します。

▶ 関連項目

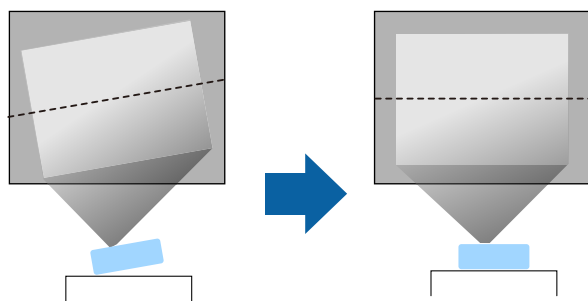
- ・ 「プロジェクターの設置」 [p.18](#)
- ・ 「プロジェクターを接続する」 [p.20](#)
- ・ 「リモコンに電池を取り付ける」 [p.28](#)
- ・ 「レンズカバーを開く」 [p.30](#)

平らな場所にプロジェクターを置いて映像を投写します。

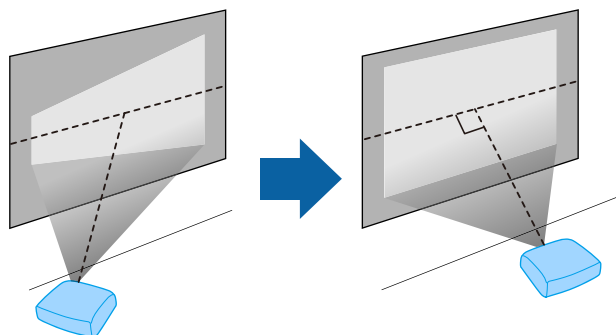
常に特定の位置に固定して使用するときは、天井にプロジェクターを取り付けることもできます。天井からプロジェクターを吊り下げるときは、オプションの天吊り金具が必要です。

プロジェクターの設置位置を決めるときは、以下の点に注意してください。

- プロジェクターは水平で安定した場所に置くか、本製品に対応した金具を使用して取り付けます。



- 通気のためにプロジェクターの周囲に十分なスペースを確保します。通気の妨げになるものをプロジェクター上面や周囲に置かないでください。
- 必ず接地接続を行います。
- 投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。



投写面に対して平行に設置できないときは、台形補正機能を使って映像を補正します。

警告

- 天井からプロジェクターを吊り下げるときは、天吊り金具の取り付けが必要となります。プロジェクターを正しく設置しないと、落下により破損やけがの原因となることがあります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。プロジェクターにそれらの溶剤が付着すると、プロジェクターのケースが割れ、天吊り金具からプロジェクターが落下するおそれがあります。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 不安定な場所や荷重範囲を超える場所には設置しないでください。落下や転倒によりけがや事故の原因となります。
- 高い場所に設置するときは、地震などの非常時の安全確保と事故防止のため、ワイヤーなどを用いて落下防止策を施してください。正しく設置しないと、落下によりけがや事故の原因となります。

注意

- 本機を縦置きして投写しないでください。故障の原因となります。
- 本機を標高1,500 m以上の場所で使用するときは、[拡張設定]メニューの[高地モード]を[オン]にして、本機の内部温度が適切に調節されるようにしてください。
 - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード]
- 湿気やホコリの多い場所、たばこなどの煙が当たる場所への設置は、できるだけ避けてください。

関連項目

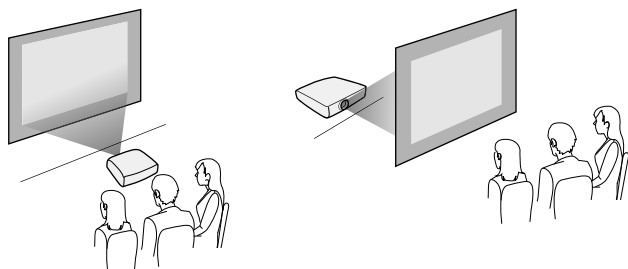
- 「プロジェクターの設置・取り付け」 [p.19](#)
- 「投写距離」 [p.19](#)

- ・「映像の形状を補正する」 p.42
- ・「拡張設定メニュー」 p.127

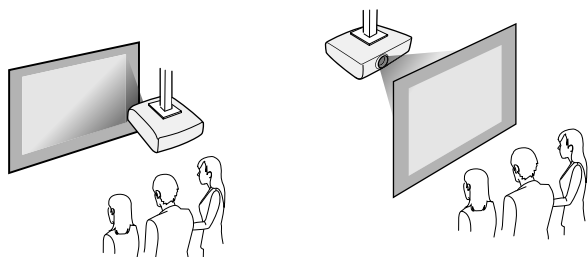
プロジェクターの設置・取り付け

本機は以下の方法で設置・取り付けできます。

フロント/リア



フロント・天吊り/リア・天吊り



設置する場所や方法に合わせて、「拡張設定」メニューで「設置モード」を選択します。

▶ 関連項目

- ・「設置モードを選択する」 p.39

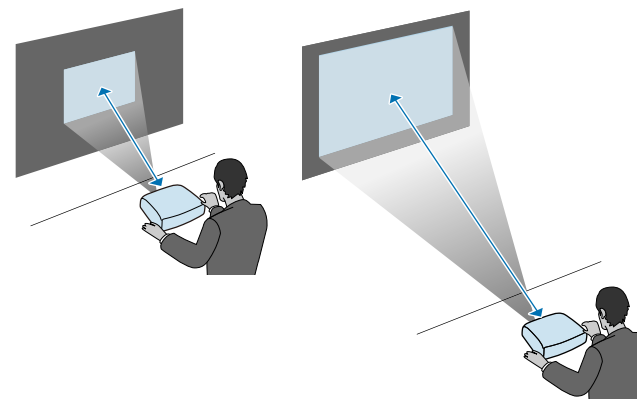
投写距離

本機からスクリーンまでの距離に応じて、映像の大きさが決まります。本機をスクリーンから遠ざけるほど、投写される映像は大きくなります。

下図を参考にして、本機からスクリーンまでのおおよその距離を決めてください。



台形補正後は、映像が少し小さくなります。



▶ 関連項目

- ・「スクリーンサイズと投写距離」 p.177

コンピューター、モバイルデバイス、ビデオ機器、オーディオ機器をプロジェクターに接続して、プレゼンテーション資料を投写したり、動画や画像を投写したりできます。また、音声をプロジェクターから出力することもできます。

注意

接続する前に、使用するケーブルのコネクターの形状と向きを確認してください。形状が合わないコネクターを無理に端子に押し込まないでください。お使いの機器、プロジェクターの破損や故障の原因となります。



本機に同梱されているケーブルは、『かんたん操作ガイド』で確認できます。同梱されていないケーブルは、オプション品または市販品をお買い求めください。

- USB端子、映像出力端子、またはHDMI端子を搭載したコンピューターを接続できます。
- DVDプレーヤー、ゲーム機器、デジタルカメラ、スマートフォンなどの機器を接続して、動画を投写できます。
- プレゼンテーション資料や動画に音声が入っているときは、オーディオケーブルを接続して本機から音声を出力できます。
- USB機器（USBメモリーやデジタルカメラ）、オプションのエプソン製書画カメラを接続すると、コンピューターを使用せずに映像を投写できます。

▶ 関連項目

- 「コンピューターを接続する」 [p.20](#)
- 「スマートフォン・タブレット端末を接続する」 [p.23](#)
- 「ビデオ機器を接続する」 [p.23](#)
- 「USB機器を接続する」 [p.26](#)
- 「書画カメラを接続する」 [p.27](#)

コンピューターを接続する

プロジェクターとコンピューターを接続します。

▶ 関連項目

- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.20](#)
- 「コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.21](#)
- 「HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.22](#)

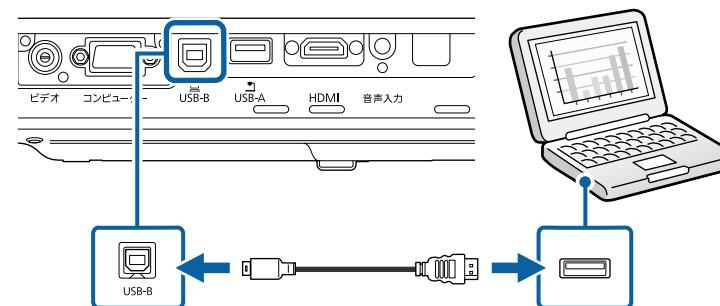
USBケーブルを接続して映像と音声を出力する

お使いのコンピューターがシステム要件を満たしている場合は、コンピューターのUSB端子から映像と音声をプロジェクターに送信できます。この機能をUSBディスプレイといいます。プロジェクターとコンピューターをUSBケーブルで接続します。



- USBハブを使用すると正しく動作しません。USBケーブルを直接本機に接続してください。

- 1** [拡張設定]メニューで [USB Type B] を [USB Display] に設定します。
- 2** 本機のUSB-B端子にUSBケーブルのType Bコネクターを接続します。



3 USBケーブルのTypeAコネクタをコンピューターのUSB端子に接続します。

4 本機の電源を入れます。

5 以下のいずれかの操作でドライバーをインストールします。



本機とコンピューターを初めてUSBケーブルで接続したときは、ドライバーのインストールが必要です。

- Windowsの場合：ダイアログボックスが表示されたら、[EMP_UDSE.EXEの実行] を選択します。
- OS Xの場合：Epson USBディスプレイのセットアップフォルダーが表示されます。[USB Display Installer] を選択して画面の指示に従います。自動的に表示されないときは、[EPSON_PJ_UD] > [USB Display Installer] の順にダブルクリックします。

6 画面の指示に従います。

映像が投写されるまでは、USBケーブルを抜いたり、プロジェクターの電源を切ったりしないでください。

コンピューターの映像が投写されます。映像に音声が入っているときは、音声も出力されます。



- 映像が投写されないときは、以下のいずれかの操作を行います。
- Windowsの場合：[すべてのプログラム] > [EPSON Projector] > [Epson USB Display] > [Epson USB Display Ver.x.xx] の順にクリックします。
- OS Xの場合：[アプリケーション] フォルダーの [USB Display] をダブルクリックします。
- 投写が終了したら、以下のいずれかの操作を行います。
- Windowsの場合：USBケーブルを取り外します。[ハードウェアの安全な取り外し] を使用する必要はありません。
- OS Xの場合：メニューバーまたは [Dock] の [USB Display] アイコンメニューから [切断] を選択し、USBケーブルを取り外します。

▶ 関連項目

- 「USBディスプレイのシステム要件」 [p.185](#)

コンピューターケーブルを接続して映像と音声を出力する

プロジェクターとコンピューターをコンピューターケーブルで接続します。

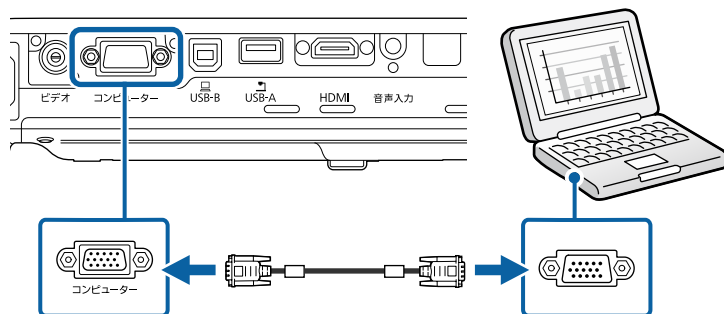
ステレオミニプラグオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。



- 映像出力用のVGA端子を搭載していないMacをお使いのときは、VGA変換アダプターが必要です。
- 「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

1 コンピューターの映像出力端子にコンピューターケーブルを接続します。

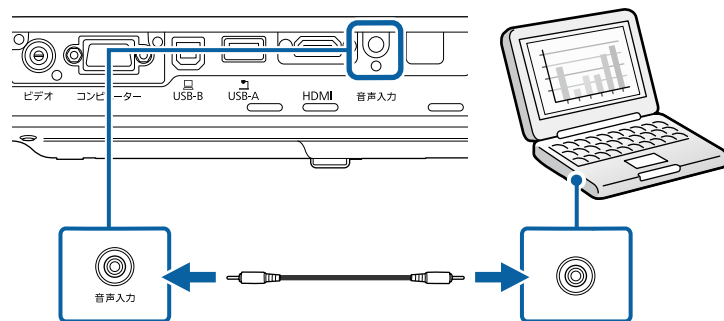
- 2** ケーブルのもう一方のコネクタを本機のコンピューター端子に接続します。



- 3** VGAコネクタのネジを締めます。

- 4** オーディオケーブルをコンピューターのヘッドホン/スピーカージャックまたは音声出力端子に接続します。

- 5** ケーブルのもう一方のコネクタを本機の音声入力端子に接続します。



▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 p.127

HDMIケーブルを接続して映像と音声を出力する

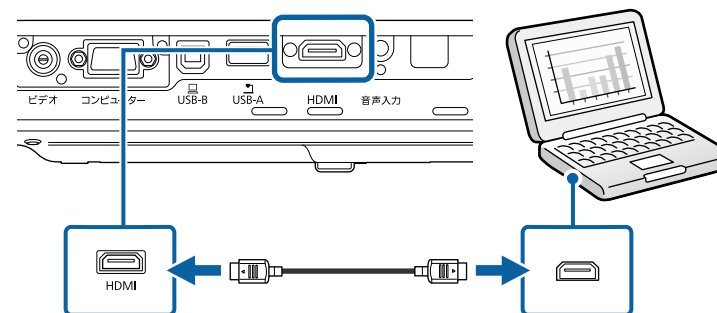
HDMI端子を搭載したコンピューターを使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとコンピューターを接続して映像と音声を出力できます。



映像出力用HDMI端子を搭載していないMacをお使いのときは、HDMI変換アダプターが必要です。お使いのMacに対応した変換アダプターは、Appleにお問い合わせください。2009年以前に発売されたMacはHDMI端子からの音声出力に対応していません。

- 1** コンピューターのHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2** ケーブルのもう一方のコネクタを本機のHDMI端子に接続します。



HDMI接続で出力される音声に問題があるときは、ステレオミニプラグオーディオケーブルで本機の音声入力端子とコンピューターの音声出力端子を接続します。[拡張設定]メニューで、接続している音声入力端子を設定してください。

☛ [拡張設定] > [A/V出力設定] > [HDMI音声出力]

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 p.127

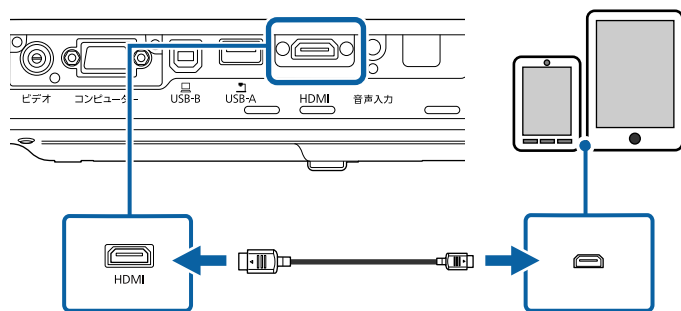
スマートフォン・タブレット端末を接続する

MHLケーブルでスマートフォン、タブレット端末をプロジェクターに接続して、映像と音声を出力できます。



- ・スマートフォン、タブレット端末の機種や設定によっては、正しく投写できないことがあります。
- ・MHLケーブルでの接続に対応していないスマートフォン、タブレット端末もあります。お使いのスマートフォン、タブレット端末がMHLに対応しているかについては、スマートフォン、タブレット端末のメーカーにお問い合わせください。

- 1 スマートフォン、タブレット端末のMHL端子にMHLケーブルを接続します。
- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



注意

MHL規格に対応していないケーブルを接続すると、スマートフォン、タブレット端末が高温になったり、液もれや破裂が生じたりするおそれがあります。

映像の投写中は、接続しているスマートフォン、タブレット端末が充電されます。市販のMHL-HDMI変換アダプターを使用しているときは、スマートフォン、タブレット端末の充電や、プロジェクターのリモコンを使ったスマートフォン、タブレット端末の操作ができないことがあります。



- ・動画を再生するなど使用電力が大きい場合は、充電されないことがあります。
- ・本機がスタンバイ状態のときや、スマートフォンやタブレット端末のバッテリー残量がないときは充電されません。



映像が正しく投写されないときは、MHLケーブルを一度外し、再度接続します。

ビデオ機器を接続する

プロジェクターにビデオ機器を接続します。



- ・接続する機器の端子が特有の形状をしているときは、その機器に同梱またはオプションのケーブルで接続してください。
- ・使用するケーブルは、接続するビデオ機器の出力信号によって異なります。
- ・ビデオ機器によっては、数種類の信号を出力できます。出力できる信号の種類は、お使いのビデオ機器に同梱の取扱説明書で確認してください。

▶ 関連項目

- ・「HDMIケーブルで接続する」 [p.24](#)
- ・「コンポーネントビデオケーブルで接続する」 [p.24](#)
- ・「コンポジットケーブルで接続する」 [p.25](#)

HDMIケーブルで接続する

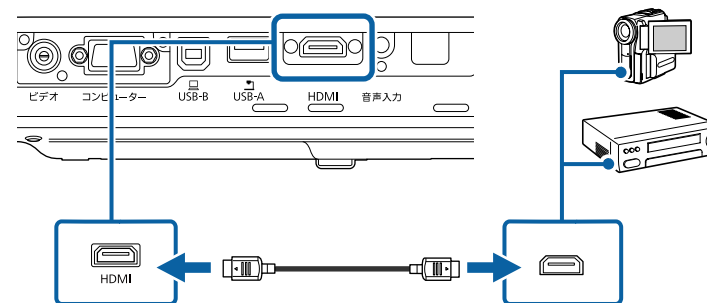
HDMI端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、HDMIケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続して映像と音声を出力できます。

注意

あらかじめビデオ機器の電源を切ってください。ビデオ機器の電源が入った状態で接続すると、故障の原因となります。

- 1 ビデオ機器のHDMI出力端子にHDMIケーブルを接続します。

- 2 ケーブルのもう一方のコネクターを本機のHDMI端子に接続します。



HDMI接続で出力される音声に問題があるときは、ステレオミニプラグオーディオケーブルで、本機の音声入力端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。[拡張設定]メニューで、接続している音声入力端子を設定してください。

☞ [拡張設定] > [AV出力設定] > [HDMI音声出力]

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.127](#)

コンポーネントビデオケーブルで接続する

コンポーネントビデオ端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、コンポーネントビデオケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続します。コンポーネント端子によっては、コンポーネントビデオケーブルに加えてアダプターケーブルが必要になることがあります。

ステレオミニプラグオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。



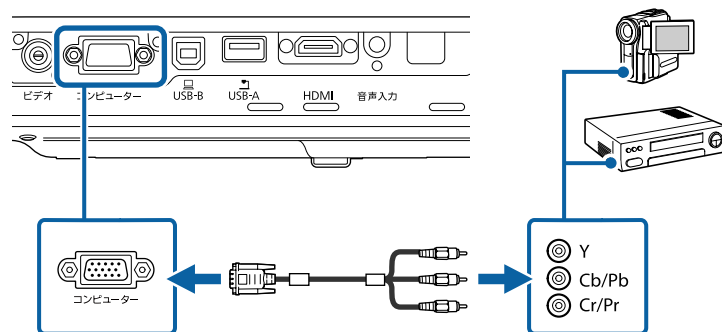
- ・「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

- 1 コンポーネントコネクタをビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子（緑、青、赤）に接続します。



コンポーネントビデオ出力端子は、通常Y、Pb、PrまたはY、Cb、Crと表示されます。アダプターケーブルを使用するときは、コネクタをコンポーネントビデオケーブルに接続します。

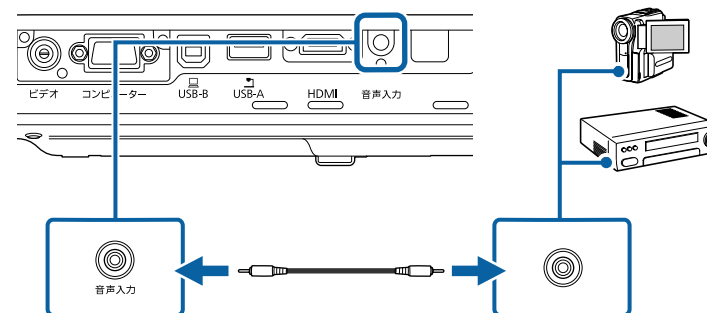
- 2 VGAコネクタを本機のコンピューター端子に接続します。



- 3 VGAコネクタのネジを締めます。

- 4 ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルを接続します。

- 5 ケーブルのもう一方のコネクタを本機の音声入力端子に接続します。



映像の色が正しく投写されないときは、[映像]メニューの[入力信号方式]を変更してください。

☛ [映像] > [アドバンスト] > [入力信号方式]

▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 p.123
- ・「拡張設定メニュー」 p.127

コンポジットケーブルで接続する

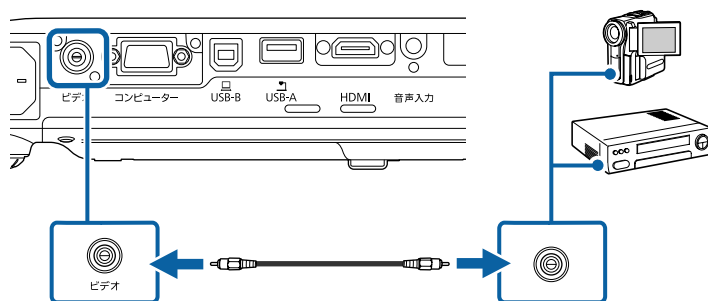
コンポジットビデオ端子を搭載したビデオ機器を使用しているときは、RCAビデオケーブルまたはAVケーブルでプロジェクターとビデオ機器を接続します。

ステレオミニプラグオーディオケーブルを接続することで、本機のスピーカーから音声を出力できます。

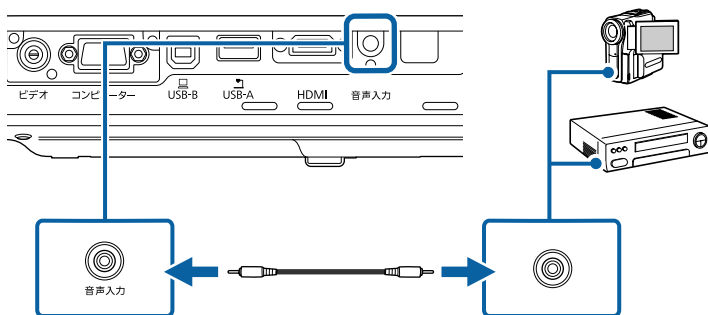


「抵抗なし」と表記されているオーディオケーブルをお使いください。

- 1** コンポジットケーブルの黄色のコネクターをビデオ機器のビデオ出力端子（黄）に接続します。
- 2** ケーブルのもう一方のコネクターを本機のビデオ端子に接続します。



- 3** ビデオ機器の音声出力端子にオーディオケーブルを接続します。
- 4** ケーブルのもう一方のコネクターを本機の音声入力端子に接続します。



USB機器を接続する

プロジェクターにUSB機器を接続します。

▶ 関連項目

- 「USB機器のデータを投写する」 p.26
- 「USB機器を接続する」 p.27
- 「USB機器を取り外す」 p.27

USB機器のデータを投写する

以下のUSB機器をプロジェクターに接続すると、コンピューターやビデオ機器を接続しなくても映像を投写できます。

- USBメモリー
- デジタルカメラ、スマートフォン
- USBハードドライブ
- マルチメディアストレージビューワー



- デジタルカメラ、スマートフォンはUSBマスタストレージクラスに準拠したUSB機能が搭載されている必要があります。TWAIN準拠の機器では投写できません。
- USBハードドライブは以下の要件を満たしている必要があります。
 - USBマスタストレージクラスに準拠していること（対応していないUSBマスタストレージクラスの機器もあります）
 - フォーマット形式がFATまたはFAT32であること
 - USBハードドライブに付属のACアダプターから電源供給ができること（USBケーブルから電源供給を受けるハードドライブは推奨しません）
 - ハードドライブのパーティションは1つのみであること

USB機器内の映像ファイルを投写できます。

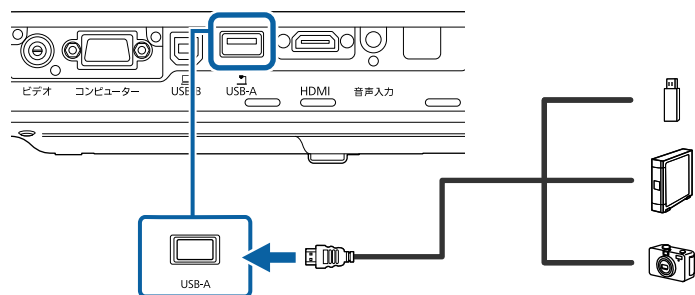
▶ 関連項目

- 「PC Free機能で投写する」 p.67

USB機器を接続する

USB機器をプロジェクターのUSB-A端子に接続して、映像を投写します。

- 1 USB機器に電源アダプターが付属しているときは、USB機器をコンセントに接続します。
- 2 本機のUSB-A端子にUSBケーブル（またはUSBメモリー）を接続します。



注意

- USB機器に付属のUSBケーブル、または指定されたUSBケーブルを使用してください。
- USBハブや長さが3メートル以上のUSBケーブルを使用しないでください。機器が正しく動作しないことがあります。

- 3 USBケーブルのもう一方のコネクターをUSB機器に接続します。

USB機器を取り外す

USB機器による投写が終了したら、プロジェクターから機器を取り外します。

- 1 USB機器の電源を切り、必要に応じて電源アダプターを抜きます。
- 2 プロジェクターからUSB機器を取り外します。

書画カメラを接続する

エプソン製書画カメラをプロジェクターに接続して、カメラから読み込んだ映像を投写します。

接続方法は、お使いの書画カメラの機種によって異なります。詳しくは、書画カメラの取扱説明書をご覧ください。

本機に付属の単3形電池2個をリモコンに取り付けます。

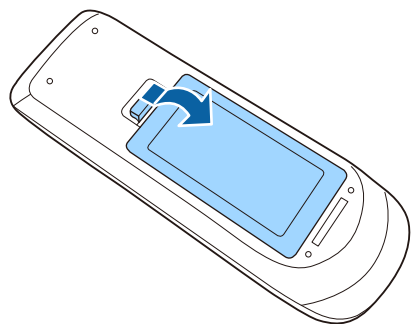
注意

電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

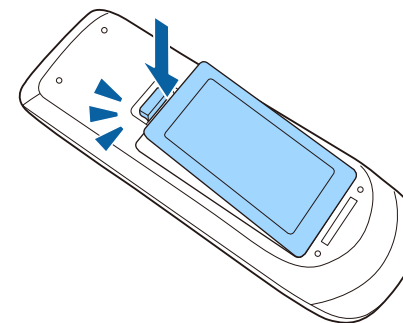
警告

電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (-) を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

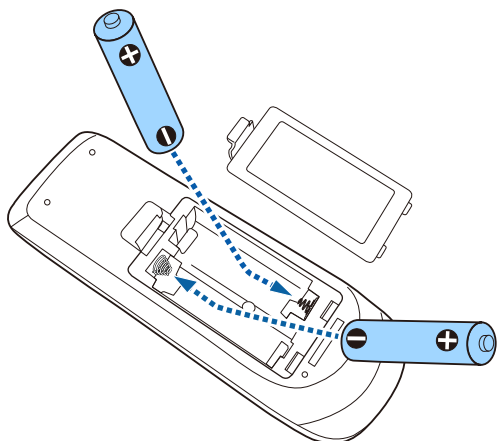
- 1** 電池カバーを開きます。



- 3** 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



- 2** 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



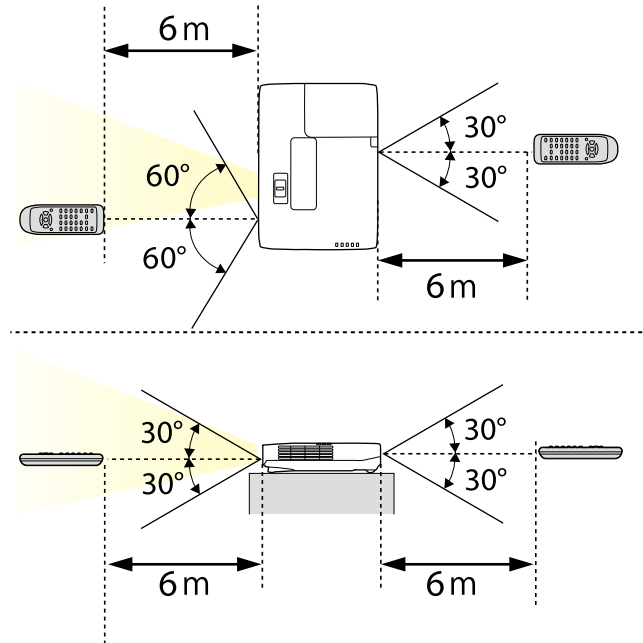
▶ 関連項目

- ・「リモコンを操作する」 p.28

リモコンを操作する

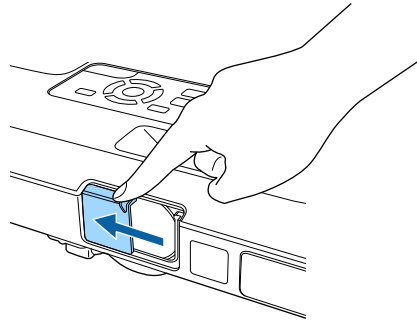
リモコンを使用して、室内の離れた場所からプロジェクターを制御できます。

リモコンは、本機のリモコン受光部に対して下図の角度で使用してください。



蛍光灯の強い光や直射日光が当たる環境ではリモコンを使用しないでください。プロジェクターが操作に反応しないことがあります。リモコンを長期間使用しないときは、電池を取り外しておきます。

- 1** レンズカバー操作部をカチッと音がするまでスライドして、レンズカバーを開きます。



- 2** レンズを保護したり、一時的に映像と音声を消すときは、レンズカバーを閉じます。

プロジェクターの基本機能を使用する

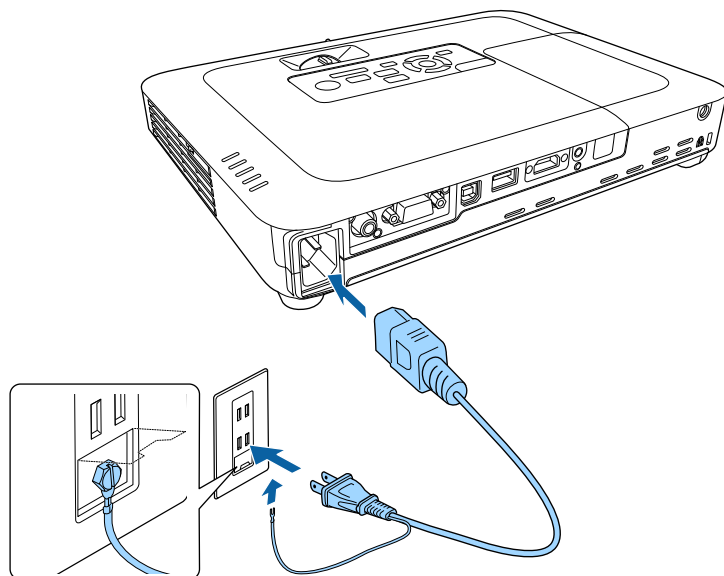
プロジェクターの基本機能を説明します。

▶ 関連項目

- ・「プロジェクターの電源を入れる」 [p.32](#)
- ・「プロジェクターの電源を切る」 [p.35](#)
- ・「日時を設定する」 [p.36](#)
- ・「メニューの言語を選択する」 [p.38](#)
- ・「設置モードを選択する」 [p.39](#)
- ・「映像の高さを調整する」 [p.41](#)
- ・「映像の形状を補正する」 [p.42](#)
- ・「ズームリングで映像の大きさを調整する」 [p.48](#)
- ・「フォーカスボタンで映像のピントを調整する」 [p.49](#)
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 [p.50](#)
- ・「投写映像を切り替える」 [p.51](#)
- ・「映像のアスペクト比を設定する」 [p.53](#)
- ・「カラーモードを設定する」 [p.56](#)
- ・「映像の色合いを調整する」 [p.58](#)
- ・「音量ボタンで音量を調整する」 [p.62](#)

プロジェクターの電源を入れた後、使用するコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。

- 1 本機とコンセントを電源コードで接続します。



⚠ 警告

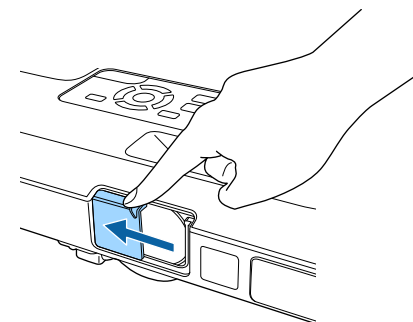
必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

本機の電源インジケータが青色に点灯します（スタンバイ状態）。スタンバイ状態は、プロジェクターに電力が供給されていて、電源が入っていない状態です。

- 2 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押して本機の電源を入れます。

「ピッ」と確認音が鳴り、ステータスインジケータが青色に点滅します（ウォームアップ状態）。ウォームアップが終わると、ステータスインジケータが青色に点灯します。

- 3 本機のレンズカバーを開きます。



映像が投写されないときは、以下を試してください。

- レンズカバーが完全に開いていることを確認します。
- 接続されているコンピューターまたはビデオ機器の電源を入れます。
- ノート型コンピューターを使用するときは、コンピューターの画面出力を切り替えます。
- DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押して入力ソースを検出します。
- 投写したい入力ソースに対応するリモコンのボタンを押します。
- ホーム画面が表示されたら、投写したい入力ソースを選択します。

⚠ 警告

- ・ 投写中は本機のレンズをのぞきこまないでください。目に損傷を与えるおそれがあります。特にお子様の行動にご注意ください。
 - ・ 本機から離れた場所でリモコンを使って電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
 - ・ 投写中に本などで投写光を遮らないでください。投写光を遮ると、光の当たる部分が高温になって溶けたり、やけどや火災の原因となります。また、反射した光でレンズ部が高温になり、本機が故障する原因となります。投写を中断するときは、A/Vミュート機能を使うか、本機の電源を切ってください。
 - ・ 本機の光源には、高圧の水銀ランプを使用しています。水銀ランプの性質上、振動や衝撃、使用時間の経過によってランプが破裂したり、点灯しなくなったりすることがあります。ランプが破裂すると、細かいガラス破片やガスが飛散して、けがの原因となります。次のことを守って安全にお使いください。
 - ・ ランプを分解したり、衝撃を与えたりしないでください。
 - ・ 使用中は本機に顔を近づけないでください。
 - ・ 天吊り設置しているときは、ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。清掃やランプ交換の際には、ガラス破片でけがをしないように、また破片が目や口に入らないように十分注意してください。
- ランプが破裂した場合、すみやかに換気してください。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



- ・ [拡張設定] メニューの [ダイレクトパワーオン] が [オン] に設定されているときは、本機に電源コードを接続したときに自動で電源が入ります。停電復旧時などにコンセントに電源プラグが差し込まれた状態になっていると、本機の電源がオンになりますのでご注意ください。
 - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [ダイレクトパワーオン]
- ・ [拡張設定] メニューの [オートパワーオン] を有効にしているときは、映像信号が入力されたときに自動で電源が入ります。
 - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]

▶ 関連項目

- ・ 「ホーム画面」 [p.33](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・ 「節電メニュー」 [p.136](#)

ホーム画面

ホーム画面を使うと、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面は操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押すと表示されます。また、本機の電源投入時に、選択された入力ソースからの信号がないときにも、ホーム画面が表示されます。

操作パネルやリモコンの上下左右ボタンで項目を選択して、【決定】ボタンを押します。



▶▶ 関連項目

- 「映像の形状を補正する」 [p.42](#)
- 「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.101](#)
- 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.119](#)
- 「ヘルプの見方」 [p.162](#)
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.64](#)

- 1 投写したい入力ソースを選択します。
- 2 スマートフォンやタブレット端末のデータを投写するためにEpson iProjectionで読み取るQRコードを表示します。
- 3 ヘルプ画面を表示します。
- 4 プロジェクターのメニューを表示します。
- 5 [拡張設定] メニューの [ホーム画面設定] に割り当てた機能を実行します。
- 6 投写画面を分割して、2つの異なる機器の画面を同時に投写します。
- 7 映像のゆがみを補正します。



10分間操作がないと、ホーム画面は自動的に消えます。

使用後にプロジェクターの電源を切ります。



- 本機を長くお使いいただくために、使用しないときは本機の電源を切ってください。ランプの寿命は、メニューの設定、環境条件、および使用状況によって異なります。投写映像の明るさは、投写時間の経過にしたがって低下します。
- 本機はダイレクトシャットダウン機能に対応していますので、電源ブレーカーで直接電源を切ることができます。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの電源ボタンを押します。
シャットダウン確認画面が表示されます。

電源を切りますか？

はい :  を押す
いいえ: 他のボタンを押す

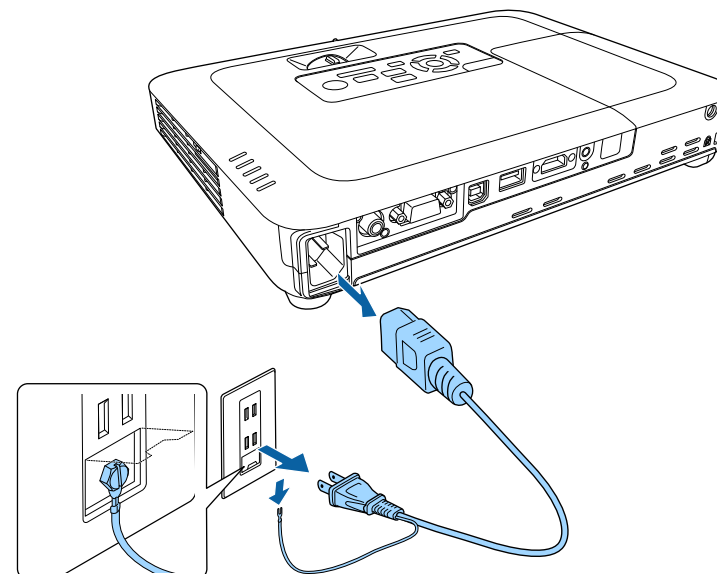
- 2** 再度電源ボタンを押します。（電源を切らないときは、他のボタンを押します。）

「ピッピッ」と確認音が2回鳴った後、投写映像が消え、ステータスインジケータが消灯します。

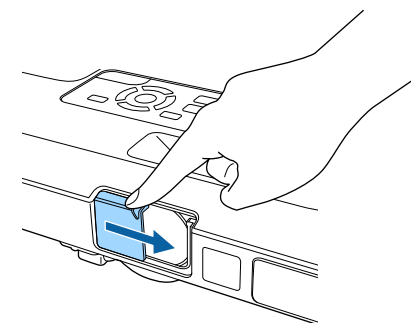


クールダウンは必要ありません。本機をすぐに片付けたり移動したりできます。

- 3** 本機を搬送または保管するときは、電源インジケータが青色に点灯していることを確認してから電源コードを抜いてください。

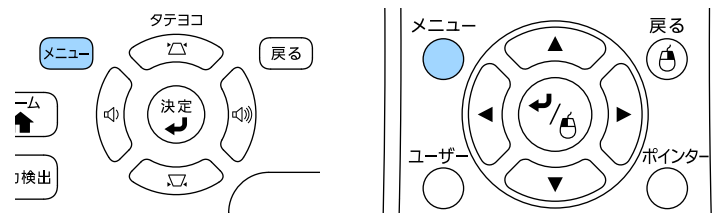


- 4** プロジェクターのレンズカバーを閉めます。

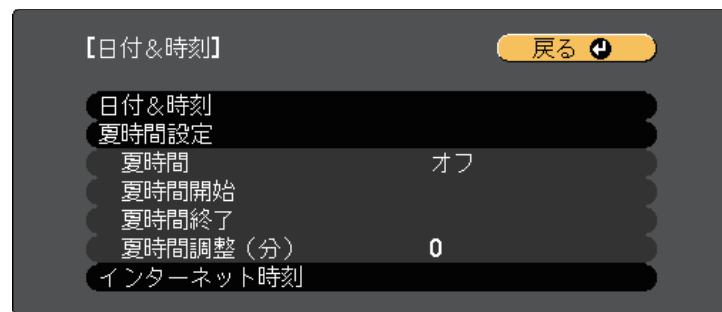


プロジェクターの日時を設定します（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。

- 1** 本機の電源を入れます。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

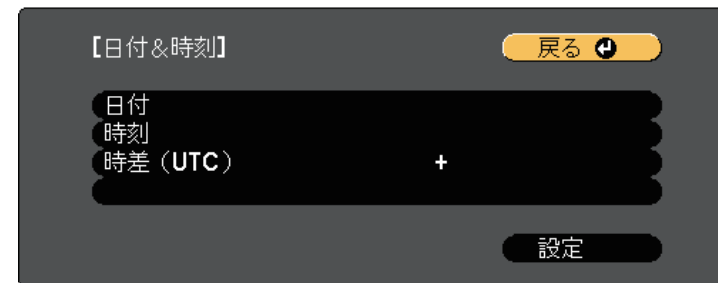


- 3** [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4** [動作設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5** [日付&時刻] を選択し、【決定】ボタンを押します。
次の画面が表示されます。



- 6** [日付&時刻] を選択し、【決定】ボタンを押します。

次の画面が表示されます。



- 7** [日付] を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで本日の日付を入力します。
- 8** [時刻] を選択し、【決定】ボタンを押します。表示されたソフトキーボードで現在の時刻を入力します。
- 9** [時差 (UTC)] を選択し【決定】ボタンを押して、協定世界時からの時差を設定します。
- 10** 終了したら、[設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

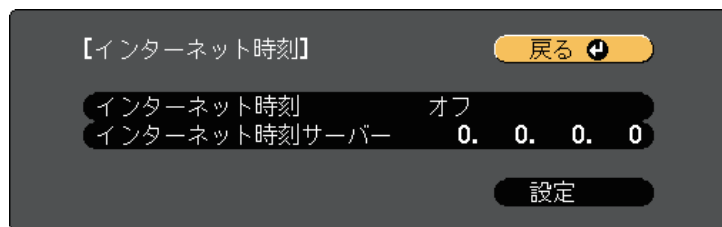
- 11** 夏時間を有効にするときは、[夏時間設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。



- 15** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

- 12** 終了したら、[設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

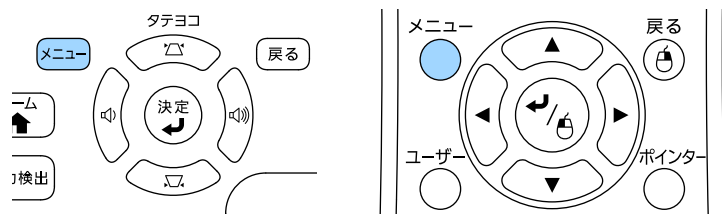
- 13** インターネット時刻サーバーから自動的に時刻を設定するときには、[インターネット時刻] を選択し、【決定】ボタンを押します。表示された画面の各項目を設定します。



- 14** 終了したら、[設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

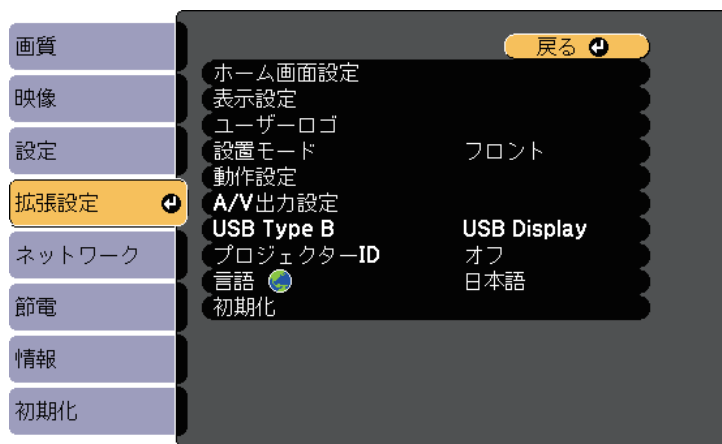
メニューおよびメッセージの言語を変更します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

- 3 [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [言語] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 使用する言語を選択し、【決定】ボタンを押します。

プロジェクターの設置方法によって、設置モードを変更します。

- ・ [フロント] (デフォルト設定) : 机の上に設置して、スクリーンの正面から投写します。
- ・ [フロント・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、映像を上下反転して投写します。
- ・ [リア] : リアスクリーンの裏側から映像を左右反転して投写します。
- ・ [リア・天吊り] : 天吊りまたは壁掛け設置して、リアスクリーンの裏側から映像を上下左右反転して投写します。

▶ 関連項目

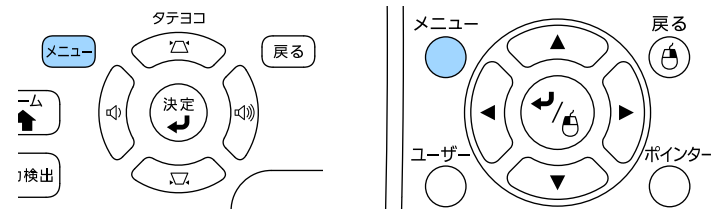
- ・ 「リモコンで 設置モードを変更する」 p.39
- ・ 「メニューから設置モードを変更する」 p.39
- ・ 「プロジェクターの設置・取り付け」 p.19

- 元の設置モードに戻すには、【A/Vミュート】ボタンをもう一度5秒間押します。

メニューから設置モードを変更する

メニューから設置モードを変更して、映像を上下左右反転します。

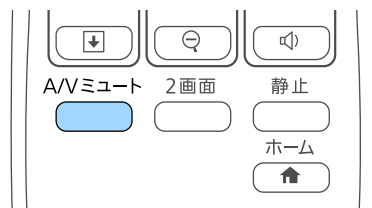
- 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



リモコンで 設置モードを変更する

設置モードを変更して、映像を上下反転します。

- 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- リモコンの【A/Vミュート】ボタンを5秒間押します。

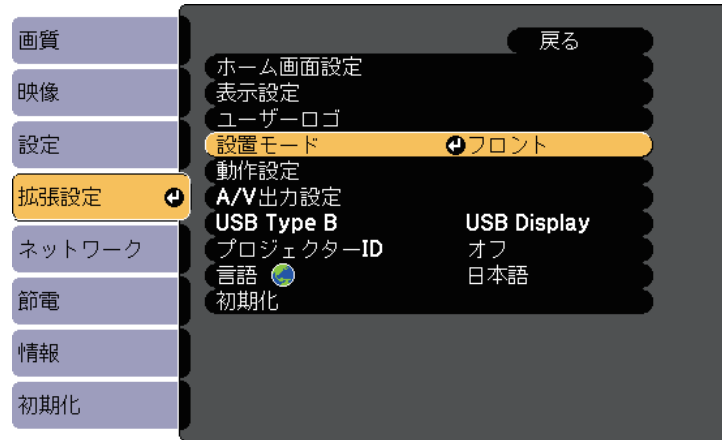


映像が一時的に消え、上下反転して再度投写されます。

- 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** 【設置モード】を選択し、【決定】ボタンを押します。

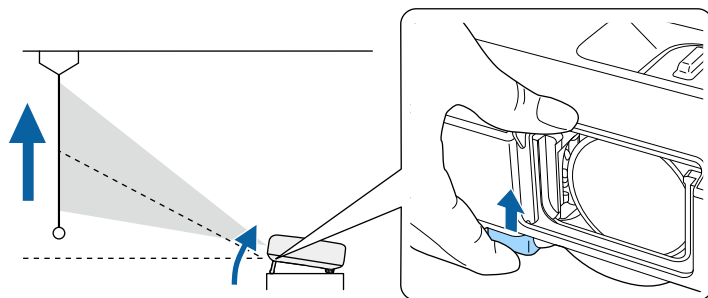


- 5** お使いの環境に合わせた設置モードを選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

机などの平らな場所に置いて投写するときには、プロジェクターのフットを使って高さを調整します。

傾斜角度が大きくなると、ピントが合いにくくなります。傾斜角度が小さくなるようにプロジェクターを設置してください。

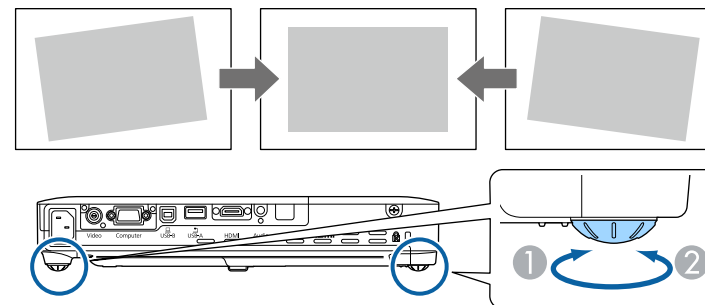
- 1 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2 フットレバーを押し上げ、本機の前面を持ち上げます。



プロジェクターからフロントフットが伸び出します。
最大14度まで角度を調整できます。

- 3 フットレバーから指を離してフロントフットを固定します。

- 4 映像が傾いているときは、リアフットを回して左右の高さを調整します。



- 1 フットを伸ばす
- 2 フットを縮める

投写映像がゆがむときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

- 「映像の形状を補正する」 [p.42](#)

スクリーンの正面にプロジェクターを設置し、水平にすることで、傾きやゆがみのない映像を投写できます。スクリーンに対して斜めにプロジェクターを設置したり、上下に傾けて設置したりしたときは、映像の形状を補正します。

▶ 関連項目

- ・「自動タテヨコ補正」 [p.42](#)
- ・「自動タテ補正」 [p.42](#)
- ・「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 [p.43](#)
- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 [p.44](#)
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.45](#)

自動タテヨコ補正

プロジェクターを移動したり傾けたりしたときに、自動タテヨコ補正によってタテ方向・ヨコ方向の台形ゆがみが自動的に補正されます（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。

プロジェクターを動かすと、調整用の画面が表示された後に投写映像が自動的に補正されます。

自動タテヨコ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

- ・スクリーンのサイズが100インチ以下
- ・投写距離が約0.7～2.3 m
- ・投写角度が左右約20°、上下約30°
- ・[拡張設定] メニューの [設置モード] が [フロント] に設定されていること



自動タテヨコ補正を機能させたくないときは、[設定] メニューの [自動タテヨコ補正] を [オフ] に設定します。

☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテヨコ補正]

▶ 関連項目

- ・「設置モードを選択する」 [p.39](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・「設定メニュー」 [p.125](#)

自動タテ補正

プロジェクターを移動したり傾けたりしたときに、自動タテ補正によってタテ方向のゆがみが自動的に補正されます（EB-1780W）。

自動タテ補正で投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

- ・投写角度が上下約30°
- ・[拡張設定] メニューの [設置モード] が [フロント] に設定されていること



自動タテ補正を機能させたくないときは、[設定] メニューの [自動タテ補正] を [オフ] に設定します。

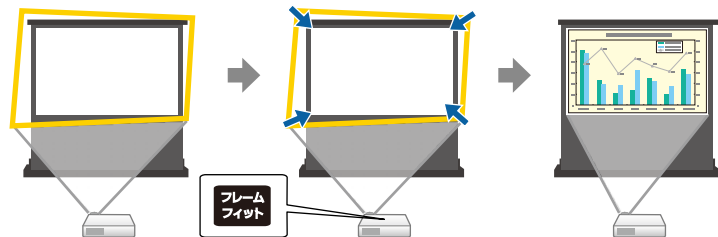
☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテ補正]

▶ 関連項目

- ・「設置モードを選択する」 [p.39](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・「設定メニュー」 [p.125](#)

フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する

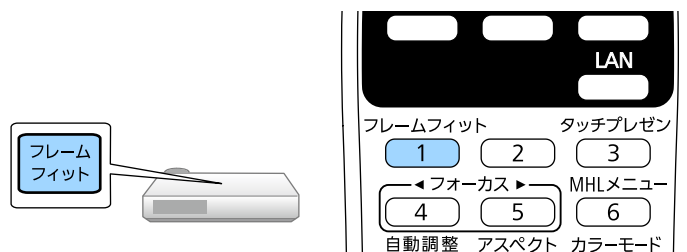
フレームフィット機能を使用すると、スクリーンに合わせて映像の形状と位置を自動的に補正できます（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。



フレームフィットで投写映像を正しく補正できる条件は、以下のとおりです。

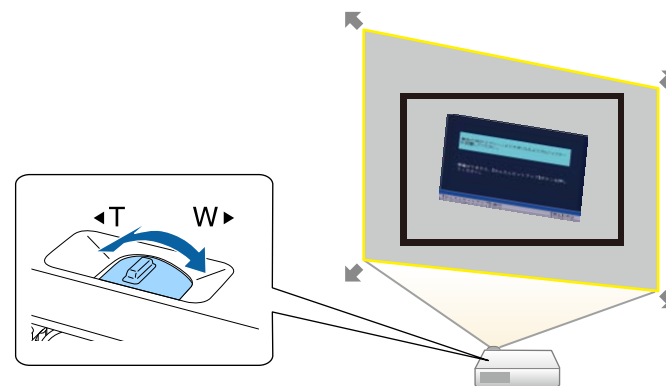
- ・スクリーンのサイズが100インチ以下
- ・投写距離が約1.0～2.5 m
- ・投写角度が左右約20°、上下約30°
- ・部屋が暗すぎない
- ・投写面に模様がなく、本機のセンサーが損傷していない

- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【フレームフィット】ボタンを押します。



スクリーンにメッセージが表示されます。

- 3** 必要に応じて本機の位置を移動して、メッセージがスクリーンの中央に表示されるようにします。
- 4** 黄色の枠がスクリーン枠より大きくなるように、ズームリングで映像を拡大します。




- ・ズームを最大にしても黄色の枠がスクリーン枠より大きくならないときは、本機をスクリーンから遠ざけてください。
- ・フレームフィットは投写エリア内に2辺以上の枠を検知すると、検知した枠に合わせて補正します。せまい部屋で横長のスクリーンに投写するときなど、黄色の枠をスクリーン枠より大きくできないときは、スクリーンの上下の辺を投写エリア内に収めることで補正できます。



- 5** 再度【フレームフィット】ボタンを押します。

調整用の画面が表示されたら、プロジェクターを動かしたり、映像を遮ったりしないでください。入力されている映像のアスペクト比に合わせて映像が補正された後、以下のメッセージが表示されます。

補正結果は本体操作パネルの  で微調整できます。

6 必要に応じて、操作パネルの台形補正/上下ボタンを押して映像を微調整します。

何も操作しないと、メッセージは約7秒後に消えます。

7 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

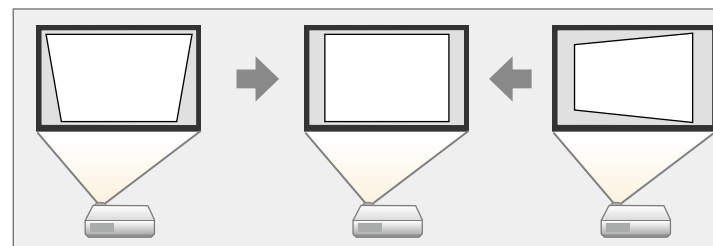
フレームフィット実行後は、[設定]メニューの[台形補正]が[Quick Corner]に設定されます。必要に応じて、操作パネルの台形補正/上下ボタンを押して、Quick Cornerで映像のコーナーを個別に補正できます。

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.125](#)
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 [p.45](#)

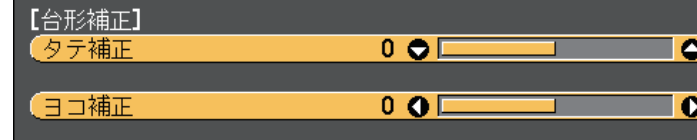
台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する

台形補正/上下ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。

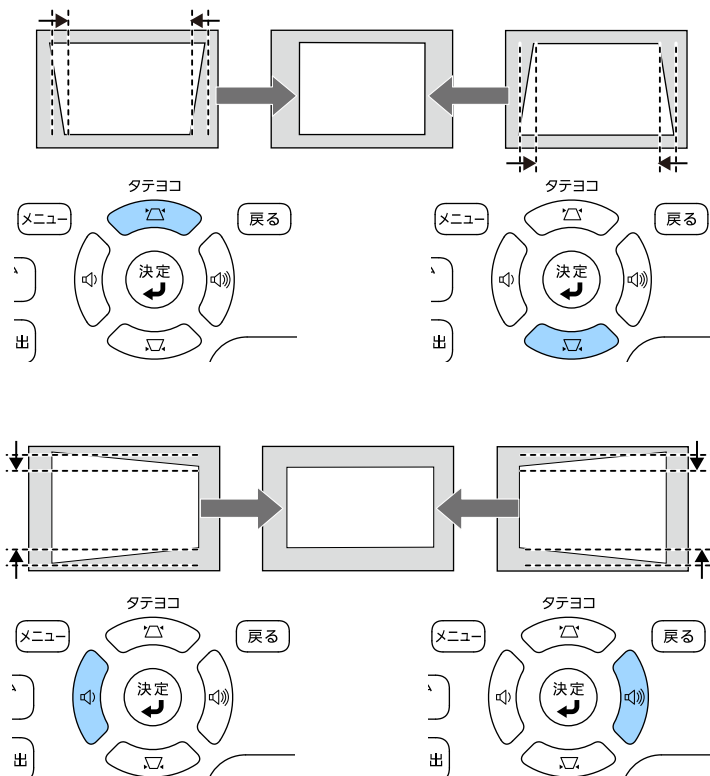


台形補正/上下ボタンで映像を補正できる条件は、投写角度が左右約30°、上下約45°のときです。



- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** 操作パネルの台形補正/上下どちらかのボタンを押して、台形補正画面を表示します。



3 上下左右ボタンを押して映像の形状を調整します。

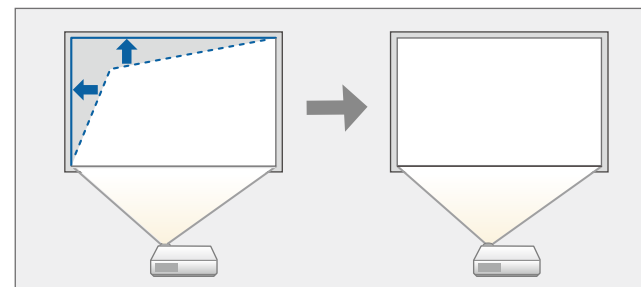


補正後は、映像が少し小さくなります。

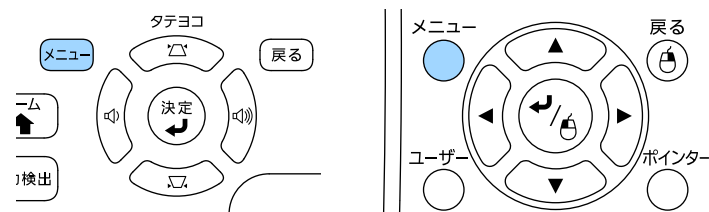
 プロジェクターが手の届かない場所に設置されているときは、リモコンで映像のゆがみを補正してください。
 [設定] > [台形補正] > [タテヨコ]

Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する

Quick Corner機能を使用して、映像のゆがみと大きさを補正します。



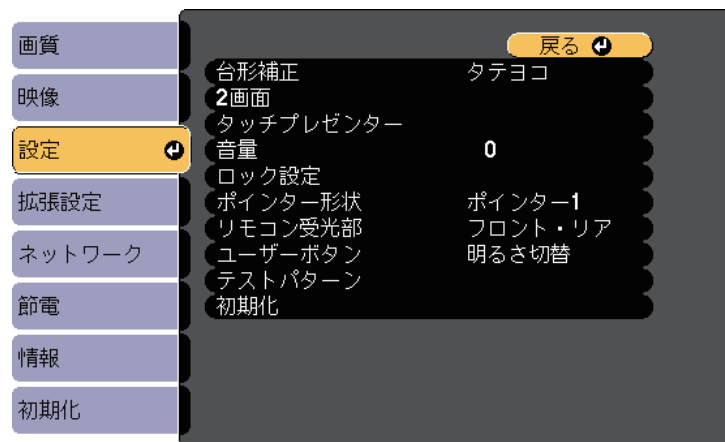
- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



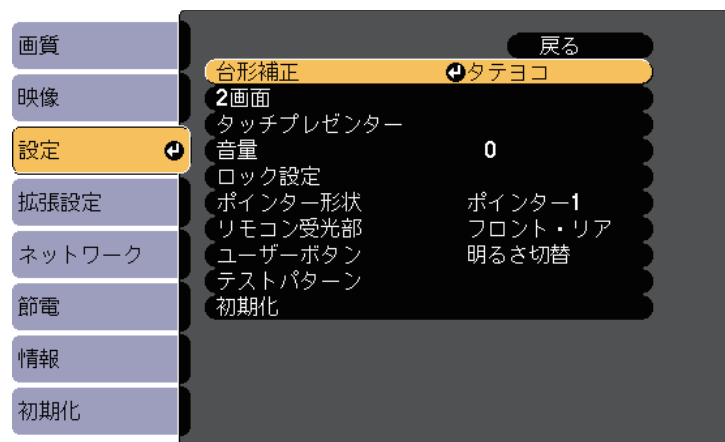
▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.125](#)

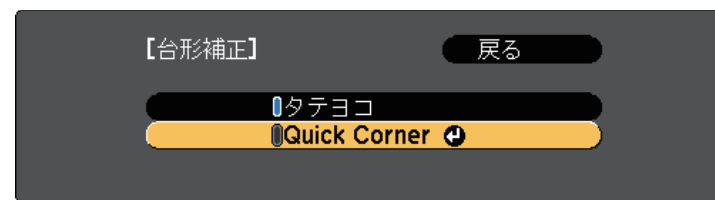
- 3** [設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** [台形補正] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5** [Quick Corner] を選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じて【決定】ボタンをもう一度押します。



エリア選択画面が表示されます。

- 6** 上下左右ボタンを押して、調整するコーナーを選択します。その後、【決定】ボタンを押します。



- 7** 上下左右ボタンを押して、映像の形状を調整します。
【決定】ボタンを押すと、エリア選択画面に戻ります。



- 以下の画面で、グレーの三角形で示される方向にはこれ以上調整できません。



- Quick Cornerで補正した結果を初期化するには、Quick Corner調整画面が表示されているときに【戻る】ボタンを約2秒間押し、【Quick Corner初期化】を選択します。映像の補正方法をタテヨコに切り替えるときは、【タテヨコへ切替】を選択します。



Quick Corner実行後は、【設定】メニューの【台形補正】が【Quick Corner】に設定されます。操作パネルの台形補正/上下ボタンを押したときは、エリア選択画面が表示されます。

▶ 関連項目

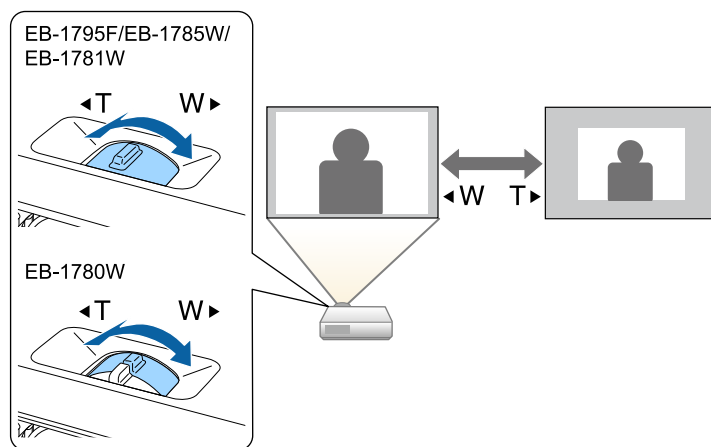
- 「設定メニュー」 [p.125](#)

8 手順6と7を繰り返して、調整が必要なすべてのコーナーを調整します。

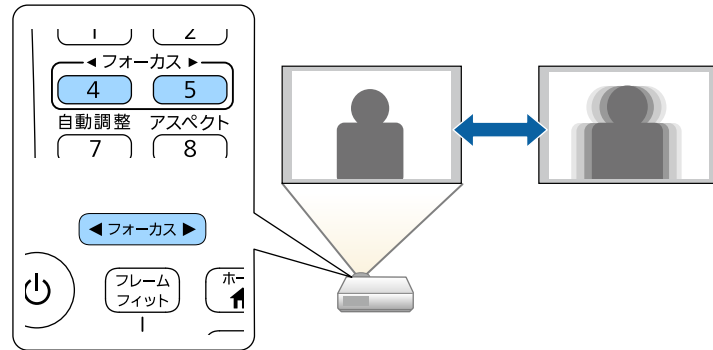
9 終了したら、【戻る】ボタンを押します。

ズームリングで映像の大きさを調整できます。

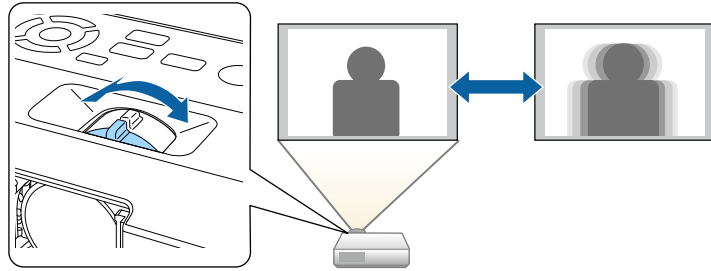
- 1** 本機の電源を入れ、映像を表示します。
- 2** ズームリングを回して、映像を拡大/縮小します。



操作パネルまたはリモコンの【フォーカス】ボタンを使用して、ピントのズレを補正します（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。

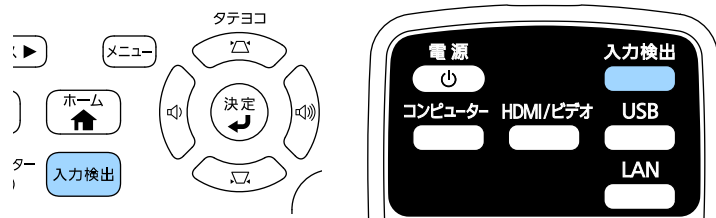


フォーカスリングを使用して、ピントのズレを補正します（EB-1780W）。



コンピューターとDVDプレーヤーなど複数の機器をプロジェクターに接続しているときは、投写する映像を切り替えます。

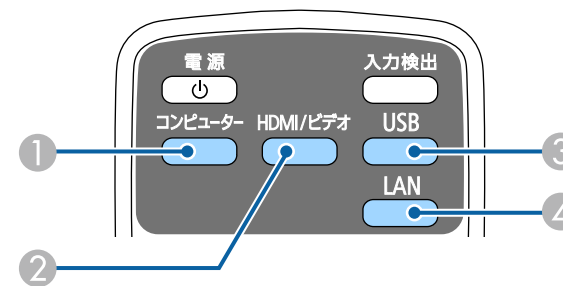
- 1** 接続機器の電源が入っていることを確認します。
- 2** ビデオ機器の映像を投写するときは、DVDなどのメディアを挿入して再生します。
- 3** 次のいずれかの操作を行います。
 - ・ 目的の機器からの映像が表示されるまで、操作パネルまたはリモコンの【入力検出】ボタンを押します。



映像信号が検出されないときは、次の画面が表示されます。本機と接続機器が正しく接続されていることを確認してください。



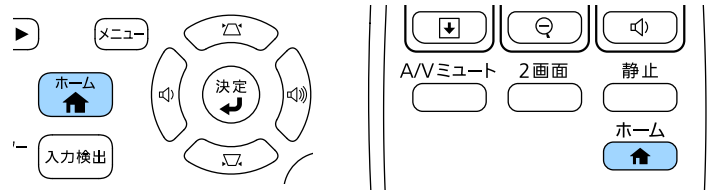
- ・ リモコンで、投写したい入力ソースのボタンを押します。押したボタンに対応する入力ソースが複数あるときは、ボタンを再度押して入力ソースを切り替えます。



- ① コンピューター入力ソース（コンピューター端子）
- ② ビデオ、HDMI、およびMHL入力ソース（ビデオおよびHDMI端子）
- ③ USB入力ソース（USB-A端子に接続された外付デバイス、およびUSB-B端子）

④ ネットワーク入力ソース（LANおよびScreen Mirroring）

- 操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。



投写する入力ソースを選択します。



本機はさまざまな縦横比（アスペクト比）で映像を表示できます。通常は、接続機器からの入力信号によって映像のアスペクト比が決まります。USB ディスプレイ、USB、LANソースを除く入力信号では、映像をスクリーンに合わせるためにアスペクト比を切り替えることができます。

常に特定のアスペクト比で投写するときは、[映像] メニューでアスペクトを設定します。

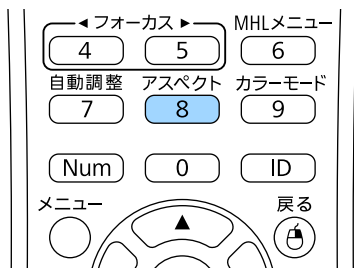
▶ 関連項目

- ・「映像のアスペクト比を切り替える」 p.53
- ・「アスペクトモードの種類」 p.53
- ・「各アスペクトモードの投写イメージ」 p.54
- ・「映像メニュー」 p.123

映像のアスペクト比を切り替える

投写する映像のアスペクト比を切り替えます。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【アスペクト】ボタンを押します。



- 3 投写中の入力信号で設定可能なアスペクト比を順に切り替えるときは、【アスペクト】ボタンを繰り返し押します。



投写映像に黒帯が発生するときは、コンピューターの解像度に合わせて [映像] メニューの [入力解像度] を [ワイド] または [ノーマル] に設定してください。

▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 p.123

アスペクトモードの種類

接続機器からの入力信号に応じて、以下のアスペクト比を選択できます。



- ・入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。
- ・[オート] は、入力ソースがHDMIのときのみ使用できます。
- ・著作権法で保護されている映像をアスペクト機能で圧縮、引き伸ばし、分割などを行い、営利目的で公衆に視聴させた場合は、著作権者の権利を侵害するおそれがあります。

解像度1080p（1920 × 1080）の場合

アスペクトモード	説明
オート	入力信号と [入力解像度] の設定に従って、アスペクト比が自動的に設定されます。
ノーマル	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリア内に映像を表示します。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。

アスペクトモード	説明
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅に合わせて映像を表示します。
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。

解像度WXGA (1280 × 800) の場合

アスペクトモード	説明
オート	入力信号と [入力解像度] の設定に従って、アスペクト比が自動的に設定されます。
ノーマル	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリア内に映像を表示します。
16:9	入力信号のアスペクト比が16:9に変換されます。
フル	入力信号のアスペクト比を維持せずに、投写エリア全体に映像を表示します。
ズーム	入力信号のアスペクト比を維持し、投写エリアの横幅に合わせて映像を表示します。
リアル	入力信号のアスペクト比と解像度を維持して表示します。

各アスペクトモードの投写イメージ

入力信号のアスペクト比と解像度によっては、特定のアスペクトモードで黒帯が発生したり、映像の端が欠けたりすることがあります。黒帯が発生する領域と映像の欠けが発生する領域は、以下の表をご覧ください。











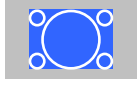
[リアル] を選択したときのイメージは、入力信号の解像度によって異なることがあります。

解像度1080p (1920 × 1080) の場合

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
ノーマル オート			
フル			
ズーム			
リアル			

解像度WXGA (1280 × 800) の場合

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
ノーマル オート			
16:9			

アスペクトモード	入力信号のアスペクト比		
	16:10	16:9	4:3
フル			
ズーム			
リアル			

本機は、投写環境や映像の種類に応じて、明るさ、コントラスト、色を最適化するためのカラーモードを用意しています。環境や映像の種類に合ったカラーモードを選択できます。

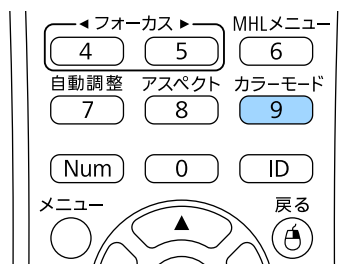
▶ 関連項目

- ・「カラーモードを変更する」 p.56
- ・「カラーモードの種類」 p.56
- ・「オートアイリスを設定する」 p.57

カラーモードを変更する

リモコンでカラーモードを変更して、映像を最適化します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 リモコンの【カラーモード】ボタンを押してカラーモードを切り替えます。



カラーモードの名称が一時的に投写画面に表示され、映像の表示が切り替わります。

- 3 投写中の入力信号で選択できるカラーモードを順に切り替えるには、【カラーモード】ボタンを繰り返し押します。



カラーモードは [画質] メニューの [カラーモード] でも設定できます。

▶ 関連項目

- ・「画質メニュー」 p.121

カラーモードの種類

投写している映像の種類に応じて、以下のカラーモードを設定できます。

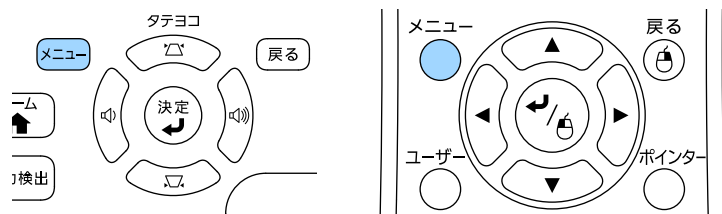
カラーモード	説明
プレゼンテーション	映像を明るく鮮やかに投写したい場合に適しています。
ダイナミック	最も明るいモードです。明るさを優先したい場合に適しています。
シネマ	映画などのコンテンツを楽しむのに適しています。
sRGB	コンテンツの持つ色表現を忠実に再現したい場合に適しています。
黒板	黒板に直接投写する場合に適しています。
DICOM SIM	エックス線写真などの医用画像を投写するのに適しています。ただし、本機は医療機器ではありませんので、医療診断の用途ではご利用いただけません。

オートアイリスを設定する

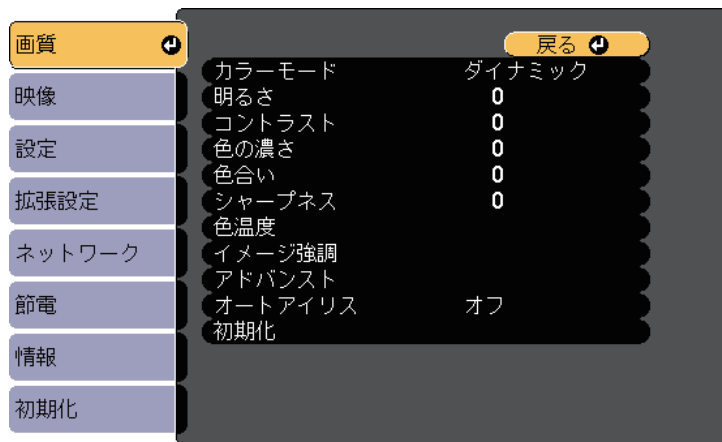
表示される映像の明るさに合わせて光量を自動的に設定することで、奥行きと深みのある画像が楽しめます。

カラーモードが [ダイナミック] または [シネマ] のときのみ設定できます。

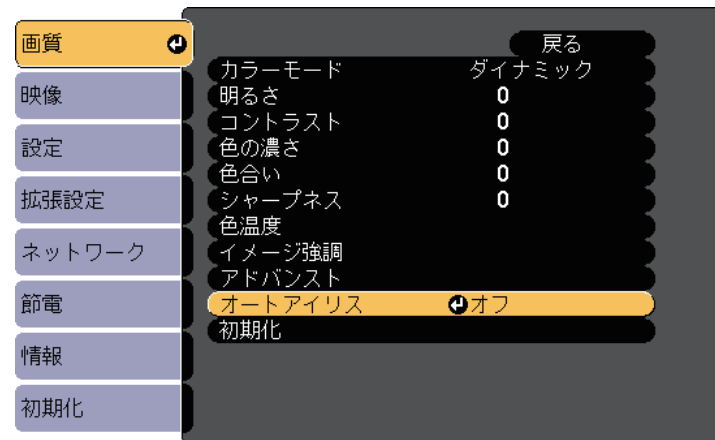
- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



- 3 [画質] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4 [オートアイリス] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5 以下のいずれかを選択し、【決定】ボタンを押します。
 - ・ [高速] : シーンが切り替わったとき、すぐに光量を調整します。
 - ・ [標準] : 標準の光量調整が行われます。
- 6 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

投写映像の色合いを細かく調整できます。

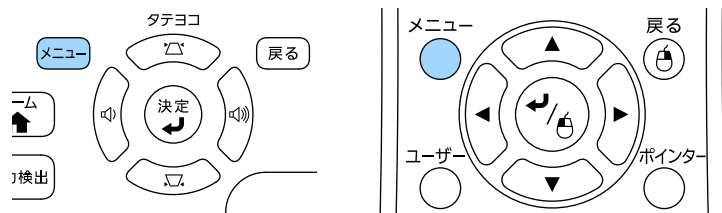
▶ 関連項目

- ・「色相、彩度、明度を調整する」 p.58
- ・「ガンマを調整する」 p.59

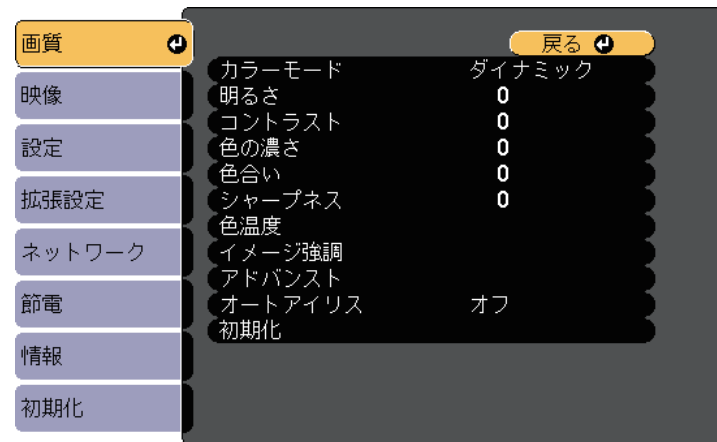
色相、彩度、明度を調整する

映像の色相、彩度、明度を調整します。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

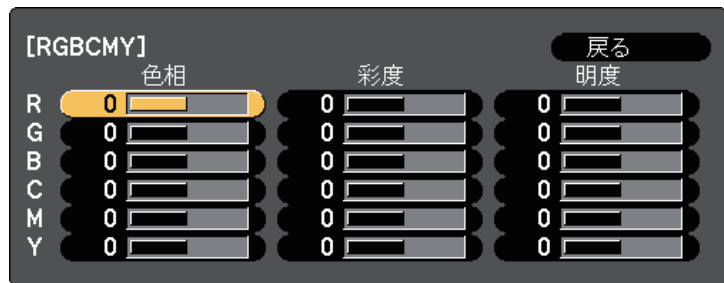


- 3 [画質] を選択し、【決定】ボタンを押します。

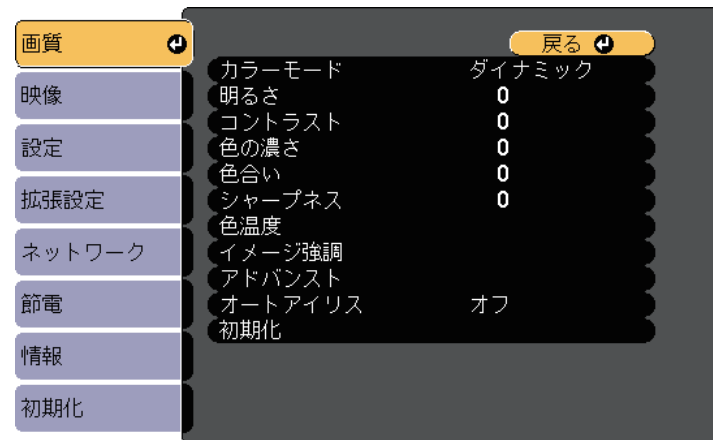


- 4 [アドバンスト] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5 [RGBCMY] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6 R (赤)、G (緑)、B (青)、C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー) のそれぞれについて、必要に応じて以下を調整します。
 - ・ [色相] : 映像全体の色味を、青系～緑系～赤系へと調整します。
 - ・ [彩度] : 映像全体の鮮やかさを調整します。

- ・【明度】：映像全体の明るさを調整します。



- 3 【画質】を選択し、【決定】ボタンを押します。

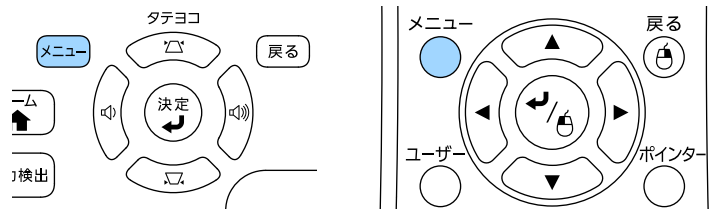


- 7 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

ガンマを調整する

ガンマを調整することにより、接続機器の違いにより生じる投写映像の発色の違いを調整します。

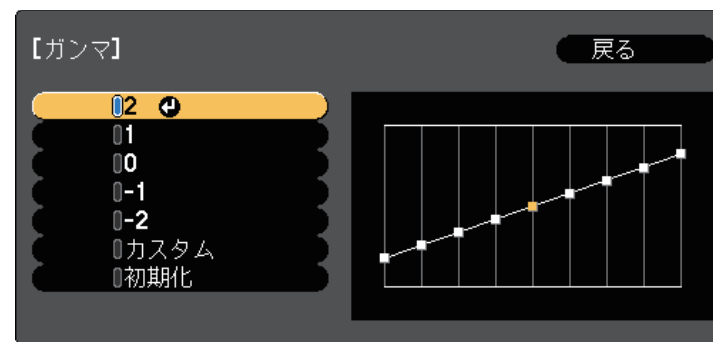
- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



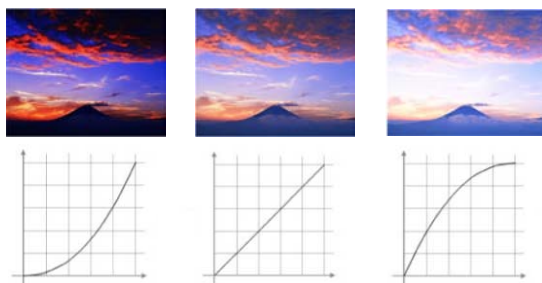
- 4 【アドバンスト】を選択し、【決定】ボタンを押します。


- 5 【ガンマ】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 6 補正值を選んで調整します。



数値が小さいほど、映像全体の明るさを抑えてメリハリのある映像になります。数値が大きいと、映像の暗い部分が明るくなり、明るい部分は色の濃淡が小さくなります。



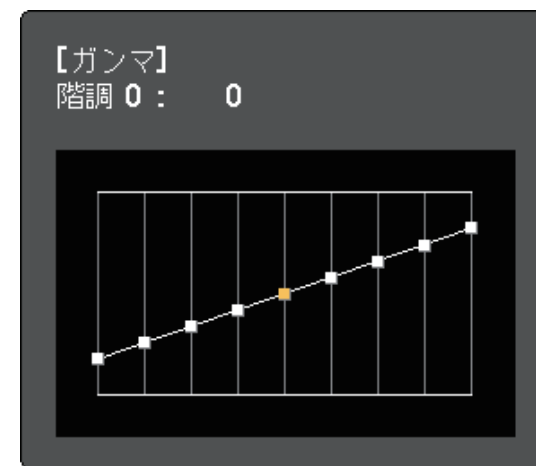
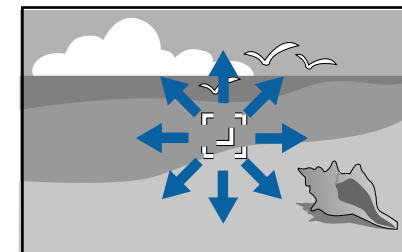
- 
 ・ [画質] メニューの [カラーモード] で [DICOM SIM] を選択したときは、投写サイズに応じた補正値を選択します。
- ・ 投写サイズが80インチ以下：より小さい数値を選択します。
- ・ 投写サイズが80インチ以上：より大きい数値を選択します。
- ・ 本機の設置環境やスクリーンの仕様によっては、医用画像を正しく再現できないことがあります。

7 調整の精度を上げるには、[カスタム] を選択し、【決定】ボタンを押します。

8 以下のいずれかの方法で映像を調整します。

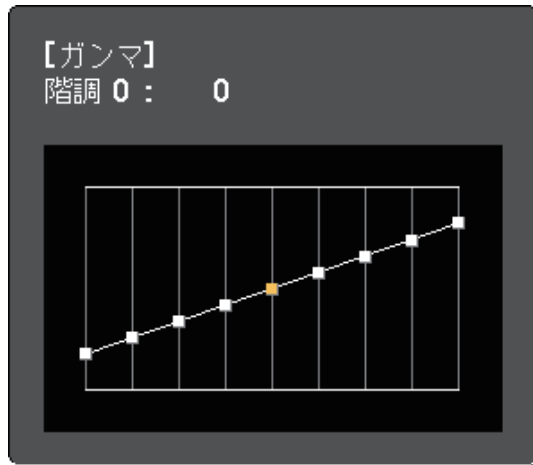
- ・ 映像を見ながら調整するには、[映像から調整する] を選択します。投写中の映像に表示されるカーソルで明るさを変更した

い場所を選択して、【決定】ボタンを押します。選択された階調を上下ボタンで調整し、【決定】ボタンを押します。



- ・ ガンマ調整グラフを使用して調整するには、[グラフから調整する] を選択します。左右ボタンで変更したい階調を選択しま

す。選択された階調を上下ボタンで調整し、【決定】ボタンを押します。



9 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

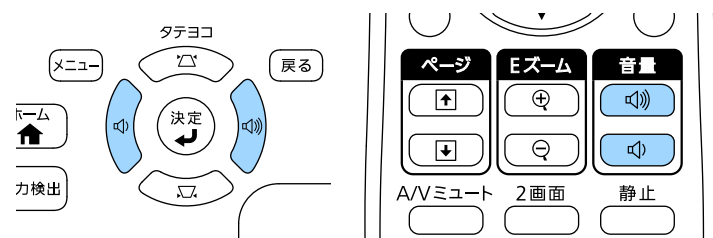
▶ 関連項目

- ・ 「画質メニュー」 [p.121](#)

音量ボタンは、プロジェクターの内蔵スピーカーの音量を調整します。

音量は接続した入力ソースごとに調整する必要があります。

- 1 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【音量】ボタンを押して、音量を調整します。



音量調節画面が表示されます。

- 3 メニューから音量を調整するときは、[設定]メニューの[音量]を設定します。設定値は入力ソースごとに保持されます。

⚠ 注意

初めから音量を上げすぎないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量を下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。

▶ 関連項目

- ・「設定メニュー」 [p.125](#)

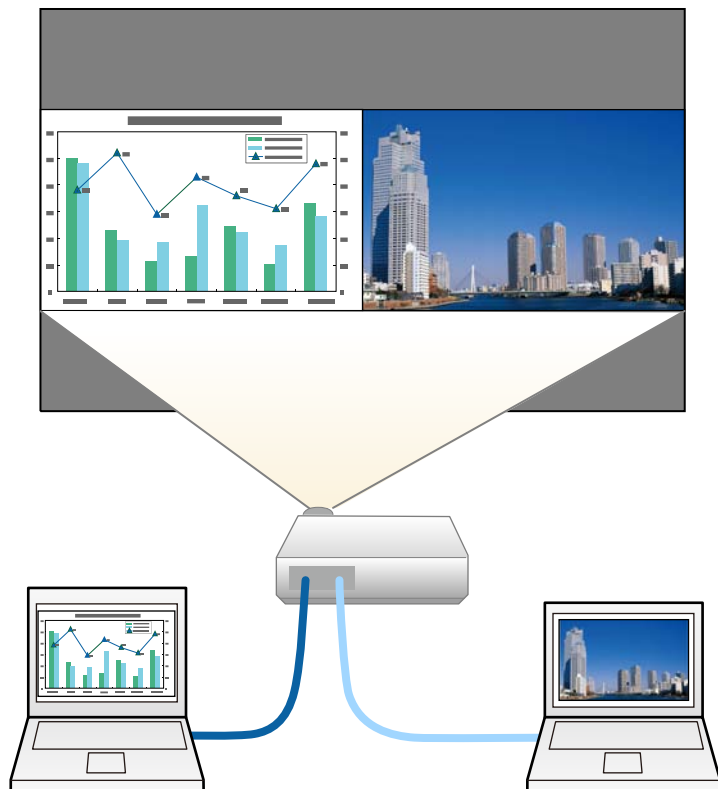
プロジェクターの便利な機能

プロジェクターの各機能を使用します。

▶ 関連項目

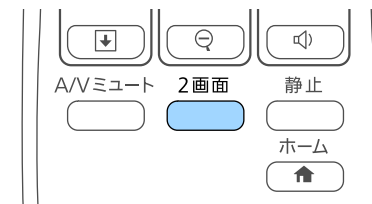
- 「2つの映像を同時に投写する」 [p.64](#)
- 「PC Free機能で投写する」 [p.67](#)
- 「投写画面上の手の動きでプレゼンを操作する」 [p.74](#)
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.77](#)
- 「映像を一時的に停止する」 [p.78](#)
- 「画面の一部を拡大表示する」 [p.79](#)
- 「リモコンでコンピューターのマウス操作をする」 [p.80](#)
- 「リモコンでポインターを表示する」 [p.82](#)
- 「ユーザーロゴを設定する」 [p.83](#)
- 「複数台のプロジェクターから投写した映像の色差補正」 [p.86](#)
- 「セキュリティー機能」 [p.89](#)

2画面機能を使用して、2つの機器の映像を同時に投写します。2画面機能はリモコンまたはメニューから実行できます。



- 2画面機能を使用しているときは、本機の一部の機能が使用できなかつたり、一部の設定が自動的に両方の映像に適用されたりすることがあります。

1 リモコンの【2画面】ボタンを押します。



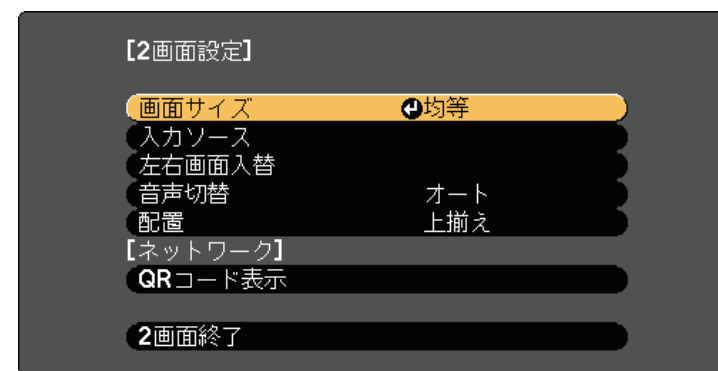
投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。



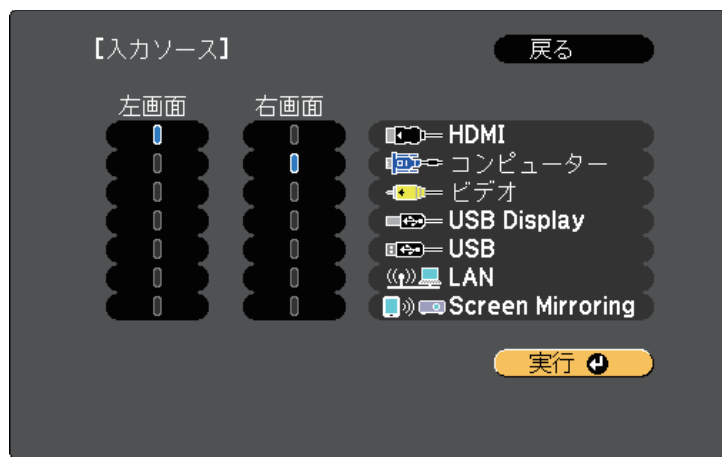
【設定】メニューの【2画面】からも同じ操作ができます。


2 【メニュー】ボタンを押します。

次の画面が表示されます。



- 3** 右画面に投写する入力ソースを選択するには、[入力ソース] を選択し、【決定】ボタンを押します。入力ソースを選択し、[実行] を選択して【決定】ボタンを押します。





 ・組み合わせ可能な入力ソースのみを選択できます。
 ・2画面で投写中は、リモコンで入力ソースを切り替える操作をしたときにも [入力ソース] 画面が表示されます。

- 4** 左右の映像を切り替えるには、[左右画面入替] を選択し、【決定】ボタンを押します。
投写映像の左右が入れ替わります。




- 5** 一方の映像を縮小してもう一方の映像を拡大するには、[画面サイズ] を選択し、【決定】ボタンを押します。拡大する画面を選択し、【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。




 映像信号によっては、[均等] を選択しても左右の映像の大きさが一致しないことがあります。

- 6** 出力する音声を切り替えるには、[音声切替] を選択し、【決定】ボタンを押します。音声を出力する画面を選択し、【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。


 [オート] を選択すると、拡大している方の画面、または左画面の音声が出力されます。

- 7** 画面の位置揃えを変更するには、[配置] を選択し、【決定】ボタンを押します。左右の画面を中央揃えにするか上揃えにするかを選択し、【決定】ボタンを押します。設定を終了するには【メニュー】ボタンを押します。

- 8** 2画面機能を終了するには、【2画面】ボタンまたは【戻る】ボタンを押します。

▶ 関連項目

- ・「2画面投写できない入力ソースの組み合わせ」 [p.66](#)
- ・「2画面投写中の制限事項」 [p.66](#)

2画面投写できない入力ソースの組み合わせ

以下の入力ソースの組み合わせでは、2画面投写はできません。

- ・ コンピューターとビデオ
- ・ HDMIとScreen Mirroring
- ・ USBディスプレイとUSB/LAN
- ・ LANとScreen Mirroring

2画面投写中の制限事項

操作に関する制限事項

2画面で投写中は、以下の操作はできません。

- ・ メニューの設定
- ・ E-Zoom
- ・ アスペクトモードの切り替え（アスペクトモードは [ノーマル] に設定されます。）
- ・ リモコンの【ユーザー】ボタンでの操作
- ・ オートアイリス

画質調整に関する制限事項

- ・ [画質] メニューで調整した設定（ [明るさ]、 [コントラスト]、 [色の濃さ]、 [色合い]、 [シャープネス] ）は左画面にのみ適用され、右画面には初期設定が適用されます。 [カラーモー

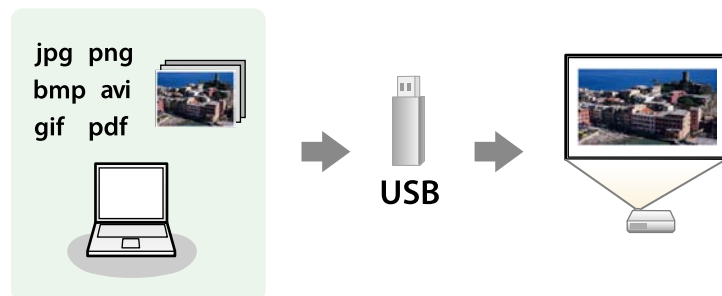
ド] や [色温度] など、映像全体に対する設定は、両方の画面に適用されます。

- ・ 右画面では、 [画質] メニューの [ノイズリダクション] は0に、 [プログレッシブ変換] は [オフ] に設定されます。
 - ☛ [画質] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]
 - ☛ [画質] > [アドバンスト] > [プログレッシブ変換]
- ・ 映像信号の未入力時にユーザーロゴを表示することはできません。ユーザーロゴを設定していても、青い画面が表示されます。

▶ 関連項目

- ・ 「映像のアスペクト比を設定する」 [p.53](#)
- ・ 「カラーモードを設定する」 [p.56](#)
- ・ 「設定メニュー」 [p.125](#)
- ・ 「映像メニュー」 [p.123](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・ 「画面の一部を拡大表示する」 [p.79](#)
- ・ 「オートアイリスを設定する」 [p.57](#)
- ・ 「映像の色合いを調整する」 [p.58](#)

PC Free機能は、USB機器を本機に接続して、保存されたファイルを投写できます。素早く簡単に映像を投写でき、リモコンから映像を操作することもできます。



▶ 関連項目

- ・「サポートファイル形式」 p.67
- ・「PC Free使用時の注意事項」 p.68
- ・「PC Freeのスライドショーを開始する」 p.68
- ・「PC FreeでPDFファイルを投写する」 p.70
- ・「PC Freeで動画を投写する」 p.72
- ・「PC Freeの表示オプション」 p.73

サポートファイル形式

以下の形式のファイルをPC Freeで投写できます。



- ・ FAT16/32でフォーマットされたUSB機器にファイルを保存してください。
- ・ Windows以外のファイルシステムでフォーマットしたUSB機器で投写に問題があるときは、Windowsでフォーマットしてください。

ファイルの内容	ファイルタイプ (拡張子)	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 ・ CMYK形式 ・ プログレッシブ形式 ・ 高圧縮 ・ 解像度が8192 × 8192以上
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800以上
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800以上 ・ アニメーションファイル ・ インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 ・ 解像度が1280 × 800以上 * ・ インターレース形式
PDF	.pdf	以下のファイル形式は投写できません。 ・ PDFバージョンが1.8以降 ・ 暗号化ファイル
動画	.avi (Motion JPEGのみ)	AVI 1.0のみ投写できます。 以下のファイル形式は投写できません。 ・ PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存されたファイル ・ 解像度が1280 × 720以上 ・ ファイルサイズが2 GB以上

* 解像度1080p対応プロジェクターでは、解像度1920×1200以上のファイルは投写できません。

PC Free使用時の注意事項

PC Free機能を使用するときは、以下の点に注意してください。

- PC Freeで投写中は、USB機器を本機から取り外さないでください。PC Freeが正しく動作しなくなるおそれがあります。
- セキュリティー機能が搭載されているUSB機器は、使用できないことがあります。
- ACアダプターが付属されているUSB機器を接続するときは、ACアダプターを電源コンセントに接続してください。
- 市販のUSBカードリーダーの中には、本機で使用できないものもあります。
- 本機は、同時に5つまでのメディアを認識できます。
- PC Freeで投写中は映像のゆがみを補正できないため、PC Freeを実行する前に補正してください。
- 以下の機能はPC Freeで投写しているときでも使用できます。
 - 静止
 - A/Vミュート
 - E-Zoom
 - ポインター

▶ 関連項目

- 「映像を一時的に停止する」 p.78
- 「映像と音声を一時的に遮断する」 p.77
- 「画面の一部を拡大表示する」 p.79
- 「リモコンでポインターを表示する」 p.82

PC Freeのスライドショーを開始する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えてスライドショーを開始します。



- 画面下部の [オプション] を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定を変更したり、画面切替効果を追加したりできます。

1

リモコンの【USB】ボタンを押します。

PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の [ドライブの選択] を選択して、【決定】ボタンを押します。

2 以下の操作で投写するファイルを探します。

- USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ひとつ上のフォルダーに戻るときは、[上へ戻る]を選択して、【決定】ボタンを押します。
- 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、[次のページ]または[前のページ]を選択して【決定】ボタンを押すか、リモコンの【ページ】送り/戻しボタンを押します。

3 以下のいずれかの操作でファイルを投写します。

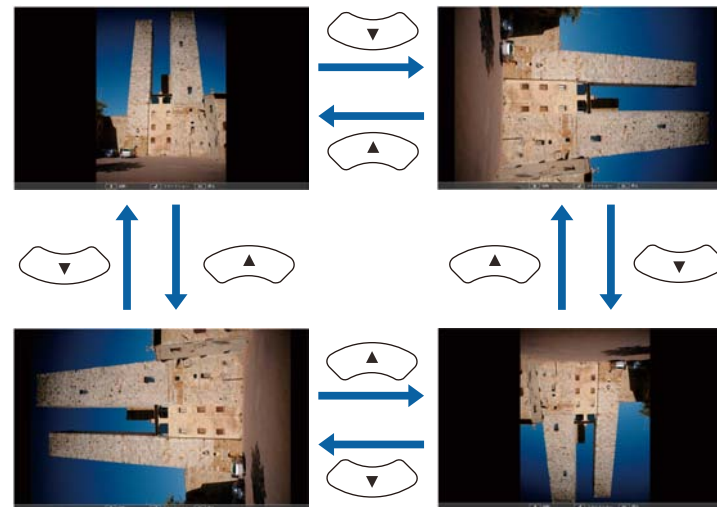
- 投写するファイルを1つずつ選択するときは、上下左右ボタンで画像を選択し、【決定】ボタンを押します。(ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。)
- 同一フォルダー内のすべての画像をスライドショーで表示するには、上下左右ボタンで画面下部の[スライドショー]を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 画像の切り替え時間を変更できます。画面下部の[オプション]を選択し、【決定】ボタンを押して、表示オプション設定画面で変更してください。
- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。

4 投写中は、以下の操作ができます。

- 画像の回転：上下ボタンを押して、画像を回転できます。



- 画像の送り戻し：左右ボタンを押して、表示中の画像の前または次の画像を表示します。

5 画像の投写を終了するときは、【戻る】ボタンを押します。ファイル一覧画面に戻ります。**6** 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

▶ 関連項目

- 「PC Freeの表示オプション」 p.73
- 「USB機器を接続する」 p.27

PC FreeでPDFファイルを投写する

USBデバイスをプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えて、PDFファイルの投写を始めます（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。



- PC Freeでは、PDFファイルの以下の操作はできません。
 - パスワードの解除
 - 電子署名、JPEG2000画像、透明効果、3Dアートワーク、注釈の表示
 - マルチメディアコンテンツの再生
 - 暗号化されたPDFファイルの表示
 - 拡張子が.pdf以外のPDFファイルの表示

- 1** リモコンの【USB】ボタンを押します。
PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の【ドライブの選択】を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 2** 以下の操作で投写するファイルを探します。
 - USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
 - ひとつ上のフォルダーに戻るときは、【上へ戻る】を選択して、【決定】ボタンを押します。
 - 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、【次のページ】または【前のページ】を選択して【決定】ボタンを押すか、リモコンの【ページ】送り/戻しボタンを押します。
- 3** 上下左右ボタンで投写するファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。（ファイル一覧画面に戻るには、【戻る】ボタンを押します。）

PDFファイルの最初のページが全画面表示されます。



ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。

4 PDFファイルの投写中は、以下の操作ができます。

- ページの送り戻し：上下ボタンを押して、前または次のページに移動します。
- ページの選択：【戻る】ボタンを押して、ページ選択メニューを表示します。左右ボタンでページを選択して【決定】ボタン

を押します。（【戻る】ボタンを押すと、ページ選択メニューは閉じます。）



- ページの拡大：【決定】ボタンを押して、ページを拡大表示します。縦長のページは投写画面の横幅いっぱいに、横長のページは投写画面の縦幅いっぱいに拡大されます。拡大表示中は上下左右ボタンを押して、ページのスクロールができます。通常の見返しに戻すには、再度【決定】ボタンを押します。
- ページの回転：左右ボタンを押して、ページを回転します。

5 投写を終了するときには、【戻る】ボタンを押して、[終了]を選択して【決定】ボタンを押します。

6 必要に応じてUSBデバイスの電源を切り、本機から取り外します。

▶ 関連項目

- 「USB機器を接続する」 [p.27](#)

PC Freeで動画を投写する

USB機器をプロジェクターに接続した後、入力ソースをUSBに切り替えて、動画の投写を開始します。



- 画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押して、PC Freeの動作設定オプションを変更できます。

- 1 リモコンの【USB】ボタンを押します。
PC Freeファイル一覧画面が表示されます。



- ドライブの選択画面が表示されたときは、上下左右ボタンでドライブを選択して、【決定】ボタンを押します。
- ドライブの選択画面を表示するには、ファイル一覧画面上部の「ドライブの選択」を選択して、【決定】ボタンを押します。

- 2 以下の操作で投写するファイルを探します。
 - USB機器のサブフォルダーにあるファイルを投写するときは、上下左右ボタンで該当のフォルダーを選択して、【決定】ボタンを押します。
 - ひとつ上のフォルダーに戻るときは、「上へ戻る」を選択して、【決定】ボタンを押します。
 - 同一フォルダー内の表示されていないファイルを表示するには、「次のページ」または「前のページ」を選択して【決定】ボタンを押すか、リモコンの【ページ】送り/戻しボタンを押します。

- 3 上下左右ボタンでファイルを選択し、【決定】ボタンを押します。



- ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。
- 同一フォルダー内のすべての動画を連続再生するには、画面下部の「スライドショー」を選択します。

- 4 投写を終了するときには、【戻る】ボタンを押し、「終了」を選択して【決定】ボタンを押します。
ファイル一覧画面に戻ります。

- 5 必要に応じてUSB機器の電源を切り、本機から取り外します。

▶ 関連項目

- 「PC Freeの表示オプション」 p.73
- 「USB機器を接続する」 p.27

PC Freeの表示オプション

PC Freeでは、以下の表示オプションを設定できます。PC Freeファイル一覧画面下部の「オプション」を選択し、【決定】ボタンを押します。



設定	選択肢	説明
表示時間設定	なし	画像の自動送りなし
	1秒～60秒	設定した秒数の間画像を表示した後、自動的に次の画像を表示（高解像度の画像は、設定秒数よりも切り替えが遅れることがあります）
画面切替効果	なし	切り替え効果なし
	ワイプ	画像の切り替え時にワイプ効果を入れる
	ディゾルブ	画像の切り替え時にディゾルブ効果を入れる
	ランダム	画像の切り替え時にランダム効果を入れる

設定	選択肢	説明
表示順序設定	ファイル名順	ファイル名順でファイルを表示
	更新日付順	更新日付順でファイルを表示
ソート方向	昇順	数字やアルファベットの小さい順にファイルを並べる
	降順	数字やアルファベットの大きい順にファイルを並べる
繰り返し再生	オン	スライドショーを連続表示
	オフ	スライドショーを1回のみ表示

タッチプレゼンター機能を使うと、投写画面上の手の動きでプレゼンを操作できます。スクリーンの前に立っているときにリモコンがなくてもプレゼンを進められるので便利です（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。

タッチプレゼンター機能を使える条件は以下のとおりです。

- ・ [設定] メニューの [タッチプレゼンター] が [オン] に設定されていること
 - ☛ [設定] > [タッチプレゼンター] > [タッチプレゼンター]
- ・ [拡張設定] メニューの [設置モード] が [フロント] または [フロント・天吊り] に設定されていること
- ・ スクリーンのサイズが100インチ以下
- ・ 投写距離が約0.9～2.2 m
- ・ 投写角度が左右約30°、上下約20°
- ・ Windows 10を搭載したモバイルデバイスを使ってScreen Mirroringで接続するときは、[このディスプレイに接続されたキーボードまたはマウスからの入力を許可する] を選択していること



タッチプレゼンター機能を開始する前に台形補正やカラーモードなどの投写画面の調整をしてください。タッチプレゼンター機能実行中に投写画面の調整をすると、マーカーが認識されないことがあります。

- 1** ケーブルまたはネットワーク経由で本機とコンピューターを接続します。
- 2** USB-B以外の端子でコンピューターを接続したときは、本機のUSB-B端子とコンピューターをUSBケーブルで接続します（タッチプレゼンター用）。

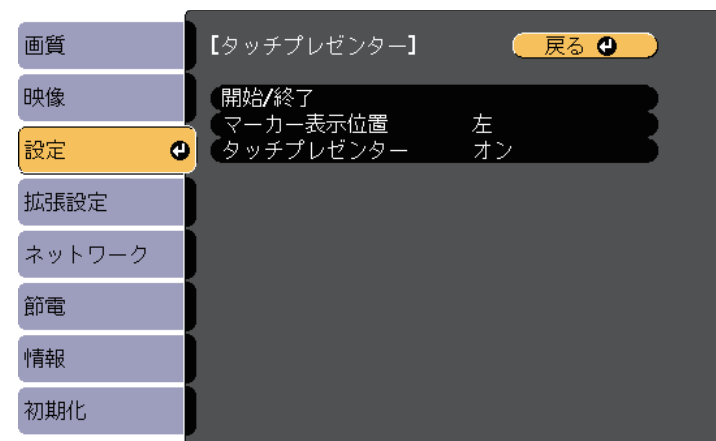


EasyMP Multi PC Projectionで接続したときや、Windows 10でScreen Mirroring接続をしたときは、USBケーブルを接続する必要はありません。

- 3** 本機の電源を入れ、投写する機器の映像に切り替えます。
- 4** リモコンの【タッチプレゼン】ボタンを押します。



タッチプレゼンター機能のメニューが表示されます。







タッチプレゼンター機能のメニューは、操作パネルの【フレームフィット】ボタンを3秒間長押しするか、または【設定】メニューの【タッチプレゼンター】を選択することでも表示できます。

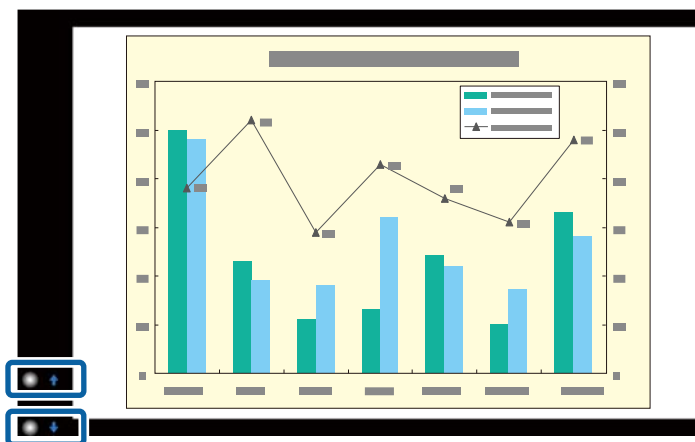
5 【開始/終了】を選択します。

調整画面が表示され、画面の端にマーカーが表示されます。タッチプレゼンターの実行中は、映像は少し小さく投写されます。

6 使用したい機能に応じて、画面上のマーカーを一時的に手で隠します。マーカーの横にあるアイコンの色が変わっている間に、マーカーから手を放します。

・ 次のスライドやページに進むには、 アイコンの横にあるマーカーを隠します。

・ 前のスライドやページに戻るには、 アイコンの横にあるマーカーを隠します。



- ・ マーカーが意図せず隠れないように、操作しないときはマーカーから離れてください。
- ・ マーカーは以下の入力ソースでは使用できません。
 - ・ コンピューター（コンポーネントビデオ）
 - ・ ビデオ
 - ・ USB-A
 - ・ LAN（Epson iProjectionで接続しているとき）
 - ・ Screen Mirroring（接続機器がUser Interface Back Channel (UIBC)に非対応のとき）
 - ・ HDMIおよびコンピューター（RGB）入力ソースの場合、マーカーはWindows 2000以降またはOS X 10.5.x以降で使用できます。

7 タッチプレゼンターを終了するには、【タッチプレゼン】ボタンを押します。



タッチプレゼンターは、操作パネルの【フレームフィット】ボタンを押すか、または【設定】メニューの【開始/終了】を選択することでも終了できます。

☛ 【設定】 > 【タッチプレゼンター】 > 【開始/終了】

▶ 関連項目

- ・ 「タッチプレゼンターの制限事項」 p.75

タッチプレゼンターの制限事項

操作に関する制限事項

タッチプレゼンターの実行中は、以下の設定を変更できません。

- ・ 自動入力検出（自動で【オフ】に設定されます）

- ・オートアイリス（自動で [オフ] に設定されます）
- ・ライトオプティマイザー（自動で [オフ] に設定されます）
- ・明るさ切替

機能に関する制限事項

以下のフルスクリーンの機能を実行すると、タッチプレゼンター機能は一時的に中断されます。フルスクリーンの機能終了後、再度タッチプレゼンター機能を使用できます。

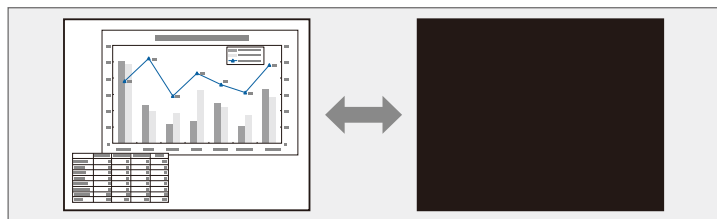
- ・ホーム画面
- ・テストパターン
- ・2画面
- ・ユーザーロゴ

本機を動かしたり、以下の映像の形状調整をしたりすると、タッチプレゼンター機能は終了します。再度タッチプレゼンター機能を使用するには、調整終了後に機能を再開してください。

- ・フレームフィット
- ・台形補正
- ・Quick Corner
- ・設置モード
- ・初期化
- ・全初期化

高地や高温になりやすい場所では、映像が暗めに表示され、タッチプレゼンター機能は終了します。プロジェクターの内部温度が下がるのを待って、機能を再度実行してください。

プレゼンテーション中に聴衆の関心を引きたいときなど、投写映像と音声を一時的に消すことができます。遮断中も映像と音声は進んでいるため、遮断した場面から投写を再開することはできません。



リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押したときに、ロゴや写真などを表示するには、[拡張設定]メニューの[A/Vミュート]で、表示したい画面を設定します。

☛ [拡張設定] > [表示設定] > [A/Vミュート]

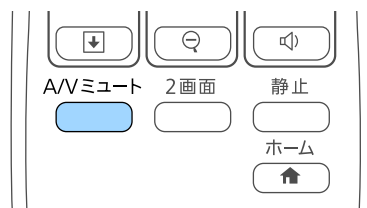


- 本機のレンズカバーを閉じることで、投写を遮断することもできます。
- A/Vミュートの実行後30分経過すると、自動的に本機の電源が切れます。この機能は[節電]メニューで無効にできます。
 - ☛ [節電] > [レンズカバータイマー]
 - ☛ [節電] > [A/Vミュートタイマー]
- A/Vミュート中も投写ランプは動作し続けるため、ランプ点灯時間は加算されます。

▶ 関連項目

- 「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- 「節電メニュー」 [p.136](#)

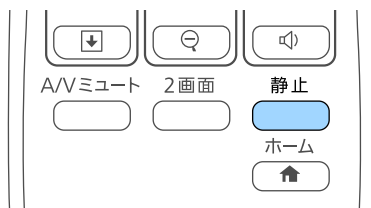
1 リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像と音声を一時的に遮断します。



2 投写を再開するときは、再度【A/Vミュート】ボタンを押します。

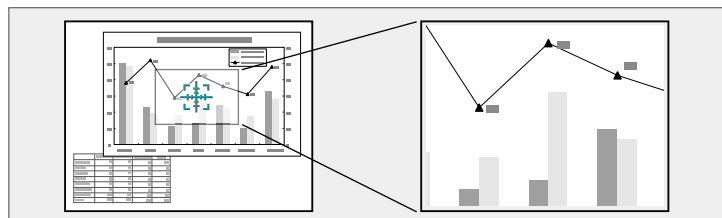
動画やプレゼンテーションスライドを一時的に停止して、静止画像として投写します。停止中も映像と音声は進んでいるため、停止した場面から投写を再開することはできません。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを押して、動画を停止します。



- 2 停止を解除するときは、再度【静止】ボタンを押します。

映像の一部をズームして拡大表示することで、プレゼンテーションのポイントに注目させることができます。

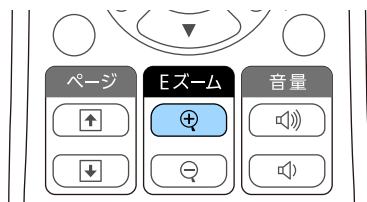


拡大された映像が投写され、拡大倍率が画面に表示されます。

1～4倍まで、25段階で拡大できます。

エプソン製書画カメラをUSBで接続して、カメラから読み込んだ映像を投写しているときは、1～8倍まで、57段階で拡大できます。

- 1 リモコンの【Eズーム】 (+) ボタンを押します。



ズームエリアの中心を示す十字カーソルが画面に表示されます。

- 2 以下の操作でズームエリアを決めてズームします。
 - ・ 十字カーソルの移動：上下左右ボタンでズームしたい位置に十字カーソルを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押しと、十字カーソルを斜めに移動できます。
 - ・ ズームイン：【Eズーム】 (+) ボタンを繰り返し押します。ズームインの速度を上げるには、【Eズーム】 (+) ボタンを長押しします。
 - ・ ズームエリアの移動：ズームイン中に上下左右ボタンを押すと、ズーム表示エリアを移動できます。
 - ・ ズームアウト：【Eズーム】 (-) ボタンを押します。
 - ・ ズーム解除：【戻る】 ボタンを押します。

本機のリモコンをコンピューターのワイヤレスマウスとして使用して、コンピューターの画面を操作できます。



ワイヤレスマウス機能はWindows Vista以降とOS X 10.7.x以降で使用できます。

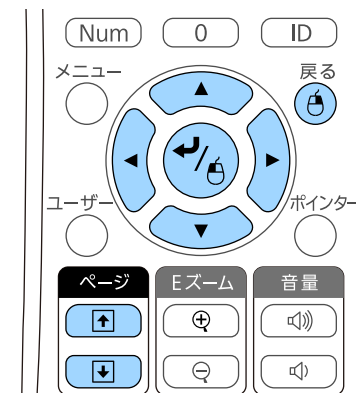
- 1 本機のUSB-B、コンピューター、またはHDMIのいずれかの端子にコンピューターを接続します。



MHLケーブルを使って携帯端末をHDMI端子に接続して投写しているときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。

- 2 手順1でUSB-B以外の端子にコンピューターを接続したときは、本機のUSB-B端子とコンピューターをUSBケーブルで接続します（ワイヤレスマウス用）。
- 3 映像を投写します。

- 4 以下のボタンでコンピューターを操作します。



- スライド、ページの送り/戻し：【ページ】送り/戻しボタンを押します。
- カーソルの移動：上下左右ボタンを押します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、ポインターを斜めに移動できます。
- クリック：【決定】ボタンを1回押します（ダブルクリックは2回押します）。右クリックするには【戻る】ボタンを押します。
- ドラッグ&ドロップ：【決定】ボタンを押したまま上下左右ボタンを押してカーソルを移動し、目的の場所で【決定】ボタンを離します。

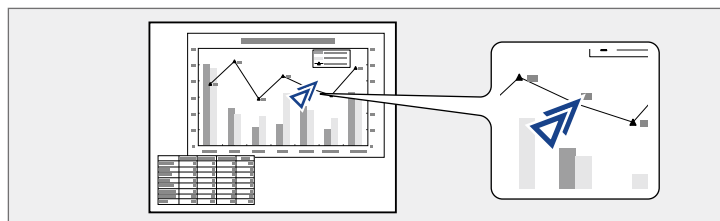


- ・コンピューターでマウス機能を左右逆に設定しているときは、リモコンでの操作も左右逆になります。
- ・以下のときは、ワイヤレスマウス機能は動作しません。
 - ・メニューまたはヘルプ画面の表示中
 - ・ワイヤレスマウス以外の機能（音量調整など）を実行しているとき
ただし、Eズームまたはポインター機能を使用しているときは、ページ送り/戻しができます。

▶ 関連項目

- ・「画面の一部を拡大表示する」 [p.79](#)
- ・「リモコンでポインターを表示する」 [p.82](#)

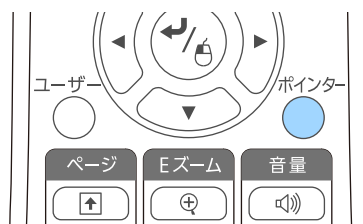
本機のリモコンをポインターとして使用して、画面上の重要な情報に注目させることができます。ポインターの形状は、初期設定では矢印に設定されています。ポインターの形状は、[設定]メニューの[ポインター形状]で変更できます。



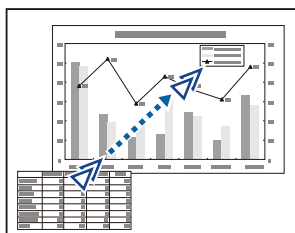
▶ 関連項目

- 「設定メニュー」 p.125

1 リモコンの【ポインター】ボタンを押します。



2 上下左右ボタンでポインターを移動します。隣り合う上下左右ボタンを2つ同時に押すと、ポインターを斜めに移動できます。



3 ポインターを消すときは、【戻る】ボタンを押します。

プロジェクターの電源投入時に表示する画像を設定します。本機が入力信号を検出していないときや、投写映像を遮断しているとき（A/Vミュート時）に、設定した画像を表示することもできます。この画像をユーザーロゴと呼びます。

写真、グラフィック、会社のロゴなどをユーザーロゴとして設定し、プロジェクターの所有者を明示することで、本機の盗難防止などに役立ちます。また、パスワードプロテクトを設定して、ユーザーロゴを変更できないようにすることができます。

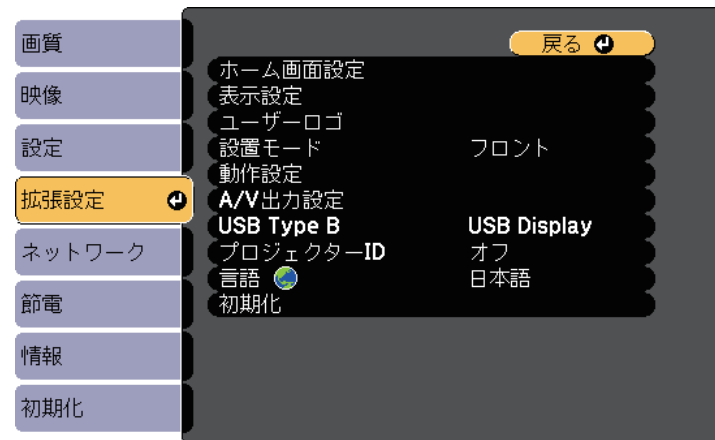


- ・ユーザーロゴの設定後は、初期設定のロゴに戻せません。
- ・[パスワードプロテクト] 設定画面で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にしているときは、[オフ] にしてからユーザーロゴを設定してください。
- ・一括設定機能を使用して、複数のプロジェクター間でメニュー設定をコピーすると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。

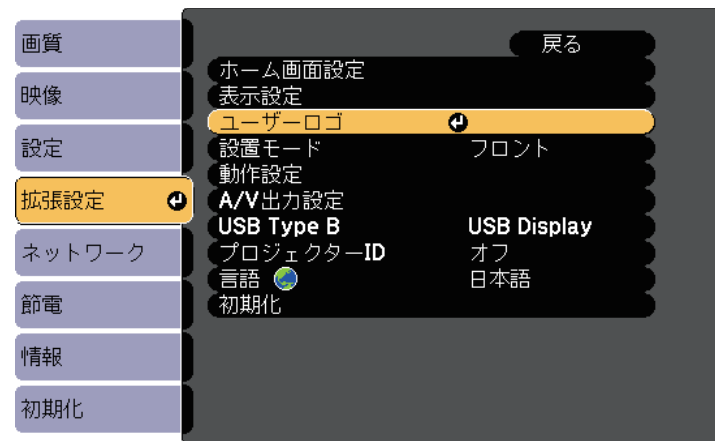
1 ユーザーロゴとして設定する画像を投写します。

2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

3 [拡張設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



4 [ユーザーロゴ] を選択し、【決定】ボタンを押します。



確認画面が表示されます。



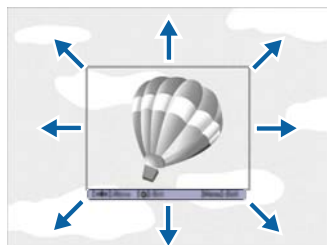
【ユーザーロゴ】を選択すると、台形補正、Eズーム、アスペクトなどの設定が、一時的に無効になります。

- 5** [はい] を選択し、【決定】ボタンを押します。
投写している画像上に選択枠が表示されます。



投写している映像信号によっては、映像信号の解像度に合わせて画面サイズが変更されることがあります。

- 6** 上下左右ボタンを押して、ユーザーロゴとして使用する範囲を選択枠で囲み、【決定】ボタンを押します。



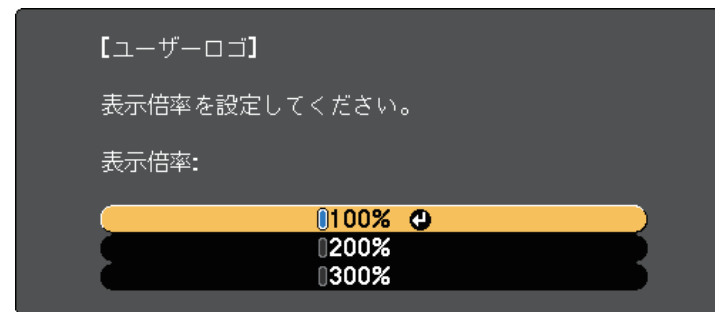
確認画面が表示されます。



選択枠の大きさ（400×300ピクセル）は変更できません。

- 7** [はい] を選択し、【決定】ボタンを押します。（選択範囲を変更するときは、[いいえ] を選択し、【決定】ボタンを押します。）
ユーザーロゴの表示倍率設定画面が表示されます。

- 8** 表示倍率を選択し、【決定】ボタンを押します。



確認画面が表示されます。

- 9** [はい] を選択し、【決定】ボタンを押します。
ユーザーロゴが保存され、完了メッセージが表示されます。

- 10** 【戻る】ボタンを押して、メッセージを閉じます。

- 11** 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 12** 【表示設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 13** ユーザーロゴを表示するタイミングを設定します。
- ・ 入力信号を未検出のときに表示する：【背景表示】を【ロゴ】に設定します。
 - ・ 本機の電源投入時に表示する：【スタートアップスクリーン】を【オン】に設定します。
 - ・ 【AVミュート】ボタンを押したときに表示する：【AVミュート】を【ロゴ】に設定します。

ユーザーロゴが自由に変更されることを防ぐには、[パスワードプロテクト] 設定画面で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にしてパスワードを設定してください。

▶ 関連項目

- ・「映像と音声を一時的に遮断する」 [p.77](#)
- ・「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.91](#)

本機を複数台並べて投写するときは、それぞれの映像の明るさや色合いの違いを補正します。

プロジェクターごとにリモコンで補正するため、各プロジェクターにプロジェクターIDを設定してから明るさと色合いを補正します。



- ・補正を行っても、それぞれの映像の明るさと色合いは完全に一致しないことがあります。
- ・時間の経過とともに、映像の明るさと色合いの違いが目立つことがあります。その場合は、再度補正を行ってください。

▶ 関連項目

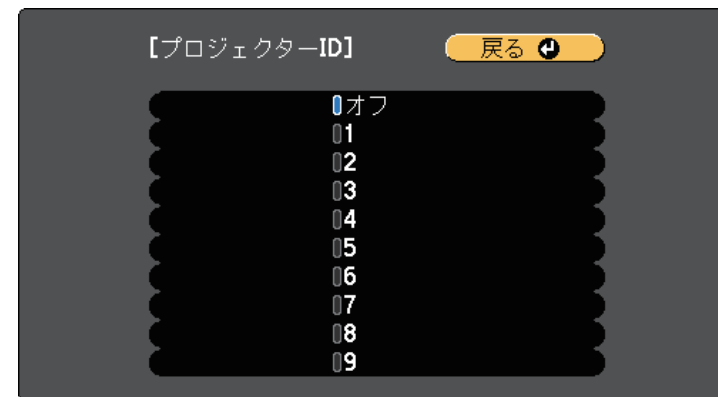
- ・「プロジェクターにIDを設定する」 [p.86](#)
- ・「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 [p.86](#)
- ・「複数のプロジェクターの映像品質を合わせる」 [p.88](#)

プロジェクターにIDを設定する

リモコンで操作するプロジェクターを選択するために、各プロジェクターに一意的IDを指定します。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2** 【拡張設定】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 3** 【プロジェクターID】を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 4** 対象のプロジェクターに設定するID番号を選択します。その後、【決定】ボタンを押します。



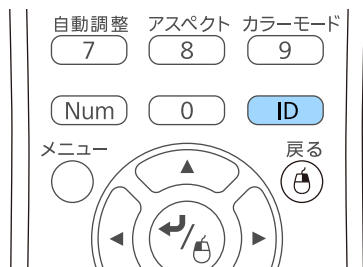
- 5** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

リモコンから操作するすべてのプロジェクターに対して、同様の手順を繰り返します。

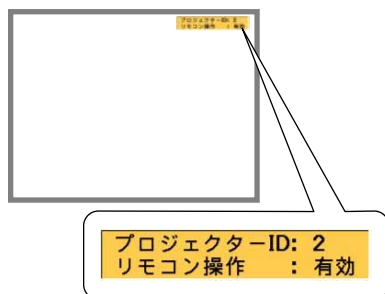
操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する

プロジェクターのIDを設定した後、リモコンで操作対象のプロジェクターのIDを選択します。

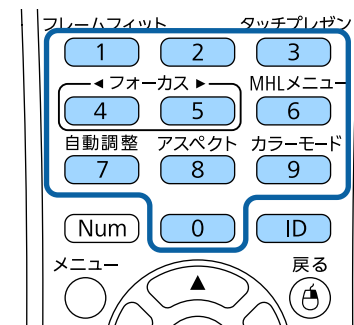
- 1** 操作対象のプロジェクターにリモコンを向けて、【ID】ボタンを押します。



プロジェクターに設定されたIDが投写画面に表示されます。表示は約3秒後に消えます。



- 2** 【ID】ボタンを押したまま、操作対象のプロジェクターIDと同じ数字のボタンを押します。



選択したIDが設定されたプロジェクターのリモコン操作が有効になります。

- 3** 【ID】ボタンを押して、IDの設定を確認します。

以下が表示されます。

- ・リモコン操作：[有効] と表示：現在操作中のプロジェクターでリモコン操作ができるよう設定されています。
- ・リモコン操作：[無効] と表示：リモコン操作ができないように設定されています。上記の手順を繰り返して、リモコン操作を有効にしてください。

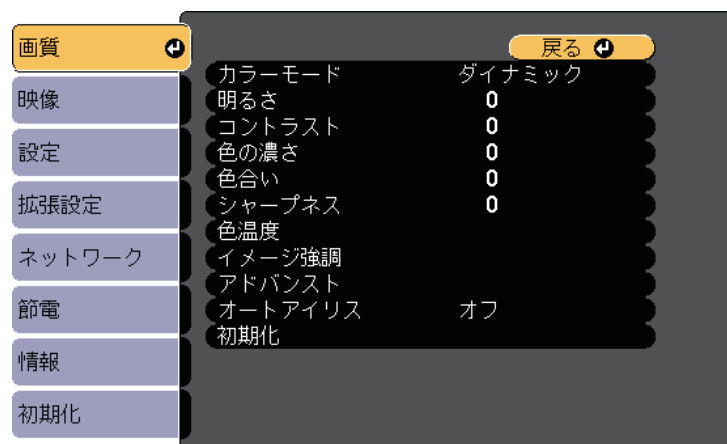


- ・ IDを0に設定したときは、プロジェクターIDの設定に関わらず、すべてのプロジェクターを操作できます。
- ・ プロジェクターの電源を入れなおしたときは、再度リモコンでIDを選択する必要があります。電源投入時、リモコンのID設定は0になっています。
- ・ [プロジェクターID] を [オフ] に設定しているときは、リモコンで選択したID設定に関わらず、プロジェクターをリモコンで操作できます。

複数のプロジェクターの映像品質を合わせる

本機を複数台並べて投写するときの映像品質を合わせます。

- 1** 映像品質を合わせたいすべてのプロジェクターの電源を入れます。
- 2** 各プロジェクターにID番号を設定します。
- 3** 各プロジェクターのカラーモードが同じ設定であることを確認します。
- 4** 1台目のプロジェクターのIDを選択して、リモコン操作を有効にします。
- 5** 【メニュー】ボタンを押し、[画質]メニューを選択して、【決定】ボタンを押します。



- 7** 2台目以降のプロジェクターのIDを選択して、1台目と映像品質が一致するように画質メニューで調整します。

- 6** 必要に応じて、映像品質を調整します。

以下のセキュリティ機能を使用することで、プロジェクターの盗難や誤用・悪用を防止します。

- ・ **パスワードプロテクト**：パスワードを知らないユーザーが本機を使用できないようにします。また、起動時に表示する画面などの設定を変更できないようにします。
本機を使用できるユーザーを制限したり、プロジェクターを持ち出しても使用できないことで盗難防止の効果があります。
- ・ **操作ボタンロック**：操作パネルのボタン操作をできないようにします。
イベントや展示会などで投写中にプロジェクターを操作できないようにしたり、学校などで操作できるボタンを制限したいときに便利です。
- ・ **セキュリティケーブル**：プロジェクターを固定して盗難を防ぎます。

▶ 関連項目

- ・ 「パスワードプロテクトの種類」 [p.89](#)
- ・ 「操作パネルのボタン操作を制限する」 [p.92](#)
- ・ 「セキュリティケーブルを取り付ける」 [p.93](#)

パスワードプロテクトの種類

パスワードを1つ設定して、以下の種類のパスワードプロテクトを設定できます。

- ・ **［電源投入時］**：パスワードを知らないユーザーが本機を起動できないようにします。電源コードで本機とコンセントを接続後、最初に電源を入れたときに、事前に設定してあるパスワードの入力が要求されます。ダイレクトパワーオンおよびオートパワーオン機能でプロジェクターが起動したときも、パスワードの入力が必要になります。
- ・ **［ユーザーロゴ保護］**：プロジェクターの電源を入れたときや、入力信号が未検出のとき、AVミュート時などに表示されるユーザーロ

ゴの画面設定を変更できないようにします。ユーザーロゴを設定していると、プロジェクターの所有者が特定されるため、盗難防止につながります。

- ・ **［ネットワーク保護］**：［ネットワーク］メニューの設定を変更できないようにします。
- ・ **［Screen Mirroring保護］**：Screen Mirroring設定を変更できないようにします（EB-1795F/EB-1785W）。

▶ 関連項目

- ・ 「パスワードを設定する」 [p.89](#)
- ・ 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 [p.91](#)
- ・ 「パスワードを入力する」 [p.91](#)

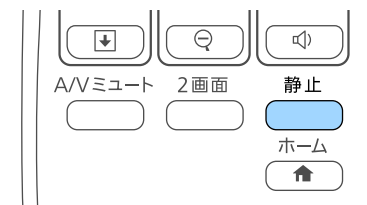
パスワードを設定する

パスワードプロテクトを行うためのパスワードを設定します。



初期設定でパスワードは「0000」に設定されています。異なるパスワードに変更してください。

- 1 リモコンの【静止】ボタンを約5秒間押し続けます。



パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



すでにパスワードプロテクトが有効になっているときは、パスワードプロテクト設定メニューを表示する前にパスワードの入力が求められます。

- 2** [パスワード設定] を選択し、【決定】 ボタンを押します。



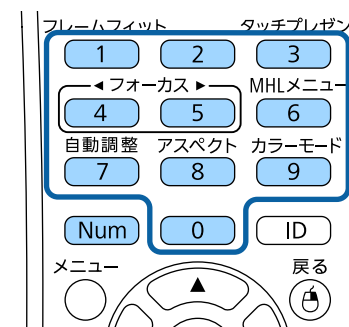
「パスワードを変更しますか?」というメッセージが表示されま

- 3** [はい] を選択し、【決定】 ボタンを押します。



[いいえ] を選択したときは、パスワードプロテクト設定メニューが再度表示されます。

- 4** リモコンの【Num】 ボタンを押したままテンキーボタンを押して、4桁のパスワードを設定します。



入力したパスワードは、「****」と表示されます。4桁目を入力すると、確認画面が表示されます。

- 5** パスワードを再入力します。
「パスワード設定が終了しました。」というメッセージが表示されます。間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。
- 6** 【戻る】 ボタンを押してメニューに戻ります。
- 7** パスワードを控えて、安全な場所に保管してください。

パスワードプロテクトの種類を設定する

パスワードの設定後、パスワードプロテクト設定メニューで設定したいパスワードプロテクトの種類を選択します。



このメニューが表示されないときは、メニューが表示されるまで約5秒間リモコンの【静止】ボタンを押し続けてください。

- プロジェクターの無断使用を防止したいときは、[電源投入時]を[オン]に設定します。
- ユーザーロゴなどの表示設定の変更を防止したいときは、[ユーザーロゴ保護]を[オン]に設定します。
- ネットワーク設定の変更を防止したいときは、[ネットワーク保護]を[オン]に設定します。
- Screen Mirroring設定の変更を防止したいときは、[Screen Mirroring保護]を[オン]に設定します (EB-1795F/EB-1785W)。

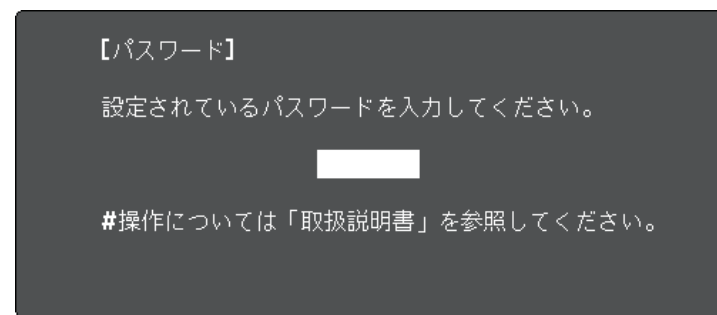
パスワードプロテクトステッカーを本機に貼り付けることで、盗難防止効果を向上できます。



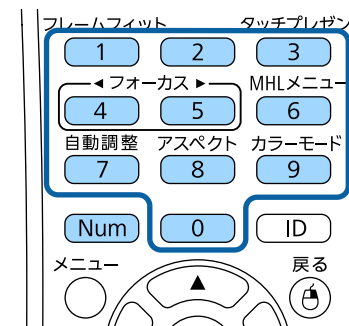
リモコンは必ず安全な場所に保管してください。リモコンを失くすとパスワードを入力できなくなります。

パスワードを入力する

パスワード画面が表示されたときは、正しいパスワードを入力します。



- 1 リモコンの【Num】ボタンを押したままテンキーボタンを押してパスワードを入力します。



パスワード画面が閉じます。

- 2 誤ったパスワードを入力したときは、再入力用の画面が表示されます。正しいパスワードを入力します。

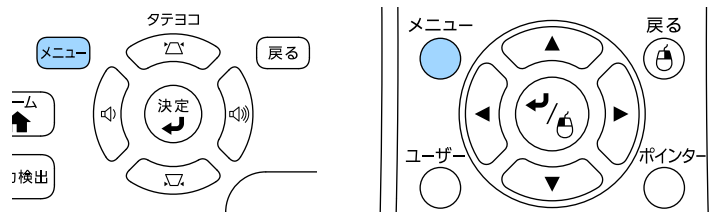
注意

- 誤ったパスワードを3回連続で入力すると、「プロジェクターの動作を停止します。」というメッセージが約5分間表示され、プロジェクターはスタンバイ状態になります。電源プラグを抜いて差し直してから、本機の電源を入れます。パスワード入力画面が表示されたら、正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れたときは、画面に表示される「[問い合わせコード]:xxxx」の番号を控えて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 上記の操作を繰り返し、誤ったパスワードを連続30回入力したときは、「プロジェクターの動作が停止します。各修理窓口へ修理を依頼してください。」というメッセージが表示され、それ以上パスワードを入力できなくなります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

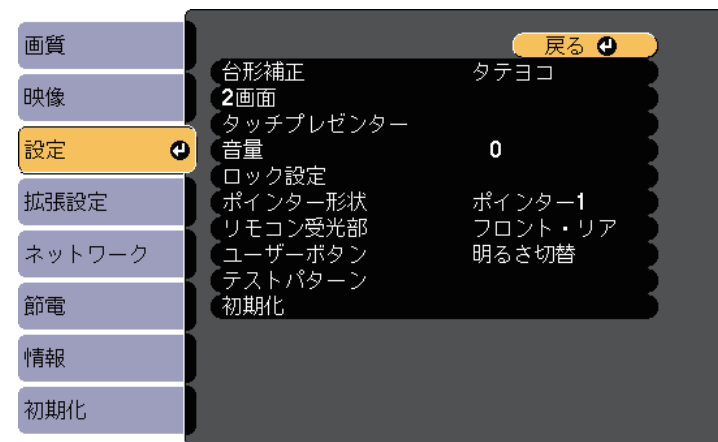
操作パネルのボタン操作を制限する

操作パネルのボタンをロックして、本機の無断使用を防止します。リモコンからは通常どおり操作できます。

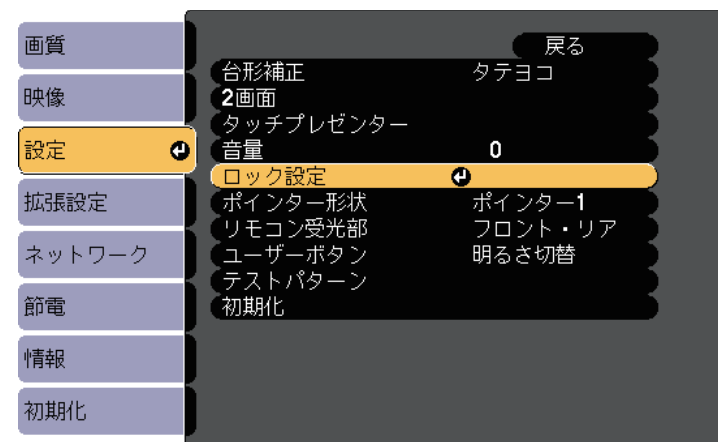
- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



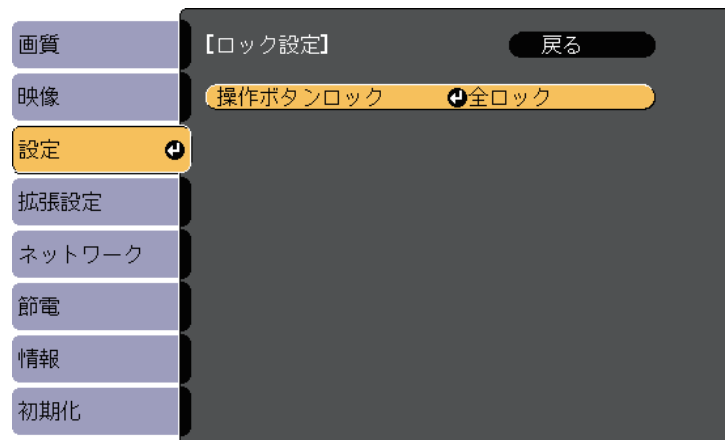
- 2 [設定] メニューを選択し、【決定】を押します。



- 3 [ロック設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 4** [操作ボタンロック] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5** ロックの種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- ・ [全ロック] : 操作パネルのすべてのボタンをロックします。
- ・ [操作ロック] : 電源ボタン以外のすべてのボタンをロックします。

確認メッセージが表示されます。

- 6** [はい] を選択し、【決定】ボタンを押します。
[操作ボタンロック] の設定が有効になります。

▶ 関連項目

- ・ 「操作ボタンロックを解除する」 p.93

操作ボタンロックを解除する

以下の方法で、操作ボタンロックを解除します。

- ・ 操作パネルの【決定】ボタンを約7秒間押し続けます。メッセージが表示され、ロックが解除されます。

- ・ [設定] メニューの [操作ボタンロック] を [オフ] に設定します。

☛ [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]

▶ 関連項目

- ・ 「設定メニュー」 p.125

セキュリティケーブルを取り付ける

盗難防止のために、セキュリティケーブルを本機に取り付けることができます。

- ・ Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムを本機のセキュリティスロットに取り付けます。



マイクロサーバーセキュリティシステムについての詳細は、<http://www.kensington.com/>をご覧ください。

ネットワーク上のプロジェクターを使用する

ネットワーク経由でプロジェクターから映像を投写するための設定について説明します。

▶ 関連項目

- 「無線LANでの映像投写」 [p.95](#)
- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」 [p.104](#)
- 「セキュアHTTP」 [p.109](#)

無線LAN経由でプロジェクターから映像を投写できます。

無線LAN経由で投写するときは、プロジェクターとコンピューターの無線LAN設定をしてください。

[ネットワーク] メニューから、無線LAN設定をすると、本機を無線接続できます。

プロジェクターのネットワーク設定が終わったら、EPSON Projector Software CD-ROM（同梱されている場合）またはダウンロードしたソフトウェアから、ネットワークソフトウェアをインストールします。無線LAN経由で映像を投写するには、以下のネットワークソフトウェアを使用します。

- EasyMP Multi PC Projectionを使用すると、ネットワークに接続された複数のコンピューターの映像を同時に投写して、ミーティングをより活発にできます。詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。
- Epson iProjectionを使用すると、iOSやAndroidなどのモバイルデバイスから映像を投写できます。

Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。

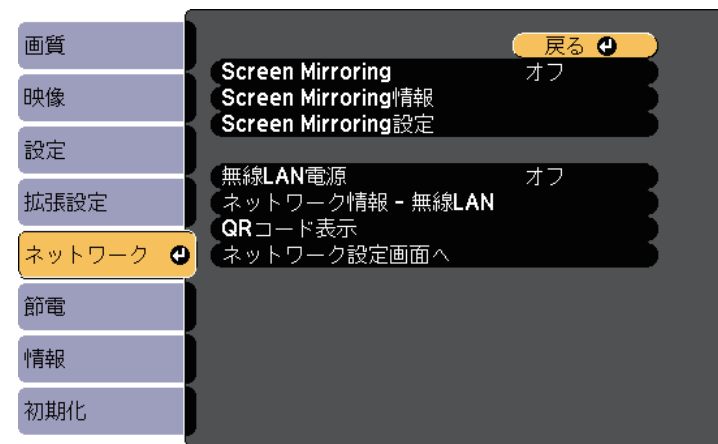
▶ 関連項目

- 「プロジェクターの無線LANを設定する」 [p.95](#)
- 「Windowsで無線LANを設定する」 [p.98](#)
- 「OS Xでの無線LANを設定する」 [p.98](#)
- 「無線LANのセキュリティーを設定する」 [p.98](#)
- 「QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する」 [p.101](#)
- 「NFC機能を使用してAndroid端末に接続する」 [p.101](#)
- 「USBキーを使って接続する（Windowsのみ）」 [p.102](#)

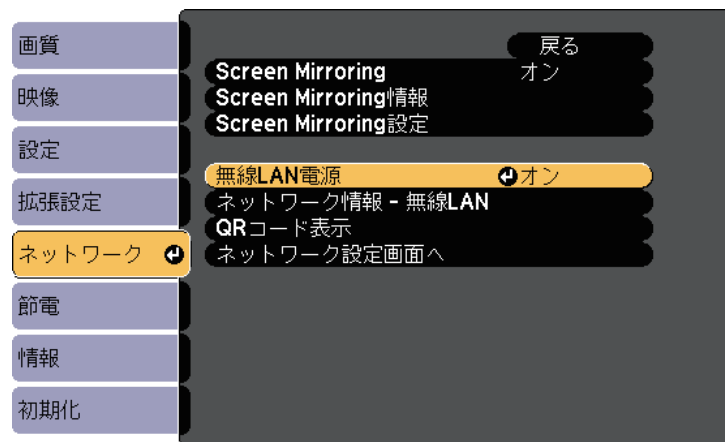
プロジェクターの無線LANを設定する

無線LAN経由でコンピューターの映像を投写するには、事前にプロジェクターのネットワーク設定が必要です。

- 1 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2 [ネットワーク] を選択し、【決定】ボタンを押します。



3 [無線LAN電源] を [オン] に設定します。



4 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

5 [基本設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



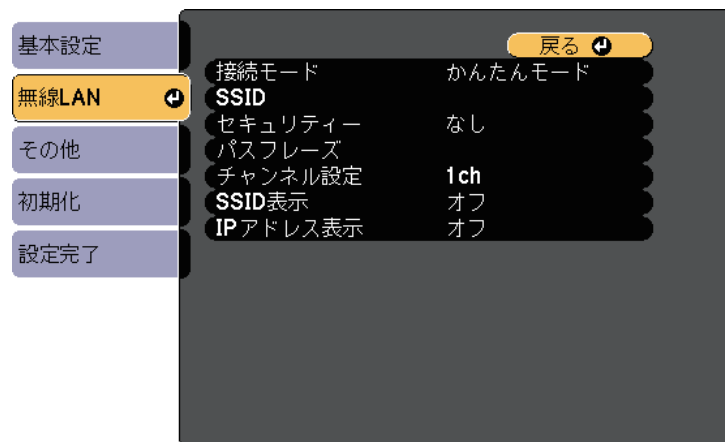
6 必要に応じて以下を設定します。

- [プロジェクト名] : ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。半角英数字で16文字以内で入力します。
- [Remoteパスワード] : ベーシックコントロール機能で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名は [EPSONREMOTE]、デフォルトのパスワードは [guest] です。)
- [Web制御パスワード] : Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。半角英数字で8文字以内で入力します。(ユーザー名は [EPSONWEB]、デフォルトのパスワードは [admin] です。)
- [モデレーターパスワード] : EasyMP Multi PC Projection やEpson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを設定します。4桁の数字を入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
- [プロジェクトキーワード] : 他のユーザーが誤って接続しないように、セキュリティーパスワードを有効にできます。EasyMP Multi PC ProjectionやEpson iProjectionから映像を投写するときにキーワードの入力が必要になります。
- [LAN情報表示] : 本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。



名前およびパスワードの入力には、表示されたソフトキーボードを使用します。リモコンの上下左右ボタンを押して文字を選択し、【決定】ボタンを押して入力します。

- 7** [無線LAN] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 8** [接続モード] を選択します。

- [かんたんモード] : スマートフォンやタブレット端末、コンピュータとワイヤレスに直接接続できます。
- [マニュアルモード] : 無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピュータと接続できません。

- 9** [マニュアルモード] を選択した場合は、[アクセスポイント検索] を行って接続する無線LANアクセスポイントを選択します。



手動でSSIDを割り当てるときは、[SSID] を選択してSSIDを入力します。

- 10** [マニュアルモード] の場合は、必要に応じてプロジェクターにIPアドレスを割り当てます。

- DHCPを使用できるネットワークの場合は、[IP設定] を選択して、[DHCP] を [オン] にします。

- DHCPを使用できないネットワークの場合は、[IP設定] を選択して [DHCP] を [オフ] にし、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。

- 11** 設定したSSIDやIPアドレスがLAN待機画面およびホーム画面に表示されないようにするには、[SSID表示] または [IPアドレス表示] を [オフ] に設定します。

- 12** 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

- 13** リモコンの【LAN】ボタンを押します。

LAN待機画面に正しいIPアドレスが表示されていれば、設定完了です。



無線LAN設定が完了したら、コンピュータの無線LAN設定をしてください。ネットワークソフトウェアを起動して、無線LAN経由で映像をプロジェクターに送ります。

Windowsで無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1 Windowsタスクバーのネットワークアイコンをダブルクリックし、無線ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。
- 3 [接続] をクリックします。

OS Xでの無線LANを設定する

コンピューターとプロジェクターを接続するには、コンピューターで無線LAN設定をします。

- 1 画面上部にあるメニューバーのAirMacアイコンをクリックします。
- 2 マニュアルモードで接続するときは、AirMacがオンに設定されていることを確認し、プロジェクターが接続しているネットワークのネットワーク名（SSID）を選択します。

無線LANのセキュリティを設定する

プロジェクターの無線通信に使うセキュリティを設定できます。無線LANの設定に合わせて、以下のいずれかのセキュリティを設定します。

- WPA2-PSKセキュリティ
- WPA2-EAPセキュリティ * **
- WPA/WPA2-PSKセキュリティ *
- WPA/WPA2-EAPセキュリティ * **

* マニュアルモードで接続しているときのみ

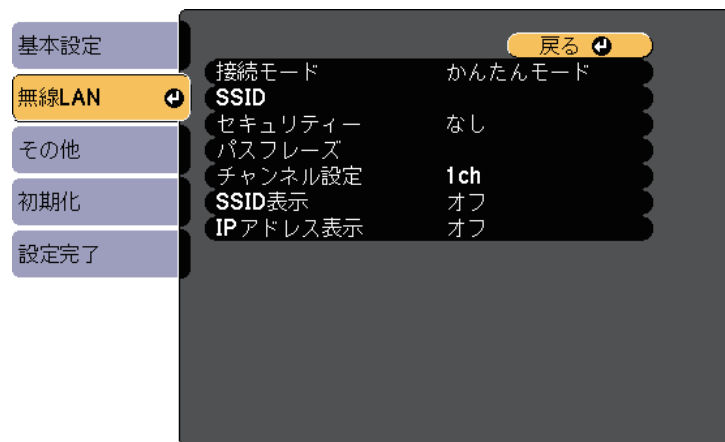
** EB-1795F/EB-1785W/EB-1781Wのみ



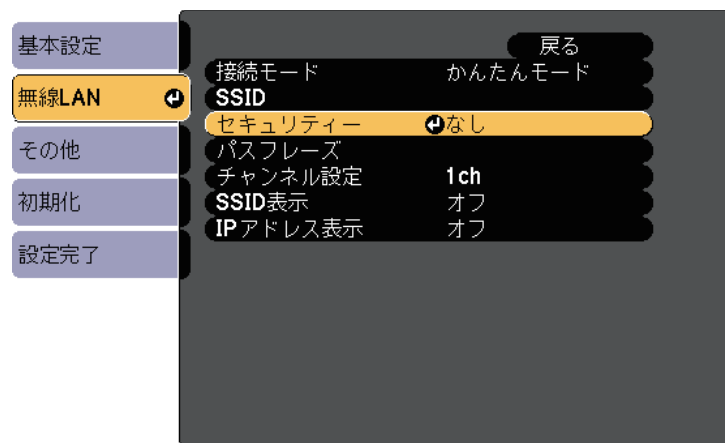
無線LANのネットワーク設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- 1 WPA2-EAPまたはWPA/WPA2-EAPセキュリティを設定する場合は、本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリーに格納します。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [ネットワーク] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 5 [無線LAN] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 6 [セキュリティ] を選択し、【決定】ボタンを押します。

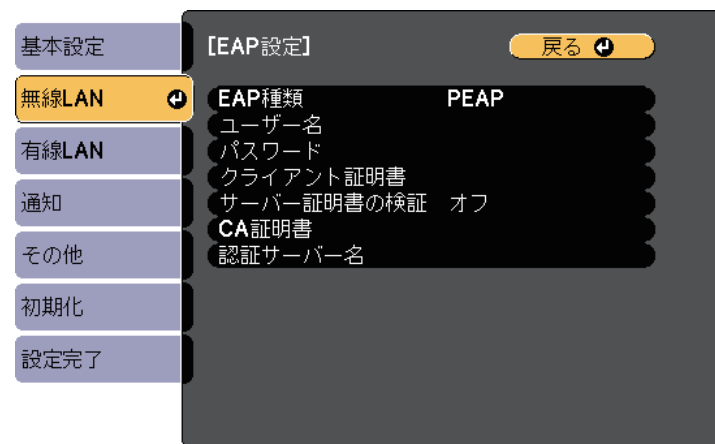


- 7 無線LANの設定に合わせて、セキュリティを設定します。

- 8 選択したセキュリティに応じて、以下のいずれかの操作をします。

- [WPA2-PSK]、[WPA/WPA2-PSK] の場合：[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。
- [WPA2-EAP]、[WPA/WPA2-EAP] の場合：[EAP設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。

- 9 [EAP種類] で認証プロトコルを選択します。



- 10 証明書の種類を選択し、【決定】ボタンを押します。

- [クライアント証明書]：[PEAP-TLS]、[EAP-TLS] 用のクライアント証明書をインポートします。
- [CA証明書]：[PEAP]、[PEAP-TLS]、[EAP-TLS]、[EAP-FAST] 用のCA証明書をインポートします。



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 11 [登録] を選択し、【決定】 ボタンを押します。
- 12 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。
- 13 【決定】 ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。
- 14 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。
- 15 証明書のパスワードを入力し、【決定】 ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。
- 16 必要に応じてEAPセキュリティーを選択します。
 - ・ [ユーザー名] : ユーザー名を入力します。半角英数字で63文字以内で入力します。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。
 - ・ [パスワード] : [PEAP]、[EAP-FAST]、[LEAP] の認証用パスワードを入力します。半角英数字で63文字以内で入力します。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。
 - ・ [サーバー証明書の検証] : CA 証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するかどうかを選択します。
 - ・ [認証サーバー名] : 認証サーバー名を入力します。

- 17 設定が終わったら、[設定完了] を選択します。画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

▶ 関連項目

- ・ 「サポートするクライアント・CA証明書の一覧」 p.100
- ・ 「ネットワークメニュー - 無線LANメニュー」 p.132

サポートするクライアント・CA証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

クライアント証明書 (PEAP-TLS/EAP-TLS)

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
パスワード*	設定が必要。32文字以内の半角英数字。

CA証明書 (PEAP/PEAP-TLS/EAP-TLS/EAP-FAST)

項目	説明
フォーマット	X509v3
拡張子	DER/CER/PEM
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
エンコード	BASE64/バイナリー

* パスワードは半角英数字で63文字以内で設定できます。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

QRコードを使用してモバイルデバイスに接続する

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、LAN待機画面に投写されるQRコードをEpson iProjectionで読み取って、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルデバイスを接続できます。



- お使いのモバイルデバイスに、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください（本機能は、V1.3.0以降のiProjectionでサポートされています）。
- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティーの設定をすることをお勧めします。

1 リモコンの【LAN】ボタンを押します。

QRコードが投写画面に表示されます。



- QRコードが表示されないときは、【ネットワーク】メニューで【LAN情報表示】を【テキストとQRコード】に設定します。
 - ☛ 【ネットワーク】 > 【ネットワーク設定画面へ】 > 【基本設定】 > 【LAN情報表示】
- QRコードを非表示にしたいときは、【戻る】ボタンを押してください。
- QRコードが表示されないときは、【決定】ボタンを押してください。
- ホーム画面からもQRコードを表示できます。

2 モバイルデバイスにインストールされているEpson iProjectionを起動します。

3 投写されているQRコードをEpson iProjectionで読み取って、プロジェクターに接続します。



投写画面に近づいて、正面からQRコードを読み取ります。QRコードがモバイルデバイスのQRコードリーダーのガイド内に収まっていることを確認します。画面から離れすぎると、正しく読み取れないことがあります。

接続が完了したら、☰から【コンテンツ】メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

NFC機能を使用してAndroid端末に接続する

プロジェクターの無線LAN設定が完了したら、NFC機能とEpson iProjectionを使用してAndroid端末を接続できます（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。

NFC（Near Field Communication）機能を使用すると、お使いのAndroid端末をプロジェクターにかざして、プロジェクターのネットワーク情報をAndroid端末へ転送できます。



- Android端末によって、NFC機能を搭載していないことがあります。お使いのAndroid端末の取扱説明書をご確認ください。
- NFC機能を使用する前に、Android端末のNFCリーダーが有効になっていることを確認してください。
- お使いのAndroid端末に、最新版のEpson iProjectionがインストールされていることを確認してください（本機能は、V2.3.0以降のiProjectionでサポートされています）。
- Epson iProjectionは、App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。App Store、Google Playへ接続する際の通信料はお客様の負担となります。
- かんたんモードでEpson iProjectionを使うときは、セキュリティの設定をすることをお勧めします。



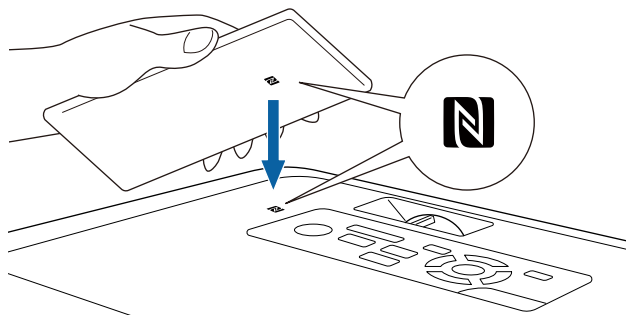
- [拡張設定] メニューの [オートパワーオン] が [NFC] に設定されているときは、プロジェクターがNFCデータを検知したときに自動でプロジェクターの電源が入ります。
☛ [拡張設定] > [動作設定] > [オートパワーオン]
- プロジェクターがウォームアップ中のときは、NFCタグが読み取れないことがあります。プロジェクターが起動してしばらくしてからNFCタグを読み取ってください。

Epson iProjectionが自動で起動し、プロジェクターと接続します。



Android端末にEpson iProjectionがインストールされていないときは、NFCタグを読み取るとEpson iProjectionのダウンロードページが表示されます。Epson iProjectionをインストールして、再度NFCタグを読み取ってください。

- 1 Android端末がスリープモードまたは操作がロックされている状態でないことを確認します。
- 2 Android端末のNFCリーダー部分とプロジェクターのNFCタグの位置を合わせるように、Android端末をプロジェクターにゆっくりとかざして、NFCタグを読み取ります。



接続が完了したら、☰から [コンテンツ] メニューを選択し、投写するファイルを選択してください。

USBキーを使って接続する（Windowsのみ）

USBメモリーをUSBキーとして設定し、無線LANに対応したWindowsコンピュータとプロジェクターを簡単に無線接続します。作成したUSBキーを使って、プロジェクターをネットワーク経由で簡単に利用できます。

- 1 EasyMP Multi PC ProjectionでUSBキーを設定します。



詳しくは、『EasyMP Multi PC Projection操作ガイド』をご覧ください。

2 本機の電源を入れます。

3 リモコンの【LAN】ボタンを押します。

LAN待機画面が表示されます。SSIDおよびIPアドレスが表示されていることを確認します。

4 USBキーをプロジェクターのUSB-A端子に接続します。

ネットワーク情報の更新が終了したことを通知するメッセージが表示されます。

5 USBキーを取り外します。

6 コンピューターのUSB端子にUSBキーを接続します。



Windows Vistaで自動再生ウィンドウが表示された場合は、[MPPLaunch.exeの実行]を選択し、[許可]を選択します。

7 画面の指示に従って、必要なアプリケーションのインストールを進めます。



- Windowsファイアウォールのメッセージが表示されたときは、[はい]をクリックしてファイアウォールを無効にします。
- コンピューターにソフトウェアをインストールするには、管理者権限が必要です。
- 自動的にインストールされないときは、USBキー内の[MPPLaunch.exe]をダブルクリックします。

しばらくすると、コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。

8 投写が終了したら、Windowsタスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]を選択し、コンピューターからUSBキーを取り外します。



USBキーを使用する前に接続していたアクセスポイントに接続するには、コンピューターの再起動が必要になることがあります。

Miracastを搭載したノートPC、スマートフォン、タブレットPCなどのモバイルデバイスからプロジェクターに映像を送信できます (EB-1795F/EB-1785W)。

Miracastに準拠しているデバイスであれば、ソフトウェアを追加でインストールする必要はありません。Windowsコンピューターをお使いのときは、Miracast接続に必要なアダプターが利用可能なことを確認してください。

Screen Mirroring機能を使用するときは、以下の制限事項があります。

- ・ インターレース映像は再生できません。
- ・ 3チャンネル以上のマルチチャンネルオーディオは再生できません。
- ・ 解像度1920×1080、フレームレート30 fpsを超える映像は投写できません。
- ・ 3D映像は再生できません。
- ・ お使いのデバイスによっては、著作権保護されたコンテンツはMiracast接続では再生できないことがあります。
- ・ ScreenMirroringでの投写中にScreen Mirroring設定は変更しないでください。設定を変更すると、接続が切断され、再接続までに時間がかかることがあります。
 - ☛ [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定]
- ・ ScreenMirroringでの投写中は、電源ブレーカーで直接本機の電源を切らないでください。



Miracastは、主にAndroid端末やWindows 8.1以降のWindowsに搭載されています。
デバイスによって、Miracastを搭載していないことがあります。
お使いのモバイルデバイスの取扱説明書をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・ 「Screen Mirroringを設定する」 [p.104](#)
- ・ 「Windows 10でScreen Mirroring接続する」 [p.106](#)
- ・ 「Windows 8.1でScreen Mirroring接続する」 [p.107](#)
- ・ 「Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する」 [p.108](#)

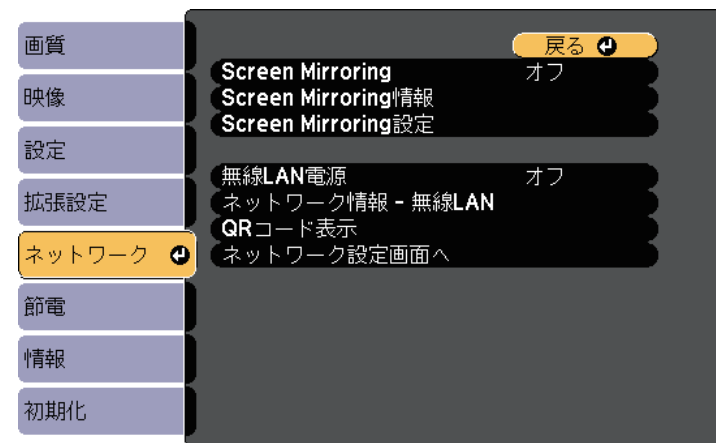
Screen Mirroringを設定する

モバイルデバイスから映像を投写するには、プロジェクターのScreen Mirroring設定を設定します。

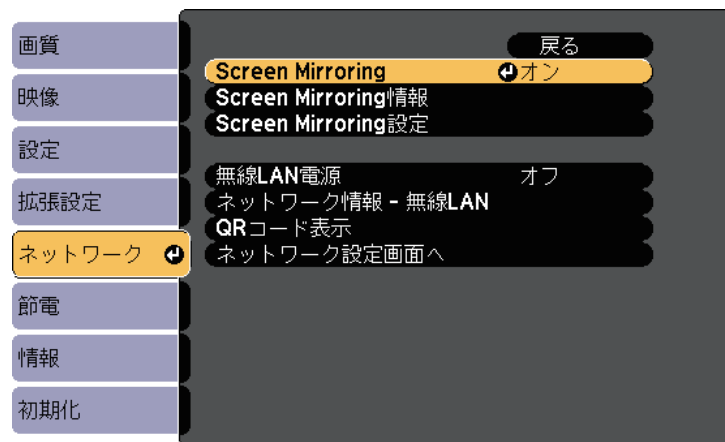


パスワードプロテクト画面で [Screen Mirroring保護] をオンにしているときは、事前に [Screen Mirroring保護] をオフにします。

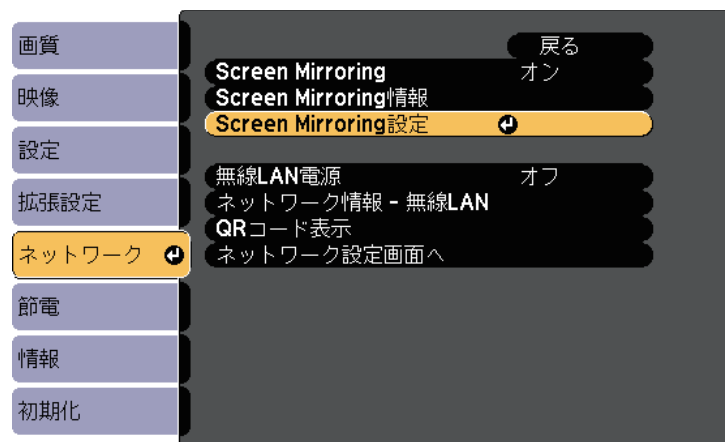
- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 2** [ネットワーク] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 3** [Screen Mirroring] を [オン] に設定します。



- 4** [Screen Mirroring設定] を選択し、【決定】ボタンを押します。



- 5** 必要に応じて [ディスプレイ名] を設定します。



- 6** [動作モード] を選択します。

- [基本モード] : 基本的な設定で接続します。
- [拡張モード] : 接続の詳細を設定できます。

- 7** 必要に応じて [基本設定] を設定します。

- [無線LAN方式] : モバイルデバイスとプロジェクターの通信方式を選択します。
- [パフォーマンス調整] : Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。品質を上げるには小さい値を選択し、速度を上げるには大きい値を選択します。
- [接続モード] : WPS (Wi-Fi Protected Setup) の種類を選択します。[基本モード] を選択したときのみ設定可能です。

- 8** [拡張モード] を選択した場合は、[拡張設定] を設定します。

- [会議モード] : 会議の形態に合わせて、接続方法を選択します。Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられるようにするには、[割り込み接続許可] を選択します。Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を

切り替えられないようにするには、[割り込み接続不可] を選択します。

- [チャンネル] : Screen Mirroringで使用する無線チャンネルを選択します。

9 必要に応じて [表示設定] を設定します。

- [PINコード通知] : Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、投写画面にPINコードを表示します。
- [端末名通知] : Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、新しく接続した端末名を投写画面に表示します。

10 設定が終わったら、[設定] を選択し、画面の指示に従って設定を保存してメニューを終了します。

11 操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。ホーム画面にディスプレイ名が表示されれば設定完了です。

3 コンピューターで [アクションセンター] を表示し、 [接続] を選択します。



接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

4 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



Windows 10でScreen Mirroring接続する

お使いのコンピューターでワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

1 必要に応じて本機の [Screen Mirroring設定] を設定します。

2 リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。

Screen Mirroring待機画面が表示されます。

5 コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

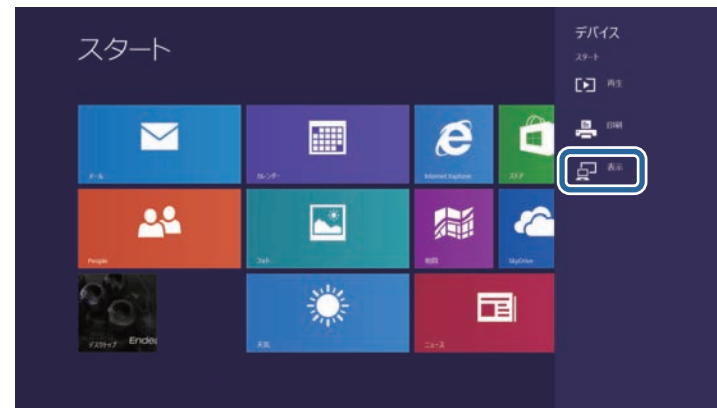
Windows 8.1でScreen Mirroring接続する

Windows 8.1のコンピューターをお使いのときは、チャームからワイヤレスに映像を投写するための設定ができます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

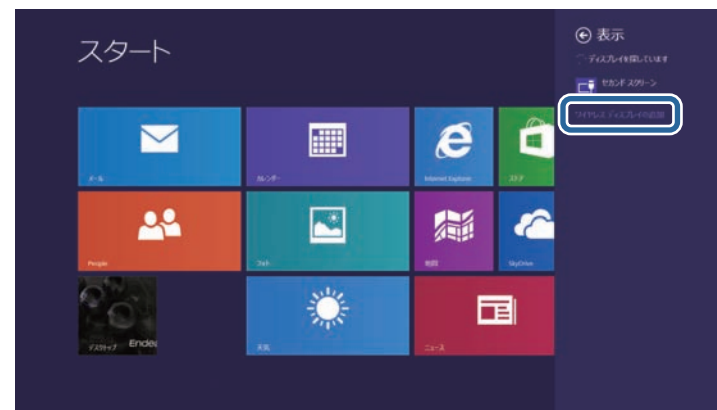
- 1** 必要に応じて本機の [Screen Mirroring設定] を設定します。
- 2** リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。

Screen Mirroring待機画面が表示されます。

- 3** コンピューターでチャームの [デバイス] を選択し、[表示] を選択します。

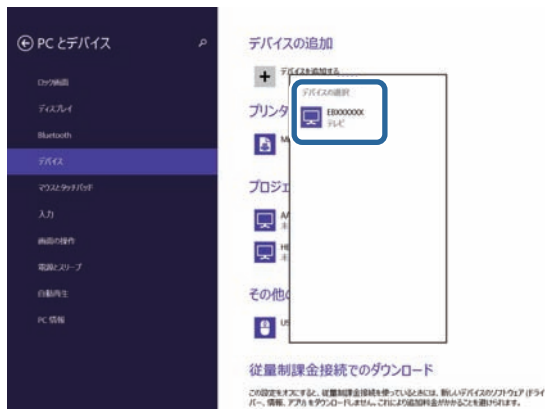


- 4** [ワイヤレス ディスプレイの追加] を選択します。



接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

- 5** 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。



- 6** コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

コンピューターの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

- 2** リモコンの【LAN】ボタンを押して、Screen Mirroringソースに切り替えます。

Screen Mirroring待機画面が表示されます。

- 3** モバイルデバイスでMiracast機能を使用してプロジェクターを検索します。

接続可能なデバイスの一覧が表示されます。

- 4** 一覧から本機のディスプレイ名を選択します。

- 5** モバイルデバイスにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。

モバイルデバイスの映像がプロジェクターから投写されます。



接続が確立されるまで時間がかかることがあります。接続が完了するまでプロジェクターの電源コードを抜かないでください。電源コードを抜くと、デバイスが反応しなくなったり、誤作動する原因になります。

モバイルデバイスによっては、接続時にデバイスの削除が必要になることがあります。モバイルデバイスの画面の指示に従って操作してください。

Miracast機能を使ってScreen Mirroring接続する

Miracastが搭載されたスマートフォンなどのモバイルデバイスをお使いのときは、Miracast機能を使ってワイヤレスに映像を投写できます。Screen Mirroringで接続すると、映像と音声を本機から出力できます。

- 1** 必要に応じて本機の [Screen Mirroring設定] を設定します。

HTTPSプロトコルを用いて、プロジェクターとWebブラウザ間の通信のセキュリティーを強固にできます (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)。HTTPSプロトコルを用いたセキュリティーを適用するには、Webブラウザから信頼性を検証できるサーバー証明書を作成してプロジェクターにインストールし、[セキュアHTTP] 設定をオンにします。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [セキュアHTTP]

サーバー証明書がないときは、プロジェクター内部で自己署名証明書を自動作成して通信します。自己署名証明書はWebブラウザから信頼性を検証できないため、Webブラウザからプロジェクターにアクセスしたときにサーバーの信頼性に関する警告が表示されます。この警告を無視することで通信を継続できます。

▶ 関連項目

- ・「メニューからWebサーバー証明書を設定する」 p.109

メニューからWebサーバー証明書を設定する

プロジェクターメニューとUSBメモリーを使って、作成したWebサーバー証明書を本機にインストールします。



電子証明書はWebブラウザからも設定できます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

- 1** 本機に対応した形式の証明書をUSBストレージのルートディレクトリに格納します。
- 2** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。

- 3** [ネットワーク] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4** [ネットワーク設定画面へ] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 5** [その他] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6** [セキュアHTTP] を [オン] に設定します。
- 7** [Webサーバー証明書] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 8** [登録] を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 9** 画面の指示に従って本機のUSB-A端子にUSBストレージを接続します。
- 10** 【決定】ボタンを押して、証明書の一覧を表示します。
- 11** 一覧からインポートする証明書を選択します。
パスワードの入力を求めるメッセージが表示されます。
- 12** 証明書のパスワードを入力し、【決定】ボタンを押します。
証明書がインストールされ、完了メッセージが表示されます。

▶ 関連項目

- ・「サポートするWebサーバー証明書の一覧」 p.109

サポートするWebサーバー証明書の一覧

以下の種類の電子証明書を設定できます。

Webサーバー証明書（セキュアHTTP）

項目	説明
フォーマット	PKCS#12
拡張子	PFX、P12
暗号	RSA
ハッシュ	MD5/SHA-1/SHA-256/SHA-384/SHA-512
鍵長	512/1024/2048/4096 bit
Common Name	ネットワークホスト名
Organization	任意
パスワード*	設定が必要。32文字以内の半角英数字。

* パスワードは半角英数字で63文字以内で設定できます。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。

プロジェクターを制御する

ネットワーク経由でプロジェクターを制御する方法について説明します。

▶ 関連項目

- 「Webブラウザを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.112](#)
- 「ESC/VP21コマンドを使用する」 [p.116](#)

コンピューターのWebブラウザを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から行えます。



- ・コンピューターとプロジェクターをネットワークに接続できる状態にしておきます。無線LANで接続するときは、[マニュアルモード] で接続してください。
- ・Webブラウザは、Internet Explorer 9.0以降（Windows）またはSafari（OS X）を使用してください。お使いのWebブラウザで、接続にプロキシサーバーを使用しないように設定してください。メニュー設定の中には、Webブラウザからは設定できない項目があります。

- 1 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 2 お使いの機器を、接続先のプロジェクターと同じネットワークに接続します。
- 3 お使いの機器でWebブラウザを起動します。
- 4 ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。

Epson Web Control画面が表示されます。

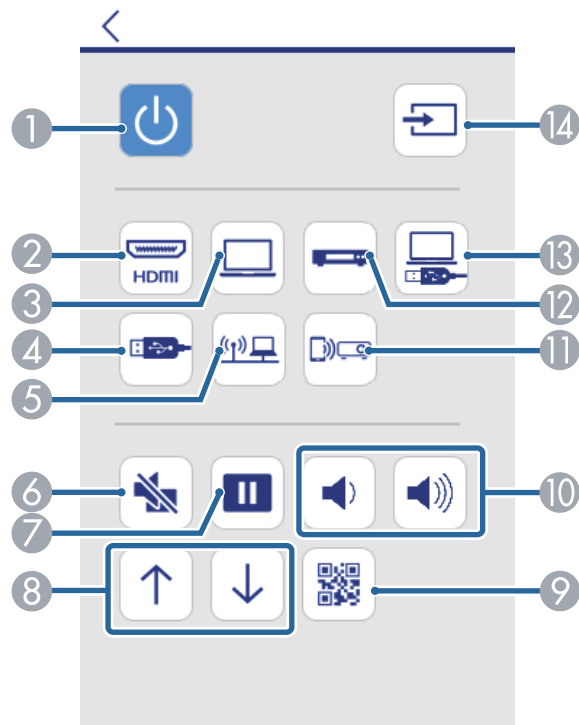


- 5 投写映像を操作するには、[ベーシックコントロール] を選択します。



- ・ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。（ユーザー名は**EPSONREMOTE**、デフォルトのパスワードは**guest**です。）
- ・パスワードは、[ネットワーク] メニューの [Remoteパスワード] で変更できます。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面] > [基本設定] > [Remoteパスワード]

6 アイコンを選択して、本機の操作をします。



- ① 電源ボタン
- ② 映像の入力ソースをHDMIソースに切替
- ③ 映像の入力ソースをコンピューターに切替
- ④ 映像の入力ソースをUSB機器に切替
- ⑤ 映像の入力ソースをネットワークに切替
- ⑥ AVミュートボタン
- ⑦ 静止ボタン
- ⑧ ページ送り/戻しボタン

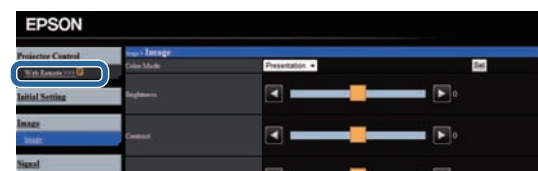
- ⑨ QRコード表示ボタン
- ⑩ 音量ボタン
- ⑪ 映像の入力ソースをScreen Mirroringに切替 (EB-1795F/EB-1785W)
- ⑫ 映像の入力ソースをビデオに切替
- ⑬ 映像の入力ソースをUSBディスプレイに切替
- ⑭ 映像の入力検出

7 プロジェクターのメニューを設定するには、Epson Web Control画面で「詳細設定」を選択します。



- ・ [OSDコントロールパッド] からも、プロジェクターのメニューを操作して、設定を変更できます。OSDコントロールパッド画面の操作方法については、ヘルプをご覧ください。
- ・ 詳細設定、OSDコントロールパッド、テストパターン画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。(ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。)
- ・ パスワードは、[ネットワーク] メニューの [Web制御パスワード] で変更できます。
 ● [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

8 設定したいメニューを選択し、画面の指示に従って設定します。





- 以下の項目はWebブラウザでは設定できません。
 - タッチプレゼンター
 - ポインター形状
 - ユーザーボタン
 - ユーザーロゴ
 - 言語
 - ランプ点灯時間初期化
- 以下の項目はWebブラウザでのみ設定できます。
 - HTTPポート追加（Web制御に使用するポート番号で、80（デフォルト）、843、3620、3621、3625、3629、4352、4649、5357、10000、10001、41794以外の番号）

▶ 関連項目

- 「Webブラウザで証明書を設定する」 [p.114](#)
- 「節電メニュー」 [p.136](#)
- 「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.131](#)

Webブラウザで証明書を設定する

セキュリティ設定に用いる電子証明書を本機に設定します（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。



本機への電子証明書のインストールは、[ネットワーク]メニューからも行うことができます。ただし、Webブラウザとプロジェクターメニューの双方から証明書をインストールすると、正しくインストールされないことがあります。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [クライアント証明書]

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [EAP設定] > [CA証明書]

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [Webサーバー証明書]

- 1** 本機に対応した形式の証明書を用意します。
- 2** 本機の電源がオンになっていることを確認します。
- 3** ネットワークに接続されているコンピューターまたはモバイルデバイスでWebブラウザを起動します。
- 4** ブラウザーのアドレス入力部にプロジェクターのIPアドレスを入力し、Epson Web Control画面に接続します。
Epson Web Control画面が表示されます。



- 7 [参照] ボタンをクリックし、証明書ファイルを選択して、[開く] をクリックします。
- 8 [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
- 9 設定が終了したら、[反映] をクリックします。

- 5 [詳細設定] を選択します。



- ・ 詳細設定画面を表示するには、ログインが必要です。ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力します。（ユーザー名は**EPSONWEB**、デフォルトのパスワードは**admin**です。）
- ・ パスワードは、[ネットワーク] メニューの [Web制御パスワード] で変更できます。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]

- 6 [ネットワーク] から [証明書管理] を選択します。

ESC/VP21を使用して外部機器から本機を制御できます。

▶ **関連項目**

- ・「ESC/VP21コマンドを使用するための準備をする」 p.116
- ・「ESC/VP21コマンドリスト」 p.116
- ・「通信プロトコル」 p.117

ESC/VP21コマンドを使用するための準備をする

ESC/VP21コマンドでプロジェクターを監視・制御するには以下の準備が必要です。次回からはドライバーのインストールは不要です。

- 1** お使いのコンピューターに、USB通信ドライバー（EPSON USB-COM Driver）をインストールします。EPSON USB-COM Driverについては、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。
- 2** [拡張設定] メニューで [USB Type B] を [Link 21L] に設定します。
- 3** コンピューターと本機のUSB-B端子をUSBケーブルで接続します。

次回からは手順2から始めます。

ESC/VP21コマンドリスト

本機に電源オンのコマンドを送信すると、電源が入りウォームアップ状態になります。電源オンの状態になると、本機はコロン' (3Ah) を返信します。

本機はコマンドを受け取ると、そのコマンドを実行後'を返信し、次のコマンドを受け付けます。

異常終了のときは、エラーメッセージを出力した後に'を返信します。

以下のコマンドを使用できます。

項目			コマンド
電源のオン/オフ	オン		PWR ON
	オフ		PWR OFF
信号切り替え	コンピューター	オート	SOURCE 1F
		RGB	SOURCE 11
		コンポーネント	SOURCE 14
	HDMI		SOURCE 30
	ビデオ		SOURCE 41
	USB Display		SOURCE 51
	USB		SOURCE 52
	LAN		SOURCE 53
	Screen Mirroring *		SOURCE 56
A/Vミュート機能のオン/オフ	オン		MUTE ON
	オフ		MUTE OFF

* Screen MirroringはEB-1795F/EB-1785Wでのみ使用できます。

各コマンドの最後に復帰 (CR) コード (0Dh) を追加して送信してください。

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

通信プロトコル

- ボーレート基準速度：9600bps
- データ長：8bit
- パリティ：なし
- ストップビット：1bit
- フロー制御：なし

メニューの設定

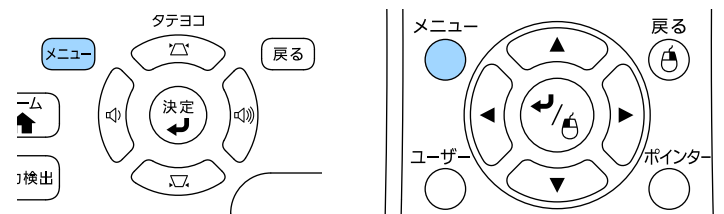
プロジェクターメニューの機能と設定について説明します。

▶ 関連項目

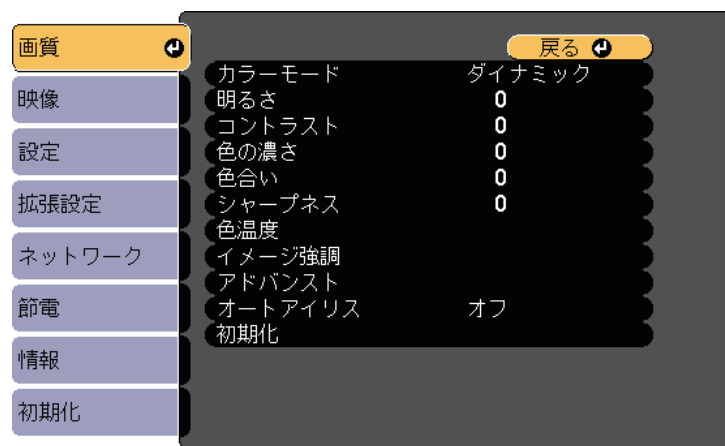
- ・ 「プロジェクターメニューを操作する」 [p.119](#)
- ・ 「ソフトキーボードを操作する」 [p.120](#)
- ・ 「画質メニュー」 [p.121](#)
- ・ 「映像メニュー」 [p.123](#)
- ・ 「設定メニュー」 [p.125](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・ 「ネットワークメニュー」 [p.129](#)
- ・ 「節電メニュー」 [p.136](#)
- ・ 「情報メニュー」 [p.138](#)
- ・ 「初期化メニュー」 [p.141](#)
- ・ 「メニュー設定を別のプロジェクターにコピーする（一括設定機能）」 [p.142](#)

投写画面に表示されるメニューを使って、本機の各種動作を設定します。

- 1** 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。



〔画質〕メニューが表示されます。



- 2** 上下ボタンを押して、左側に表示されるメニュー項目を選択します。各メニューの設定が右側に表示されます。




現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。

- 3** 設定を変更するには、【決定】ボタンを押します。
- 4** 上下ボタンを押して、設定項目を選択します。
- 5** メニュー画面の下に表示されるナビゲーションに従って、設定を変更します。
- 6** メニュー設定をすべて初期設定に戻すには、〔初期化〕を選択します。
- 7** メニューの設定が終わったら、【戻る】ボタンを押します。
- 8** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。


数字や文字の入力が必要なときはソフトキーボードが表示されます。

- 1 リモコンまたは操作パネルの上下左右ボタンを使って、入力する数字や文字を選択し、【決定】ボタンを押します。



 [CAPS] キーを選択すると、大文字小文字が切り替わります。[SYM1/2] キーを選択すると、枠に囲まれている記号が変わります。

- 2 テキストの入力後、キーボードの [Finish] を選択して入力を確定します。[Cancel] を選択すると、テキストの入力を取り消します。

 コンピューターのWebブラウザーを使って、ネットワークに接続されたプロジェクターの設定や制御ができます。プロジェクターメニューのソフトキーボードでは入力できない文字があります。ソフトキーボードで入力できない文字はWebブラウザーを使って入力してください。

- ・「Webブラウザーを使ってネットワークプロジェクターを制御する」 [p.112](#)

ソフトキーボードで入力可能な文字

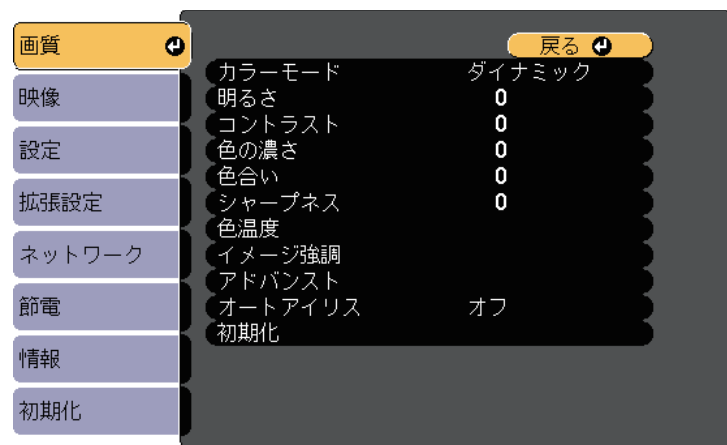
ソフトキーボードでは、以下の文字を入力できます。

文字タイプ	詳細
数字	0123456789
アルファベット	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
記号	!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\] ^_`{ }~

▶ 関連項目

- ・「ソフトキーボードで入力可能な文字」 [p.120](#)

〔画質〕メニューでは、現在投写している入力ソースの映像の画質を調整できます。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

設定	選択肢	説明
カラーモード	カラーモードの一覧を参照	映像の種類や使用環境に応じて、適切なカラーモードを選択します。
明るさ	レベル調整	映像の明るさを調整します。
コントラスト	レベル調整	映像のコントラストを調整します。
色の濃さ	レベル調整	映像の色の濃さを調整します。
色合い	レベル調整	映像の色合いを調整します。
シャープネス	レベル調整	映像のシャープ感を調整します。

設定	選択肢	説明
色温度		映像全体の色合いを調整します。値を高くすると青みがかった映像になり、値を低くすると赤みがかった映像になります。
	色温度	〔色温度〕：選択したカラーモードに応じて設定します。
	カスタム	〔カスタム〕：R（赤）、G（緑）、B（青）の各色ごとにオフセットとゲインを調整します。
イメージ強調	ノイズリダクション	アナログ映像のざらつきを抑えます。
アドバンスト		映像の色に関する設定をします。
	ガンマ	〔ガンマ〕：補正値を選んだり、投写映像やガンマグラフを見ながら映像の発色を調整します。
	RGBCMY	〔RGBCMY〕：R（赤）、G（緑）、B（青）、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）ごとに色相、彩度、明度を調整します。
	プログレッシブ変換 （インターレース信号 [480i/576i/1080i]入力時）	〔プログレッシブ変換〕：インターレース信号をプログレッシブ信号に変換します。 <ul style="list-style-type: none"> ・〔オフ〕：動きの速いビデオ映像に適しています。 ・〔ビデオ〕：一般のビデオ映像に適しています。 ・〔フィルム/オート〕：映画フィルムやCG、アニメーションに適しています。

設定	選択肢	説明
オートアイリス	オフ 標準 高速	映像の明るさに合わせて投写時の光量を調整します。 カラーモードを [ダイナミック] または [シネマ] に設定しているときに調整できます。
初期化	—	選択されているカラーモードの [画質] メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



- ・ [明るさ] の設定はランプの明るさには影響しません。ランプの明るさを変更するには、[節電] メニューで [明るさ切替] を設定します。
- ・ 以下のときは、[ノイズリダクション] は設定できません。
 - ・ デジタルRGB信号が入力されている。
 - ・ インターレース信号 (480i/576i/1080i) が入力されている。

▶ 関連項目

- ・ 「カラーモードの種類」 [p.56](#)

本機は入力信号方式を自動的に検出し、映像設定を最適化します。詳細な設定が必要なときは、[映像]メニューで設定します。現在投写している入力ソースによって設定できる項目が異なります。



以下の入力ソースのときは、[映像]メニューを設定できません。

- USBディスプレイ
- USB
- LAN
- Screen Mirroring (EB-1795F/EB-1785W)



リモコンの【自動調整】ボタンを押して、[トラッキング]、[同期]、[表示位置]の設定を初期値に戻すことができます。

設定を変更するには、変更したい入力ソースの映像が投写されていることを確認してください。

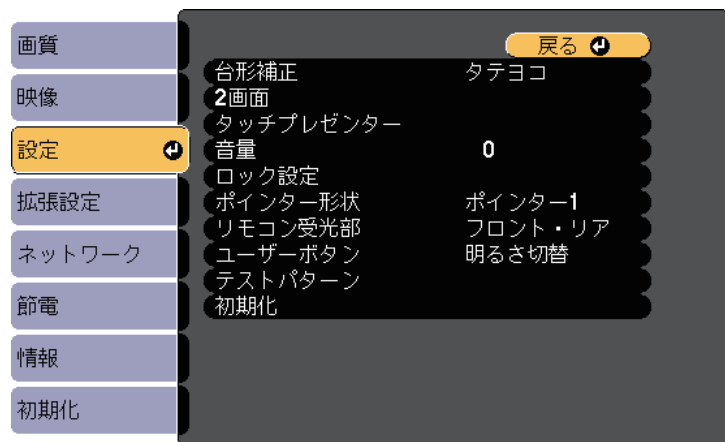
設定	選択肢	説明
入力解像度	オート ワイド ノーマル	[オート] に設定しても投写映像が欠けるときは、入力信号の解像度を設定します。
アスペクト	アスペクト比の一覧を参照	映像のアスペクト比（縦横比）を設定します。
トラッキング	レベル調整	映像に縦の縞模様が出ないように調整します。
同期	レベル調整	映像にぼやけ、ちらつきが出ないように調整します。
表示位置	—	投写画面内の映像の表示位置を調整します。
自動調整	オン オフ	[オン] にすると、トラッキング、同期、表示位置を最適な状態に自動調整します。
オーバースキャン	オート オフ 4% 8%	出画率（投写する映像の範囲）を変更して、映像がトリミングされる範囲を設定します。




設定	選択肢	説明
アドバンスト	HDMI ビデオレベル	<p>[HDMI ビデオレベル] : HDMI端子に接続された機器の設定に合わせて、本機のビデオレベルを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [オート] : ビデオレベルを自動的に検出します。 ・ [通常] : コンピューター以外の機器からの映像に適しています。映像の黒い部分が明るすぎる場合に選択すると効果的です。 ・ [拡張] : コンピューターからの映像に適しています。映像が暗すぎる場合に選択すると効果的です。
	入力信号方式	<p>[入力信号方式] : コンピューター端子からの映像信号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [オート] : 映像信号を自動的に検出します。 ・ [RGB] : コンピューター/RGBビデオ信号を入力します。 ・ [コンポーネント] : コンポーネントビデオ信号を入力します。
	ビデオ信号方式	<p>[ビデオ信号方式] : ビデオ端子からの映像信号を設定します。 [オート] に設定している場合に映像にノイズが入ったり、映像が映らないときは、接続している機器に応じて適切な映像信号を選択します。</p>
初期化	—	<p>[映像] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [入力信号方式]

▶▶ 関連項目

- ・ 「アスペクトモードの種類」 p.53

[設定] メニューでは、プロジェクターの各種設定ができます。



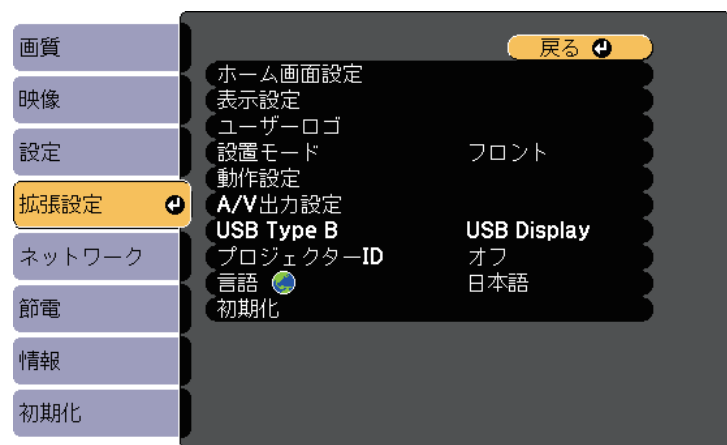
設定	選択肢	説明
	開始/終了	[開始/終了] : タッチプレゼンターを開始/終了します。
	マーカー表示位置	[マーカー表示位置] : 左右どちらにマーカーを表示するか設定します。
	タッチプレゼンター	[タッチプレゼンター] : タッチプレゼンターの有効/無効を切り替えます。
音量	レベル調整	本機のスピーカーの音量を調整します。 設定した内容は入力ソースごとに保持されます。
ロック設定	操作ボタンロック	操作パネルの操作制限を設定します。 [全ロック] : すべてのボタンをロックします。 [操作ロック] : 電源ボタンを除くすべてのボタンをロックします。 [オフ] : ボタンをロックしません。
ポインター形状	ポインター1 :  ポインター2 :  ポインター3 : 	ポインター形状を選択します。

設定	選択肢	説明
台形補正		投写画面のゆがみを補正します。
	タテヨコ	[タテヨコ] : 縦方向、横方向のゆがみを補正します。また、自動補正のオン/オフを設定します。
	Quick Corner	[Quick Corner] : 投写画面のコーナーの形状を個別に補正します。
2画面	画面サイズ 入力ソース 左右画面入替 音声切替 配置 QRコード表示 2画面終了	投写画面を分割し、2つの映像を横に並べて表示します。(【戻る】ボタンを押すと、2画面表示を終了します。)
タッチプレゼンター*		タッチプレゼンターの設定をします。

設定	選択肢	説明
リモコン受光部	フロント・リア フロント リア オフ	リモコンからの操作信号を受信する受光部を制限します。[オフ]にすると、リモコンからの操作ができなくなります。
ユーザーボタン	明るさ切替 情報 プログレッシブ変換 テストパターン 入力解像度 QRコード表示	リモコンの【ユーザー】ボタンに割り当てるメニュー項目を設定します。ボタンを押すと、割り当てたメニュー項目がワンタッチで表示されます。
テストパターン	—	<p>機器を接続せずに映像のフォーカス、ズーム、台形補正を調整できるようにテストパターンを表示します。（【戻る】ボタンを押すと、パターン表示を終了します。）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意 長時間パターンを表示していると投写映像に残像が現れることがあります。</p> </div>
初期化	—	<p>[設定] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [ユーザーボタン]

* EB-1795F/EB-1785W/EB-1781Wのみ

【拡張設定】メニューでは、プロジェクターの詳細な設定ができます。



設定	選択肢	説明
ホーム画面設定		ホーム画面の表示オプションを選択します。
	ホーム画面自動表示	【ホーム画面自動表示】：本機を起動したとき入力信号がない場合に、ホーム画面を自動的に表示するかしないかを選択します。
	カスタム機能1 カスタム機能2	【カスタム機能1】 / 【カスタム機能2】：よく使う機能や設定メニューをホーム画面に割り当てます。
表示設定		表示に関する設定をします。

設定	選択肢	説明
	メッセージ表示	【メッセージ表示】：【オン】にすると、入力ソース名、カラーモード名、アスペクト比、映像信号が入力されていないときのメッセージや高温警告などのメッセージが投写画面上に表示されます。メッセージを表示させたくないときは【オフ】を選択します。
	背景表示	【背景表示】：映像信号が入力されていないときに投写する画面の背景色またはロゴ表示を選択します。
	スタートアップスクリーン	【スタートアップスクリーン】：【オン】にすると、投写開始時にユーザーロゴを表示します。
	A/Vミュート	【A/Vミュート】：A/Vミュート時に表示する画面の背景色またはロゴ表示を選択します。
ユーザーロゴ	—	本機の識別やセキュリティ向上のために、本機で表示するユーザーロゴを登録します。
設置モード	フロント フロント・天吊り リア リア・天吊り	映像が正しい方向で投写されるように、スクリーンに対する本機の設置方法を選択します。
動作設定		本機の動作に関する設定をします。
	ダイレクトパワーオン	【ダイレクトパワーオン】：電源プラグを差し込むだけで、本機の電源が入ります。
	高地モード	【高地モード】：標高約1500m以上の場所で本機を使えるように動作を制御します。

設定	選択肢	説明
	自動入力検出	[自動入力検出] : [オン] にすると、現在の入力ソースからの映像信号がないときに、自動的に他の入力ソースからの信号を検出して映像を投写します。
	オートパワーオン	[オートパワーオン] : 本機がスタンバイ状態のときに、選択した入力ソースからの映像信号を検出すると、自動的に本機の電源が入ります。 (HDMI/コンピューター/USB Display/NFC)
	日付&時刻*	[日付&時刻] : 本機の日付と時刻を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [夏時間設定] : [夏時間] を [オン] にすると、夏時間が有効になります。 • [インターネット時刻] : [オン] にすると、インターネット時刻サーバーから時刻を自動的に更新します。
A/V出力設定		音声出力、映像出力に関する設定をします。
	HDMI音声出力	[HDMI音声出力] : HDMI端子から投写するときに、音声を入力する端子を選択します。
USB Type B	USB Display	[USB Display] : USBディスプレイが有効になります。
	Link 21L	[Link 21L] : ESC/VP21コマンドが有効になります。

設定	選択肢	説明
プロジェクターID	オフ 1~9	複数のプロジェクターをリモコンから操作するときに使う本機のIDを設定します。
言語	言語設定	メニュー、メッセージに表示する言語を選択します。
初期化	—	[拡張設定] メニューで調整した、以下を除くすべての値を初期値に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> • [ユーザーロゴ] • [設置モード] • [高地モード] • [自動入力検出] • [日付&時刻] * • [USB Type B] • [プロジェクターID] • [言語]

* EB-1795F/EB-1785W/EB-1781Wのみ



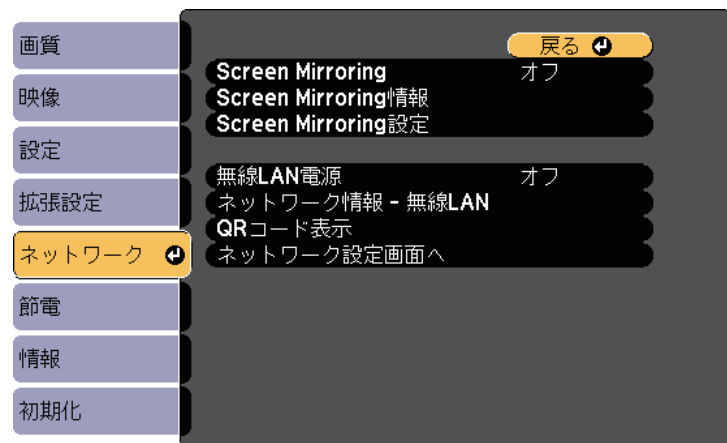
[パスワードプロテクト] で [ユーザーロゴ保護] を [オン] にすると、ユーザーロゴに関する設定 ([表示設定] の [背景表示]、[スタートアップスクリーン]、[A/Vミュート]) は変更できません。事前に [ユーザーロゴ保護] を [オフ] に設定します。

▶ 関連項目

- 「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.91

[ネットワーク] メニューでは、ネットワーク情報の表示、ネットワーク経由で本機を使うための設定ができます。

[パスワードプロテクト] で [ネットワーク保護] を [オン] にすると、ネットワーク設定は変更できません。事前に [ネットワーク保護] を [オフ] に設定します。



設定	選択肢	説明
Screen Mirroring *	オン オフ	Screen Mirroringの接続を設定します。 Screen Mirroring機能を使って投写するには、[オン] を選択します。
Screen Mirroring 情報 *	ディスプレイ名 MACアドレス 地域コード チャンネル 接続端末	Screen Mirroringのステータス、詳細情報を表示します。 [Screen Mirroring] を [オン] に設定しているときのみ有効。
Screen Mirroring 設定 *	Screen Mirroring 設定画面へ移動	Screen Mirroringの接続を設定します。

設定	選択肢	説明
無線LAN電源	オン オフ	無線LAN接続を設定します。 無線LAN経由で映像を投写するには [オン] を選択します。無線LANで接続しないときは、第三者の不正アクセスを防ぐためにオフに設定してください。
ネットワーク情報 - 無線LAN	接続モード 無線LAN方式 アンテナレベル プロジェクター名 SSID DHCP IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス MACアドレス 地域コード	無線LANのステータス、詳細情報を表示します。 [無線電源] を [オン] に設定しているときのみ有効。
QRコード表示	—	Epson iProjectionを使って、iOSまたはAndroid機器を接続するときに読み取るQRコードを表示します。
ネットワーク設定画面へ	ネットワーク設定画面へ移動	ネットワークの詳細設定をします。

* EB-1795F/EB-1785Wのみ



プロジェクターをネットワークに接続すると、コンピューターのWebブラウザーを使って、プロジェクターのメニュー設定や制御を離れた場所から操作できます。

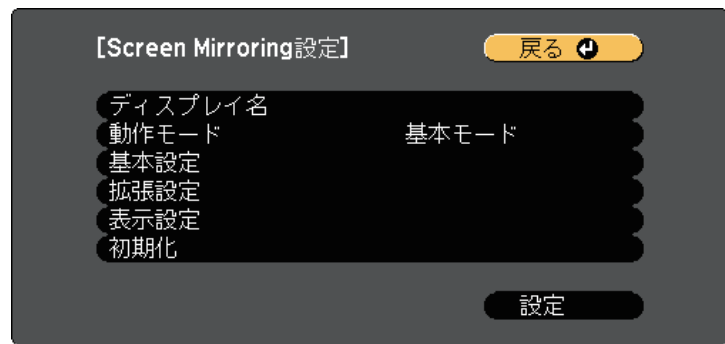
▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定」 p.130
- ・「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 p.131
- ・「ネットワークメニュー - 無線LANメニュー」 p.132
- ・「ネットワークメニュー - その他メニュー」 p.134
- ・「ネットワークメニュー - 初期化メニュー」 p.135
- ・「パスワードプロテクトの種類を設定する」 p.91

ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定

[Screen Mirroring設定] 画面で、Screen Mirroringの設定をします (EB-1795F/EB-1785W)。

☛ [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定]



設定	選択肢	説明
基本設定	無線LAN方式	本機とモバイルデバイスの通信方式を選択します。
	パフォーマンス調整	Screen Mirroringの映像表示速度および品質を調整します。 表示品質を上げるには小さい値を選択します。表示速度を上げるには大きい値を選択します。
	接続モード	WPS (Wi-Fi Protected Setup) の種類を選択します。接続のセキュリティを強化するには [PIN] を選択します。PBC接続のみ対応のモバイルデバイスをお使いのときは、[PIN/PBC] を選択します。 [動作モード] を [基本モード] に設定しているときのみ設定可能です。
拡張設定		[動作モード] を [拡張モード] に設定しているときのみ設定可能です。
	会議モード	会議の形態に合わせて、接続方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [割り込み接続許可] : Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられます。 ・ [割り込み接続不可] : Screen Mirroringでの投写中に他のユーザーが投写画面を切り替えられないようにします。
	チャンネル	Screen Mirroringで使用する無線チャンネルを選択します。

設定	選択肢	説明
ディスプレイ名	32文字以内の半角英数字	Screen Mirroring機能を使用してプロジェクターを検索するときに、本機を識別するための名前を入力します。
動作モード	基本モード 拡張モード	接続の詳細を設定するときは、[拡張モード] を選択します。

設定	選択肢	説明
表示設定	PINコード通知	Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、投写画面にPINコードを表示するかしないかを選択します。[オン]にすると、投写画面に8桁のPINコードが表示されます。
	端末名通知	Screen Mirroring以外の入力ソースの映像を投写中に、投写画面に端末名を表示するかしないかを選択します。[オン]にすると、投写画面に新しく接続した端末名が表示されます。
初期化	—	[Screen Mirroring設定]で調整したすべての値を初期値に戻します。

設定	選択肢	説明
プロジェクター名	16文字以内の半角英数字 (「*+./:;<=>?[\\` スペースは使用不可)	ネットワーク上で本機を識別するための名前を入力します。
Remoteパスワード	8文字以内の半角英数字 (*:スペースは使用不可)	ベーシックコントロール機能で本機の制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は EPSONREMOTE 、デフォルトのパスワードは guest です。)
Web制御パスワード	8文字以内の半角英数字 (*:スペースは使用不可)	Web制御で本機の設定や制御をするときの認証用パスワードを設定します。(ユーザー名は EPSONWEB 、デフォルトのパスワードは admin です。)
モデレーターパスワード	4桁の数字	EasyMP Multi PC ProjectionやEpson iProjectionを使って、モデレーターとして本機に接続するときの認証用パスワードを入力します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)
プロジェクターキーワード	オン オフ	[オン]にすると、他のユーザーが誤って映像を投写しないように、セキュリティパスワードを有効にできます。コンピューターやモバイルデバイスの映像を投写するときは、投写画面に表示されるキーワードをEasyMP Multi PC ProjectionやEpson iProjectionで入力する必要があります。

ネットワークメニュー - 基本設定メニュー

[基本設定] メニューでは、ネットワークの基本設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定]

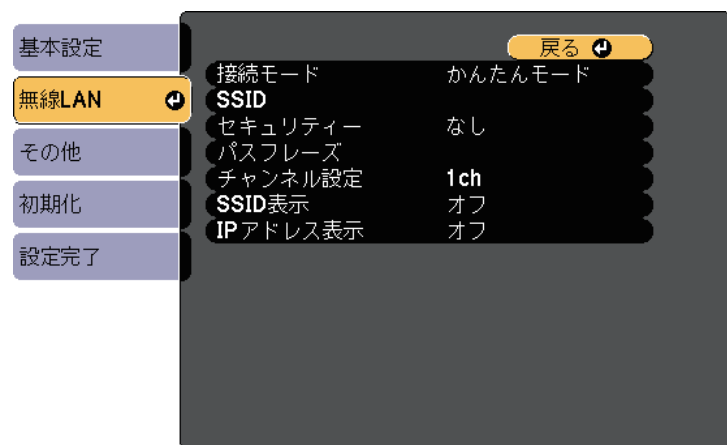


設定	選択肢	説明
LAN情報表示	テキストとQRコード テキスト	本機のネットワーク情報の表示形式を設定します。 QRコードを表示させると、Epson iProjectionでQRコードを読み取るだけで本機とモバイルデバイスをネットワーク接続できます。初期値は、[テキストとQRコード] です。

ネットワークメニュー - 無線LANメニュー

[無線LAN] メニューでは、無線LANの設定ができます。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]



設定	選択肢	説明
接続モード		接続モードを選択します。

設定	選択肢	説明
	かんたんモード	[かんたんモード] : スマートフォンやタブレット端末、コンピューターとワイヤレスに直接接続できます。 [かんたんモード] で接続すると、本機が簡易アクセスポイントになります。(プロジェクターに接続するコンピューターやタブレット端末の数は、6台以下を目安としてください。目安を超えると投写映像の更新が遅くなることがあります。)
	マニュアルモード	[マニュアルモード] : 無線LANアクセスポイント経由でスマートフォンやタブレット端末、コンピューターと接続できます。
アクセスポイント検索	検索画面へ移動	マニュアルモードで接続するとき、周囲の無線LANアクセスポイントを検索します。アクセスポイントの設定によっては、一覧に表示されないアクセスポイントがあります。
SSID	32文字以内の半角英数字	本機のSSID (ネットワーク名) を設定します。本機が接続する無線LANシステムでSSIDが定められているときは、そのSSIDを設定します
セキュリティ		無線LANの設定に合わせてセキュリティの種類を選択します。 セキュリティの設定については、ネットワーク管理者の指示に従ってください。
	なし	[なし] : セキュリティを設定しません。

設定	選択肢	説明
	WPA2-PSK	[WPA2-PSK] : WPA2によるセキュリティを使って通信を行います。暗号化にはAES方式を使用します。コンピューターからプロジェクターに接続するときは、パスフレーズに設定した値を入力してください。
	WPA/WPA2-PSK	[WPA/WPA2-PSK] : WPA/パーソナルモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。アクセスポイントと共通のパスフレーズを設定します。
	WPA2-EAP * WPA/WPA2-EAP *	[WPA2-EAP] / [WPA/WPA2-EAP] : WPAエンタープライズモードで接続を行います。暗号化方式はアクセスポイントの設定に応じて自動的に選択されます。LEAPを用いるときはこの項目を選択します。
パスフレーズ	8~32文字のパスフレーズ (Webブラウザから入力する場合: 8~63文字のパスフレーズ)	<p>セキュリティの設定で [WPA2-PSK] または [WPA/WPA2-PSK] を選択したときは、ネットワークに接続するためのパスフレーズを入力します。</p> <p>パスフレーズを入力し、【決定】ボタンを押すと、値が設定されます。設定された値はアスタリスク (*) で表示されます。</p> <p>セキュリティ強化のため、パスフレーズは定期的に変更することをお勧めします。ネットワーク設定を初期化すると、パスフレーズは初期値に戻ります。</p>

設定	選択肢	説明
EAP設定 *		[WPA2-EAP] および [WPA/WPA2-EAP] セキュリティのEAPを設定します。
	EAP種類	<p>[EAP種類] : 認証プロトコルを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [PEAP] : Windows Serverで広く使われている認証プロトコルです。 • [PEAP-TLS] : Windows Serverで使われている認証プロトコルです。クライアント証明書を使用する場合に選択します。 • [EAP-TLS] : 一般的に広く使われている、クライアント証明書を使用する認証プロトコルです。 • [EAP-FAST] / [LEAP] : これらの認証プロトコルが使用されているときに指定します。
	ユーザー名	<p>[ユーザー名] : 半角英数字で63文字以内で入力します。プロジェクターのメニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。ドメイン名を含めて入力する必要があるときは、ユーザー名の前にバックslashで区切ってドメイン名を追加します (ドメイン名\ユーザー名)。</p> <p>クライアント証明書をインポートしたときは、証明書の発行先が自動で設定されます。</p>

設定	選択肢	説明
	パスワード	[パスワード] : [PEAP]、[EAP-FAST]、[LEAP] の認証用パスワードを入力します。半角英数字で63文字以内で入力します。プロジェクターのメニューで入力できる文字数は最大32文字です。32文字以上の入力をするときは、Webブラウザを使って入力します。パスワードを入力し、[設定完了] を選択すると、パスワードはアスタリスク (*) で表示されます。
	クライアント証明書	[クライアント証明書] : [PEAP-TLS]、[EAP-TLS] のクライアント証明書をインポートします。
	サーバー証明書の検証	[サーバー証明書の検証] : CA 証明書が設定されているときに、サーバー証明書を照合するかどうかを選択します。
	CA証明書	[CA証明書] : [PEAP]、[PEAP-TLS]、[EAP-TLS]、[EAP-FAST] 用のCA証明書をインポートします。
	認証サーバー名	[認証サーバー名] : 認証サーバー名を入力します。半角英数字で最大32文字まで入力できます (*: とスペースは使用できません)。
チャンネル設定	1ch 6ch 11ch	かんたんモードの無線通信で使用する周波数の帯域 (チャンネル) を選択します。

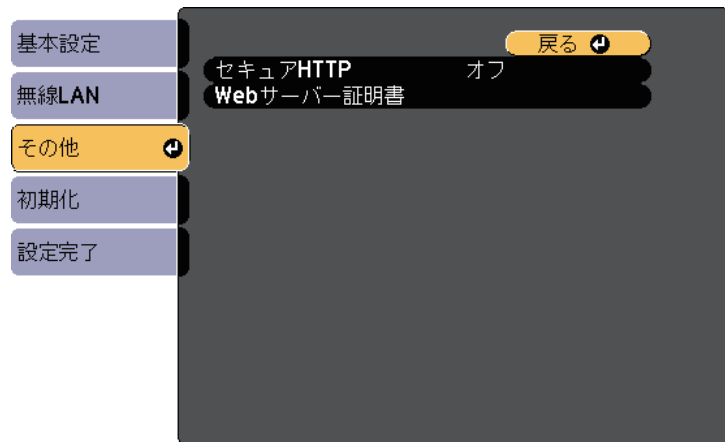
設定	選択肢	説明
IP設定	DHCP	[DHCP] : DHCPを使用できるネットワークの場合は、[オン] にします。DHCPを使用できないネットワークの場合は、[オフ] にして、プロジェクターの [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を入力します。0~255の数字を入力します。 0.0.0.0、127.x.x.x、192.0.2.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはIPアドレスに使用できません (x は0~255の数値)。 255.255.255.255、0.0.0.0~254.255.255.255のアドレスはサブネットマスクに使用できません。0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0~255.255.255.255のアドレスはマスクゲートウェイアドレスに使用できません。
	IPアドレス サブネットマスク ゲートウェイアドレス	
SSID表示	オン オフ	LAN待機画面やホーム画面にSSIDを表示するかしないかを選択します。
IPアドレス表示	オン オフ	LAN待機画面やホーム画面にIPアドレスを表示するかしないかを選択します。

* EB-1795F/EB-1785W/EB-1781Wのみ

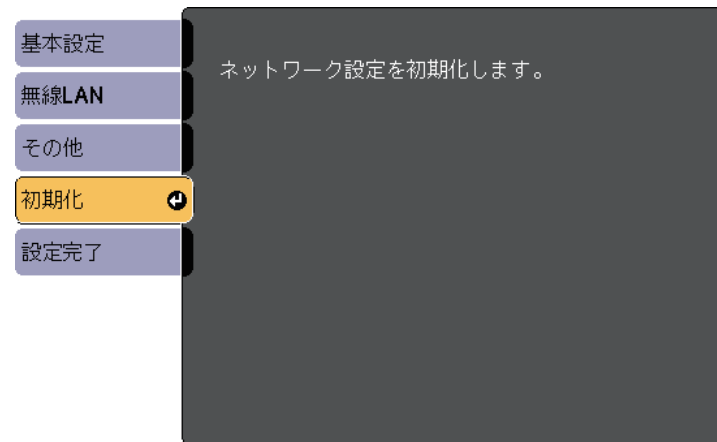
ネットワークメニュー - その他メニュー

[その他] メニューでは、ネットワークの詳細な設定ができます (EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W)。

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他]



☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [初期化]



設定	選択肢	説明
セキュアHTTP	オン オフ	Web制御でのプロジェクターとコンピューターの通信を暗号化し、セキュリティを強化します。セキュリティの設定をWeb制御で行う場合は、[オン]に設定することをお奨めします。
Webサーバー証明書	—	セキュアHTTP機能のWebサーバー証明書を本機にインポートします。

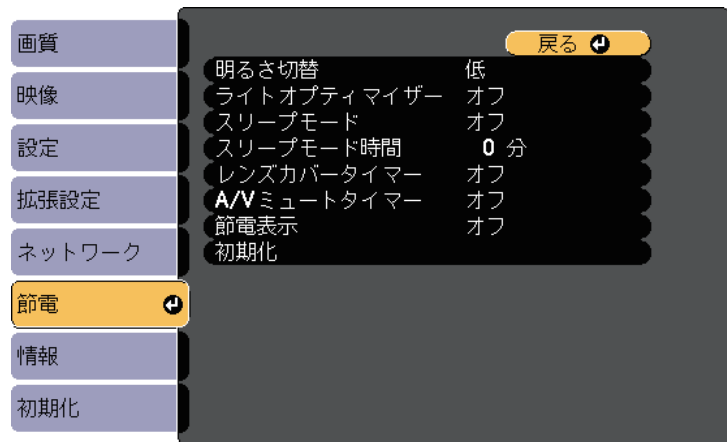
設定	選択肢	説明
ネットワーク設定を初期化します。	はい いいえ	[はい]を選択すると、ネットワーク設定をすべて初期化します。

ネットワークメニュー - 初期化メニュー

[初期化] メニューでは、ネットワーク設定をすべて初期化できません。

【節電】メニューでは、本機の消費電力を抑えるための設定ができます。

節電効果が有効な設定をしているときは、メニュー項目の横に葉っぱのアイコンが表示されます。



設定	選択肢	説明
明るさ切替		ランプの明るさを選択します。高地または高温になりやすい場所で本機をお使いのときは、設定が変更できないことがあります。
	高	【高】：ランプを最も明るくします。
	低	【低】：投写映像が明るすぎるときにランプの明るさを抑えます。投写中の消費電力とファン回転音が低下します。

設定	選択肢	説明
ライトオプティマイザー	オン オフ	<p>【オン】に設定すると、投写する映像に応じてランプの明るさを調整します。ランプを低輝度で動作させることにより、消費電力を軽減できます。</p> <p>設定値はカラーモードごとに保存されます。</p> <p>この項目は以下の場合のみ設定可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【明るさ切替】を【高】、または【オート】に設定しているとき ・【オートアイリス】を【オフ】に設定しているとき <p>☛ 【画質】 > 【オートアイリス】</p>
スリープモード	オン オフ	【オン】に設定すると、一定時間映像信号の入力がないときに、自動的に本機の電源が切れます。
スリープモード時間	1～30分	スリープモードで電源が自動で切れるまでの時間を設定します。
レンズカバータイマー	オン オフ	【オン】に設定すると、スライド式レンズカバーを閉じてから30分後に自動的に本機の電源が切れます。
A/Vミュートタイマー	オン オフ	【オン】に設定すると、A/Vミュートを実行してから30分後に自動的に本機の電源が切れます。
節電表示	オン オフ	【オン】に設定すると、ランプの明るさが通常状態と低輝度状態で切り替わるときに、投写画面の左下に節電状態を示す葉っぱのアイコンを表示します。
初期化	—	【節電】メニューで調整したすべての値を初期値に戻します。



- [スリープモード時間] が設定されていると、一定時間映像信号の入力がないときは、電源が切れるまでランプの明るさを抑えて動作します。映像信号が入力されたときは、通常どおり動作します。
- [レンズカバータイマー] または [AVミュートタイマー] がオンに設定されているときは、レンズカバーが閉じているときや [AVミュート] を実行してから電源が切れるまで、ランプの明るさを抑えて動作します。レンズカバーを開けたときや AVミュートを解除したときは、通常どおり動作します。

▶ 関連項目

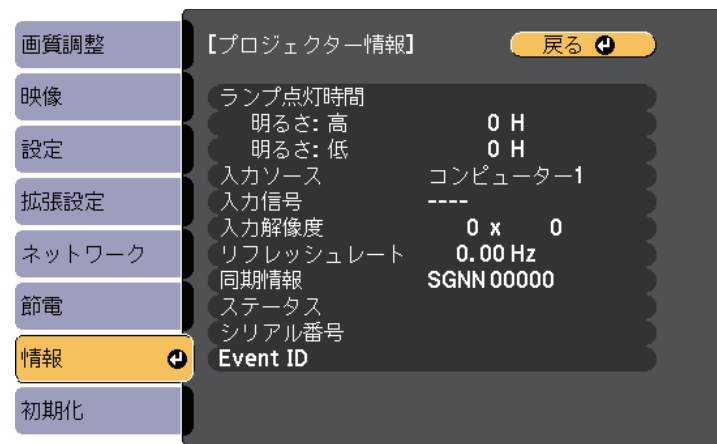
- 「拡張設定メニュー」 [p.127](#)

【情報】メニューでは、本機の情報、バージョンを確認できます。このメニューの設定は変更できません。



情報メニュー - プロジェクター情報

【情報】メニューの【プロジェクト情報】では、本機の状態や投写している映像信号の情報を確認できます。



現在投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。ランプ点灯時間は、ランプを10時間以上使用するまで加算されません。

情報の項目	説明
プロジェクト情報	プロジェクトの情報を表示します。
バージョン	ファームウェアバージョンを表示します。

▶ 関連項目

- ・「情報メニュー - プロジェクター情報」 p.138

情報の項目	説明
ランプ点灯時間	[明るさ：高]、[明るさ：低]のそれぞれでランプを使用した時間（[H]）を表示します。黄色で情報が表示される場合は、エプソン純正の交換用ランプを早めに入手してください。
入力ソース	現在の入力ソースを表示します。
入力信号	現在の入力ソースの入力信号方式を表示します。
入力解像度	現在の入力ソースの解像度を表示します。

情報の項目	説明
ビデオ信号方式	現在の入力ソースのビデオ信号方式を表示します。
リフレッシュレート	現在の入力ソースのリフレッシュレートを表示します。
同期情報	サービス技術者が必要とする情報を表示します。
ステータス	サービス技術者が必要とするプロジェクターの問題に関する情報を表示します。
シリアル番号	本機のシリアル番号を表示します。
Event ID	ネットワーク接続の問題に対応するEvent ID番号を表示します。Event IDコードの一覧を参照してください。

▶ 関連項目

- ・ 「Event ID一覧」 p.139

Event ID一覧

[プロジェクター情報] メニューの [Event ID] に番号が表示されるときは、番号を確認して以下のとおり対処してください。

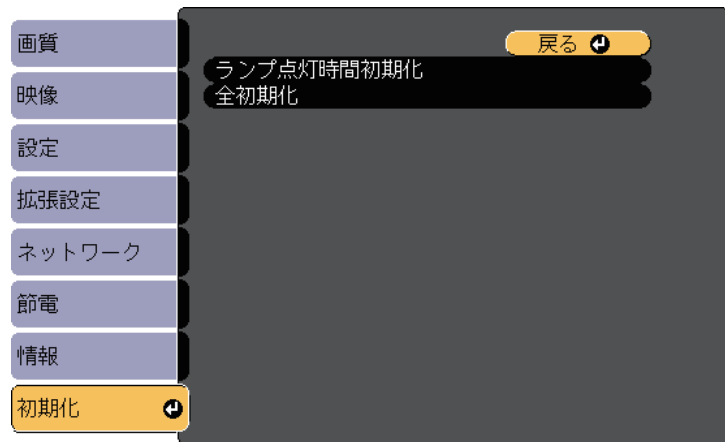
問題が解決しないときは、ネットワーク管理者にお問い合わせいただくか、お問い合わせ先に記載の連絡先にお問い合わせください。

Event ID	原因と対処法
0020 0026 0032 0036 0037 0038	Screen Mirroringの通信エラーです。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。ネットワークソフトウェアを再起動します。

Event ID	原因と対処法
0021	Screen Mirroringの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0022 0027 0028 0029 0030 0031 0035	Screen Mirroringの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0023 0024 0025	接続に失敗しました。コンピューターにPIN入力画面が表示されたときは、Screen Mirroring待機画面または投写している映像の右下に表示されているPINコードを入力します。問題が解決しないときは、プロジェクターと接続機器を再起動して、接続設定を確認してください。
0041	接続に失敗しました。コンピューターに保存されている本機の接続情報を削除して、再接続します。
0432 0435	ネットワークソフトウェアの起動に失敗しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0433	転送した映像を表示できません。ネットワークソフトウェアを再起動してください。
0434 0481 0482 0485	ネットワークの通信状態が不安定です。ネットワークの通信状態を確認し、しばらくしてから再接続します。
0483 04FE	ネットワークソフトウェアが予期せず終了しました。ネットワークの通信状態を確認してから、プロジェクターの電源を一度切り、再度電源を入れます。
0484	コンピューターから通信が切断されました。ネットワークソフトウェアを再起動してください。

Event ID	原因と対処法
0479 04FF	プロジェクターにシステムエラーが発生しました。プロジェクターの電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
0891	同じSSIDのアクセスポイントが見つかりません。プロジェクター、コンピューター、アクセスポイントに同一のSSIDを設定します。
0892	WPA/WPA2の認証方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0893	TKIP/AES暗号化方式が一致しません。無線ネットワークのセキュリティ設定が正しいことを確認します。
0894	不正なアクセスポイントに接続したため通信が切断されました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
0898	DHCPの取得に失敗しました。DHCPサーバーが正しく動作していることを確認します。DHCPを使用しないときは、本機の [ネットワーク]メニューにある [DHCP] 設定を [オフ] にします。 ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN] > [IP設定] > [DHCP]
0899	その他、接続に関するエラー
089A	EAP認証方式がネットワークと一致しません。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089B	EAPのサーバー認証が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089C	EAPのクライアント認証が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。
089D	鍵交換が失敗しました。無線LANセキュリティの設定が正しいか確認してください。また、証明書が適切にインストールされているか確認してください。

〔初期化〕を選択して、本機の設定を初期化できます。



・パスワード

* ユーザーロゴを登録しているときのみ。

設定	選択肢	説明
ランプ点灯時間初期化	—	ランプを交換したときにランプ点灯時間をゼロに戻します。
全初期化	—	本機の設定を初期化します。

以下の設定は、〔全初期化〕を実行しても初期値に戻りません。

- ・ 入力信号方式
- ・ ユーザーロゴ
- ・ 背景表示 *
- ・ スタートアップスクリーン *
- ・ A/Vミュート *
- ・ 言語
- ・ 日付&時刻
- ・ ネットワークメニュー項目
- ・ ランプ点灯時間

本機で設定したメニューの内容を、以下の方法で他の複数台のプロジェクターにコピーできます（一括設定機能）。一括設定機能は同じ型番のプロジェクター間でのみ使用できます。

- USBメモリーを使って設定する
- コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して設定する

以下の内容は一括設定機能ではコピーされません。

- [ネットワーク] メニュー（[その他] メニューを除く）
- [プロジェクター情報] メニューの [ランプ点灯時間]、[ステータス]



台形補正などの投写画面の調整をする前に一括設定機能を実行してください。一括設定機能では、タテヨコ補正などの投写画面の調整値もコピーされます。投写画面の調整後に一括設定を行うと、調整した投写画面が変わってしまうことがあります。一括設定機能を実行すると、ユーザーロゴもコピーされます。複数のプロジェクター間で共有したくない画像は、ユーザーロゴとして設定しないでください。

⚠ 注意

一括設定は、お客様の責任において行ってください。停電や通信異常などが原因で一括設定に失敗したときは、修理費用が有償となることがあります。

▶ 関連項目

- 「USBメモリーを使って一括設定する」 p.142
- 「コンピューターを使って一括設定する」 p.143

USBメモリーを使って一括設定する

USBメモリーを使用して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



FAT形式でフォーマットされ、セキュリティー機能のついていないUSBメモリーを使用してください。また、空のUSBメモリーを使用してください。一括設定ファイル以外のデータが入っていると、設定を正しく保存できないことがあります。

- 1** プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケータが消えていることを確認します。
- 2** 空のUSBメモリーを、コピー元のプロジェクターのUSB-A端子に直接接続します。
- 3** リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4** インジケータがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。
インジケータが点滅になると、一括設定ファイルがUSBメモリーに書き込まれます。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

- 5** USBメモリーを取り外します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

- 6 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 7 一括設定ファイルが保存されているUSBメモリーを、コピー先のプロジェクターのUSB-A端子に接続します。
- 8 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 9 インジケーターがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。
インジケーターが点滅に変わると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意

ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードやUSBメモリーを取り外さないでください。電源コードやUSBメモリーを取り外すと、プロジェクターが正常に起動しなくなることがあります。

- 10 USBメモリーを取り外します。

- 1 プロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。
- 2 コンピューターのUSB端子とコピー元のプロジェクターのUSB-B端子を、USBケーブルで接続します。
- 3 リモコンまたは操作パネルの【戻る】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
- 4 インジケーターがすべて点灯したら、【戻る】ボタンを離します。
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。
- 5 リムーバブルディスクを開き、一括設定ファイルをコンピューターにコピーして保存します。



一括設定ファイルのファイル名はPJCONFDATA.binです。ファイル名を変更するときは、半角英数字のみを使用してPJCONFDATAの後に文字列を追加します。ファイル名のPJCONFDATAの部分を変更すると、ファイルが正しく認識できないことがあります。

コンピューターを使って一括設定する


コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続して、同じ型番のプロジェクターにメニュー設定をコピーできます。



USBケーブルを使用した一括設定機能は、以下のバージョンで使用できます。

- Windows Vista以降
- OS X 10.7.x以降

- 6 コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（OS X）をします。
- 7 USBケーブルを取り外します。
プロジェクターがスタンバイ状態になります。
- 8 コピー先のプロジェクターから電源コードを外し、すべてのインジケーターが消えていることを確認します。

- 9 USBケーブルを、コンピューターのUSB端子とコピー先のプロジェクターのUSB-B端子に接続します。
 - 10 リモコンまたは操作パネルの【メニュー】ボタンを押したまま、電源コードをプロジェクターに接続します。
 - 11 インジケータがすべて点灯したら、【メニュー】ボタンを離します。
コンピューター上で、プロジェクターがリムーバブルディスクとして認識されます。
 - 12 コンピューターに保存した一括設定ファイル（PJCONFDATA.bin）を、リムーバブルディスクの最上位のフォルダーにコピーします。
- 

一括設定ファイル以外のファイルやフォルダーをリムーバブルディスクにコピーしないでください。
- 13 コンピューター上でUSB機器の取り外し（Windows）、またはリムーバブルディスクの取り出し（OS X）をします。
 - 14 USBケーブルを取り外します。
インジケータが点滅になると、一括設定の書き込みが始まります。書き込みが正常に終了すると、プロジェクターがスタンバイ状態になります。

⚠ 注意



ファイルの書き込み中は、プロジェクターから電源コードを外さないでください。電源コードを外すと、プロジェクターが正常に起動しないことがあります。

▶ 関連項目

- ・「一括設定でエラーが発生したときは」 p.144

一括設定でエラーが発生したときは

一括設定でエラーが発生したときは、インジケータでお知らせします。インジケータの状態をご確認ください。

インジケータの状態	状態と対処法
 <ul style="list-style-type: none"> ・ランプ：橙 速点滅 ・温度：橙 速点滅 	<p>一括設定ファイルに異常があるか、USBメモリーが正しく接続されていない可能性があります。 USBメモリーを取り外し、プロジェクターの電源コードを抜いて差し直してから、もう一度お試しください。</p>
 <ul style="list-style-type: none"> ・電源：青 速点滅 ・ステータス：青 速点滅 ・ランプ：橙 速点滅 ・温度：橙 速点滅 	<p>一括設定ファイルの書き込みに失敗して、プロジェクターのファームウェアに異常が生じた可能性があります。 ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先に修理を依頼してください。</p>

プロジェクターをメンテナンスする

プロジェクターのレンズは定期的に掃除する必要があります。また、エアフィルターや吸排気口も掃除して、本機の内部温度が上昇しないようにしてください。

交換が必要な部品は、ランプ、エアフィルター、およびリモコンの電池のみです。他の部品を交換する必要があるときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

警告

掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてから行ってください。また、取扱説明書で指示している場合を除き、本機のケースを開けないでください。内部には電圧の高い部分が多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

▶ 関連項目

- 「レンズを清掃する」 [p.146](#)
- 「本機を清掃する」 [p.147](#)
- 「エアフィルターと吸排気口をメンテナンスする」 [p.148](#)
- 「ランプをメンテナンスする」 [p.150](#)
- 「リモコンの電池を交換する」 [p.156](#)

プロジェクターのレンズは定期的に掃除し、表面に付着したホコリや汚れに気付いたときにも掃除してください。

- レンズのホコリや汚れは、市販のメガネ拭きなどで軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布をレンズクリーナーで湿らせ、レンズを軽くふき取ります。レンズに液体を直接スプレーしないでください。

警告

レンズに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではランプが高温になっているため、引火による火災の原因となります。

注意

レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。また、エアダスターも使用しないでください。

本機の掃除をするときは、本機の電源をオフにして電源コードを抜いてください。

- 本機のコリや汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。本機に液体を直接スプレーしないでください。

注意

ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。本機のケースが変質、変色することがあります。また、エアダスターも使用しないでください。

エアフィルターは定期的にメンテナンスしてください。プロジェクターの内部温度が高くなっていることを示すメッセージが表示されたら、エアフィルターを掃除してください。エアフィルターの掃除は2000時間を目安に行ってください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行うことをお勧めします。

注意

定期的にメンテナンスをしないと、プロジェクターの内部温度が高くなったときにメッセージが表示されます。本機内部の温度が上昇すると、故障や光学部品の早期劣化の原因となります。メッセージが表示されたらすみやかにエアフィルターを掃除してください。

▶ 関連項目

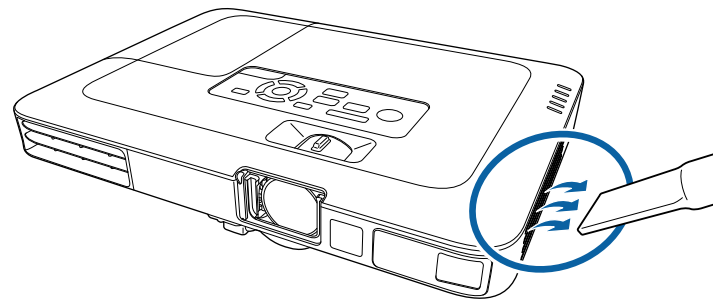
- ・「エアフィルターおよび吸排気口を清掃する」 [p.148](#)
- ・「エアフィルターを交換する」 [p.148](#)

エアフィルターおよび吸排気口を清掃する

エアフィルターおよび吸排気口は、汚れたときや掃除を促すメッセージが表示されたときに掃除してください。

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 コンピューター用の小型掃除機か、柔らかいブラシでホコリを丁寧に取り除きます。



エアフィルターは取り外しできるため、両面を掃除できます。エアフィルターは水洗いできません。洗剤や溶剤も使わないでください。

注意

エアダスターは使用しないでください。可燃性の物質が残留したり、精密部分にホコリが入り込むおそれがあります。

3 掃除をしても頻繁にメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアフィルターに交換してください。

エアフィルターを交換する

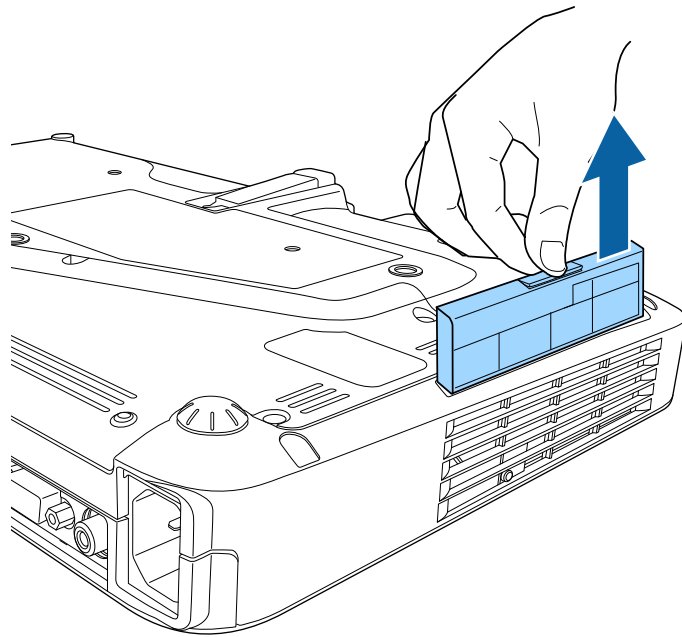
以下の場合、エアフィルターを交換してください。

- ・エアフィルターの清掃後に、清掃または交換することを促すメッセージが表示される
- ・エアフィルターが破損している

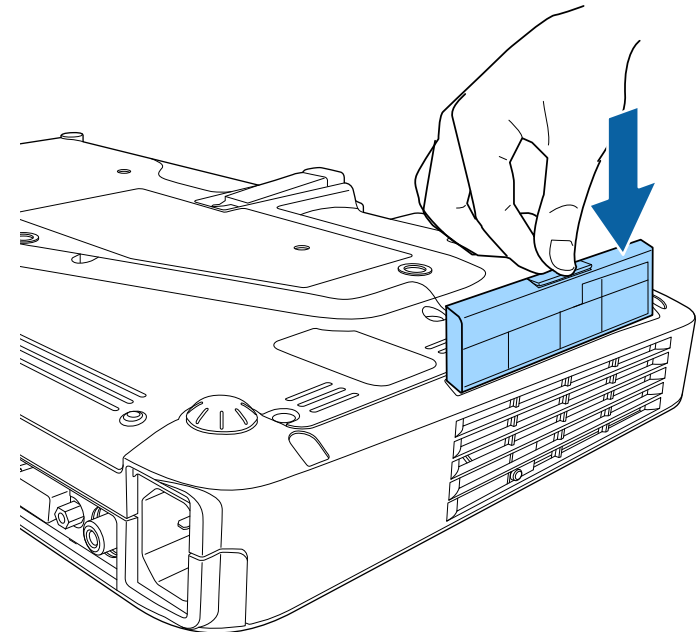
本機は天吊り設置したままでもエアフィルターの交換ができます。

1 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。

2 エアフィルターを取り外します。



3 新しいエアフィルターをプロジェクターに差し込み、カチッと音がするまで丁寧に押し込みます。



使用済みのエアフィルターは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。

- ・ フィルターの枠：ポリプロピレン
- ・ フィルター：ポリプロピレン

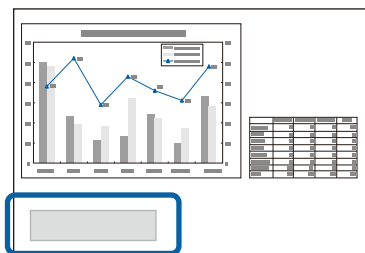
▶ 関連項目

- ・ 「消耗品」 [p.176](#)

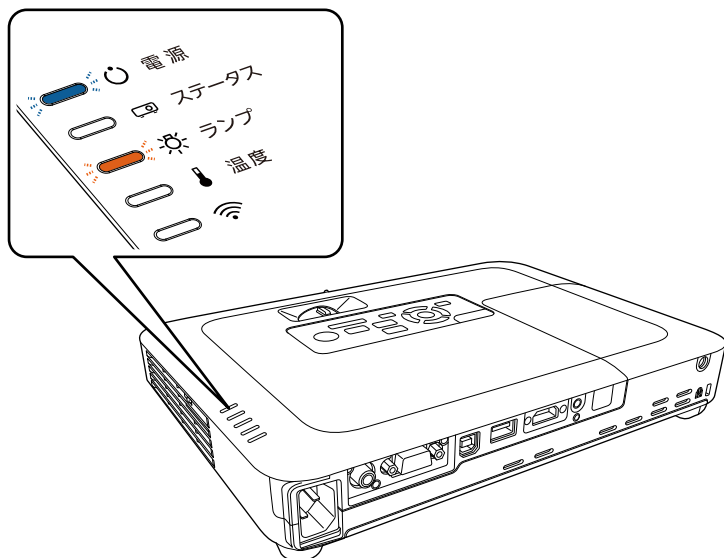
ランプの点灯時間は情報メニューで確認できます。

以下の場合、ランプを交換してください。

- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき
- ランプの交換を促すメッセージが表示されたとき（メッセージはランプ寿命の100時間前に到達したときに表示され、30秒経過すると消えます）



- 電源インジケータが青色に点滅して、ランプインジケータが橙色に点滅したとき



注意

- ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 電源オフ直後に電源をオンにする操作を繰り返さないでください。頻繁に電源オフ/オンを繰り返すと、ランプ寿命が短くなるおそれがあります。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、ランプ交換のメッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなることがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお勧めします。
- プロジェクターの性能を十分に発揮するために、エプソン純正品の交換用ランプをお使いください。純正品以外のランプを使用すると、プロジェクター本体に品質面、安全面で悪影響を及ぼす可能性があります。純正品以外のランプを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内でも有償修理となります。

▶ 関連項目

- 「ランプを交換する」 [p.150](#)
- 「ランプ点灯時間を初期化する」 [p.154](#)
- 「本機仕様」 [p.182](#)

ランプを交換する

本機は天吊り設置したままでもランプの交換ができます。

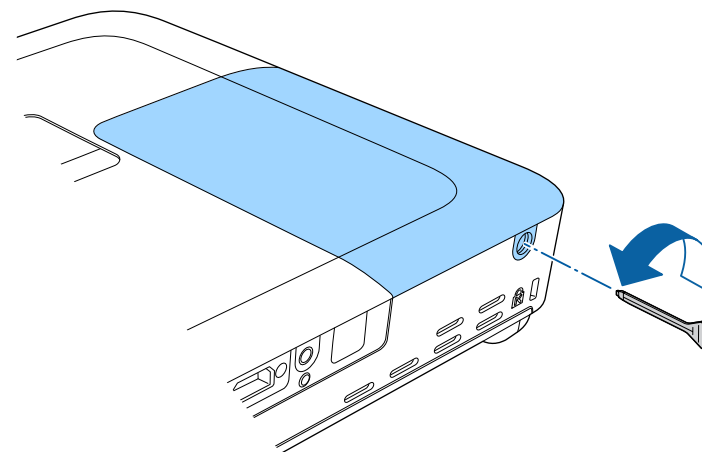
⚠ 警告

- ・ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、電源を切ってから約1時間必要です。
- ・ランプの分解・改造は、絶対にしないでください。分解・改造したランプをセットして本機を使用すると、火災・感電・事故の原因となります。

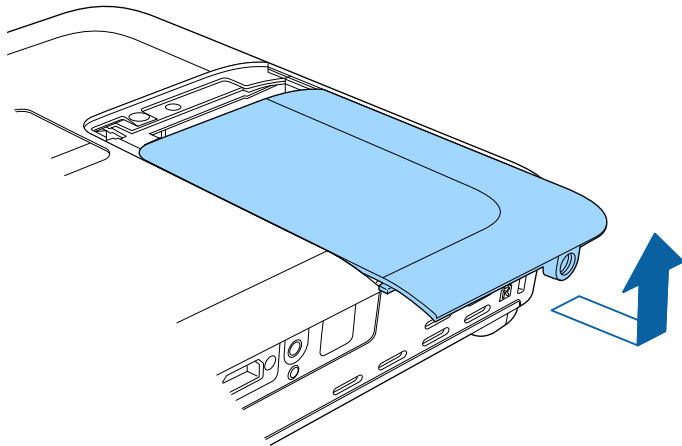
- 1** 本機の電源を切り、電源コードを抜きます。
- 2** ランプを最低1時間冷まします。
- 3** ランプカバーの固定ネジを、交換用ランプに同梱のドライバーまたは+のドライバーでゆるめます。

⚠ 警告

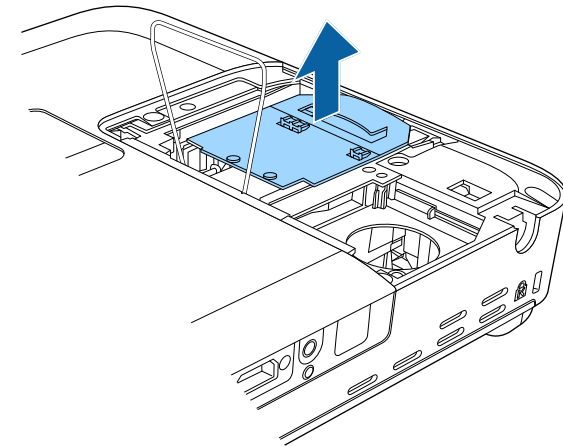
ランプが点灯しなくなり交換するときは、ランプが割れている可能性があります。本機を天吊り設置していてランプ交換を行うときは、ランプが割れていることを想定しランプカバーの真下に立たずに横から作業してください。また、ランプカバーをそっと取り外してください。ランプカバーを取り外す際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。万一、目や口にガラス破片が入ったときは、直ちに医師の診察を受けてください。



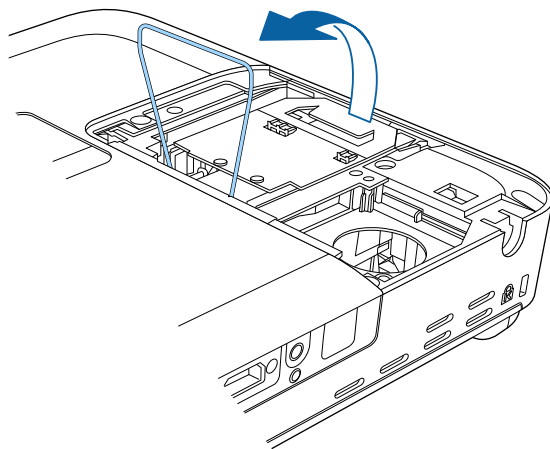
4 ランプカバーをまっすぐスライドさせて、持ち上げて外します。



6 ランプのハンドルを引き上げ、ランプを取り出します。

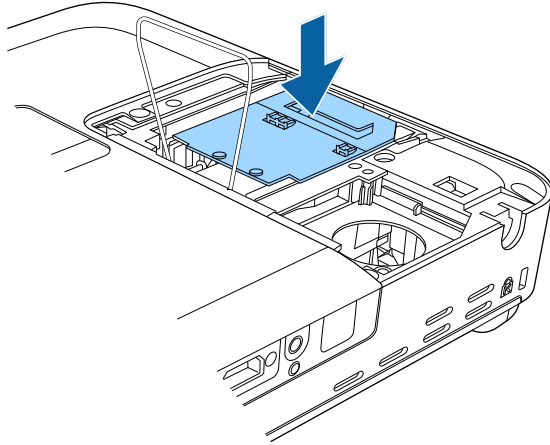


5 ランプ固定バネを上げます。

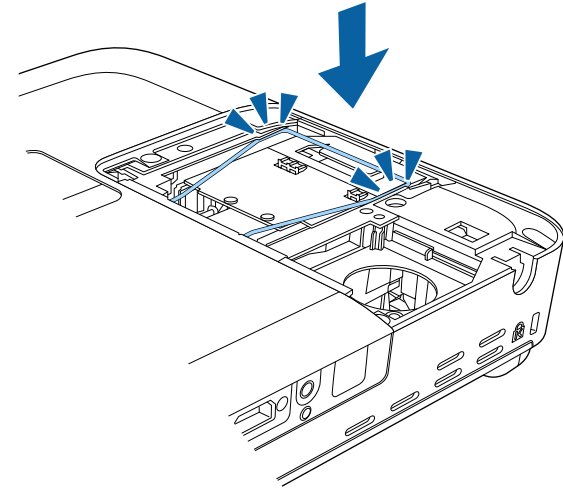


- ・ランプが割れているときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・本製品のランプには水銀（Hg）が含まれています。使用済みのランプは、地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。会社等でお使いのときは、会社の廃棄ルールに従ってください。一般ゴミに混ぜないでください。

- 7** 新しいランプを取り付けます。ランプを収納部の形に合う向きでガイドレールに沿って入れ、しっかりと押し込みます。



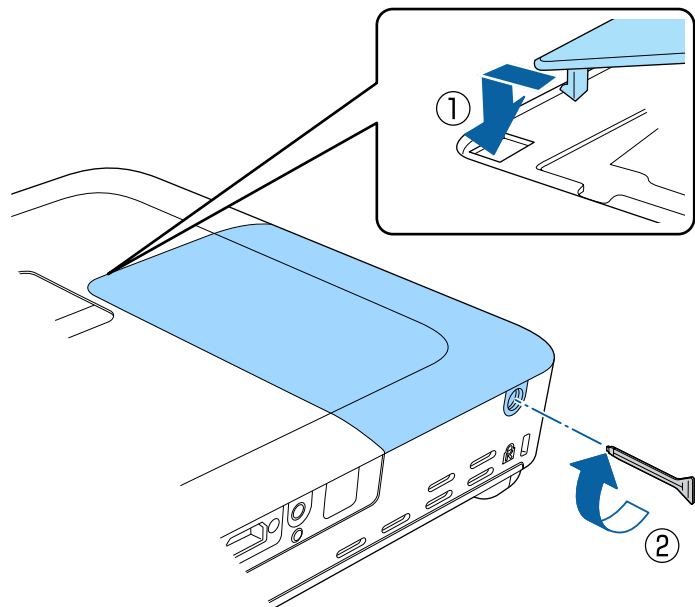
- 8** ランプ固定バネを戻して、左右2箇所がカチッと音がるまでしっかりと押し込みます。



注意

ランプのガラス部分に触れないでください。

9 ランプカバーを取り付けます。



- ・ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だと点灯しません。
- ・ランプカバーの浮きや変形がないことを確認してから使用してください。

ランプ点灯時間をゼロに初期化して、新しいランプの点灯時間をカウントします。

▶ 関連項目

- ・「消耗品」 p.176

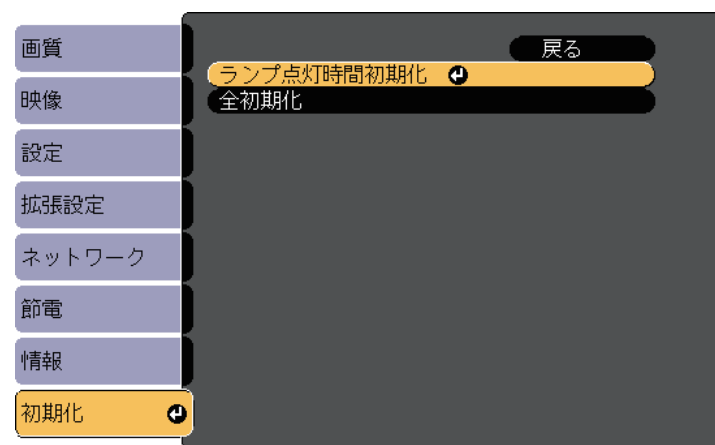
ランプ点灯時間を初期化する

本機はランプ点灯時間を記憶し、累計が交換時間に達するとメッセージやインジケータでお知らせします。ランプ交換を実施した後は、初期化メニューでランプ点灯時間の累計を初期化してください。



ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外に行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【メニュー】ボタンを押します。
- 3 [初期化] メニューを選択し、【決定】ボタンを押します。
- 4 [ランプ点灯時間初期化] を選択し、【決定】ボタンを押します。



ランプ点灯時間を初期化するかを確認するメッセージが表示されます。

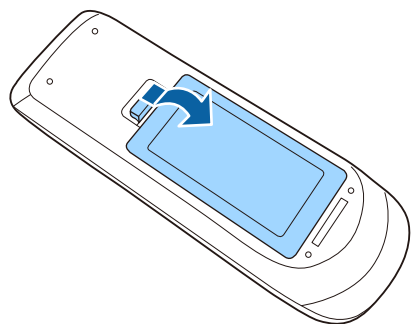
- 5** 【はい】を選択し、【決定】ボタンを押します。
- 6** 【メニュー】ボタンまたは【戻る】ボタンを押してメニューを終了します。

リモコンの交換用電池は単3形マンガンあるいはアルカリ乾電池2本を用意してください。電池がなくなったら電池を交換してください。

注意

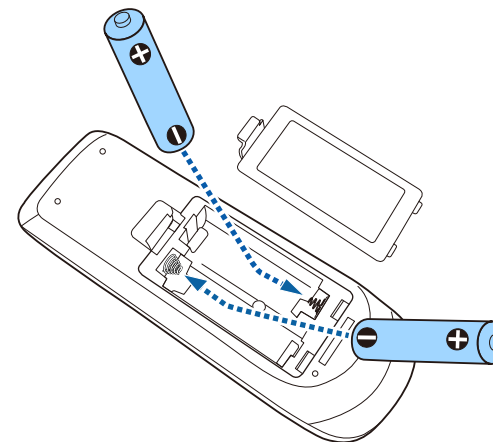
電池を取り扱う前に、『安全にお使いいただくために』を必ずお読みください。

- 1 電池カバーを外します。



- 2 古い電池を取り外します。

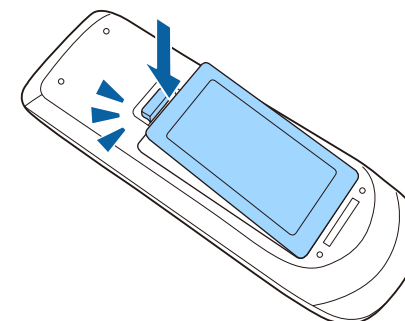
- 3 電池の+と-の向きを確認してリモコンにセットします。



警告

電池ホルダー内の表示を確認し、(+) (-) を正しく入れてください。電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品腐食の原因となることがあります。

- 4 電池カバーを閉め、カチッと音がするまで押し込みます。



困ったときに

想定されるトラブルと、その対処方法について説明します。

▶ 関連項目

- ・ 「トラブルの対処方法」 [p.158](#)
- ・ 「インジケータの見方」 [p.159](#)
- ・ 「ヘルプの見方」 [p.162](#)
- ・ 「映像や音声に関するトラブル」 [p.163](#)
- ・ 「プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブル」 [p.169](#)
- ・ 「ネットワークに関するトラブル」 [p.171](#)

プロジェクターが正しく動作しないときは、一度電源を切り、電源コードを差し直してから再度電源を入れます。

問題が解決しないときは、以下を確認します。

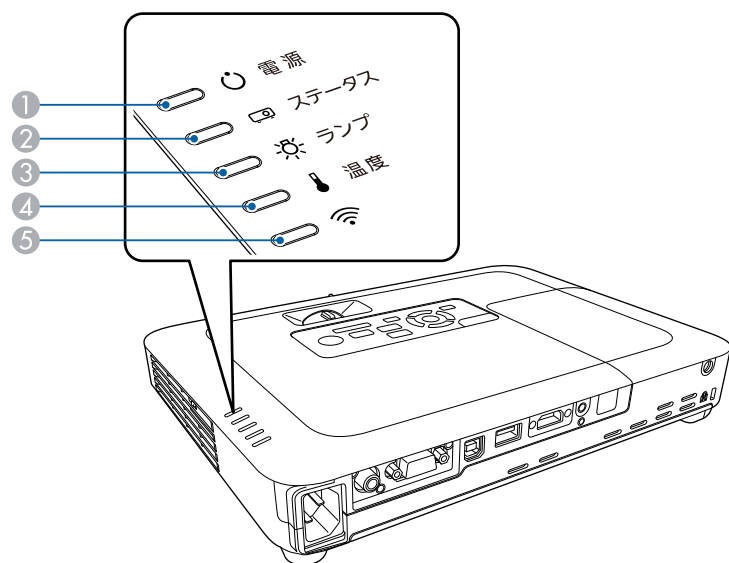
- ・インジケータで本機の状態を確認する。
- ・ヘルプでトラブル発生時の解決方法を確認する。
- ・本書のトラブル一覧で対処方法を確認する。

問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータは、本機の状態をお知らせします。インジケータの色と状態を確認し、以下の表から対処方法を確認してください。




・各インジケータがこの表にない状態のときは、ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。




- ① 電源インジケータ
- ② ステータスインジケータ
- ③ ランプインジケータ
- ④ 温度インジケータ
- ⑤ 無線LANインジケータ

プロジェクターの状態

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：青点灯 ステータス：青点灯 ランプ：消灯 温度：消灯	投写中の状態です。
電源：青点灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：消灯	ウォームアップ中またはシャットダウン中です。 ウォームアップ中の場合は、約30秒経つと映像が表示されます。 ウォームアップ中、シャットダウン中は、すべてのボタン操作が無効になります。
電源：青点灯 ステータス：消灯 ランプ：消灯 温度：消灯	スタンバイ状態またはスリープモードです。 電源ボタンを押すと、投写を開始します。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 ランプ：状態依存 温度：橙点滅	内部温度が高くなっています。 ・エアフィルター・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 ・エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 ・高温にならない環境で使用するようにします。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：橙点灯	内部高温異常（オーバーヒート）状態です。ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。電源を切った状態で5分間待ち、温度を下げます。 <ul style="list-style-type: none"> エアフィルター・排気口がふさがれていないか、周辺の物や壁で通気が妨げられていないか確認します。 エアフィルターが目詰まりしているときは、掃除または交換します。 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[拡張設定]メニューで[高地モード]を[オン]にします。  [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点灯 温度：消灯	ランプ異常、ランプ点灯失敗状態です。 <ul style="list-style-type: none"> ランプを取り出してランプが割れていないか確認します。必要に応じて、ランプを取り付け直すか、交換します。 エアフィルターを掃除します。 標高1,500m以上の場所でお使いのときは、[拡張設定]メニューで[高地モード]を[オン]にします。  [拡張設定] > [動作設定] > [高地モード] 問題が解決しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。 ランプカバー開放状態です。 <ul style="list-style-type: none"> ランプとランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプとランプカバーの取り付けが不完全なときはランプが点灯しません。
電源：青点滅 ステータス：状態依存 ランプ：橙点滅 温度：状態依存	ランプの交換勧告です。新しいランプに交換します。ランプ寿命を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性があります。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：消灯 温度：橙点滅	ファン異常またはセンサー異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点滅 温度：消灯	内部異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

インジケータの状態	状態と対処方法
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点滅 温度：橙点滅	オートアイリス異常状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
電源：消灯 ステータス：青点滅 ランプ：橙点灯 温度：橙点灯	電源系異常（バラスト）状態です。ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

無線LANの状態

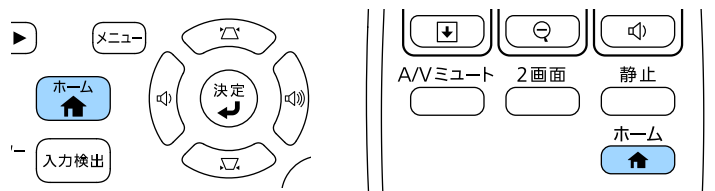
無線LANインジケータの状態	状態と対処方法
青点灯	無線LANを使用できます。
速い青点滅	機器に接続中です。
遅い青点滅	異常状態です。本機の電源を切り、再度電源を入れます。 問題が解決しないときは、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
消灯	無線LANを使用できません。無線LANの設定が正しいことを確認してください。

▶ 関連項目

- ・「エアフィルターおよび吸排気口を清掃する」 [p.148](#)
- ・「エアフィルターを交換する」 [p.148](#)
- ・「ランプを交換する」 [p.150](#)

トラブルの解決方法を表示します。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押します。

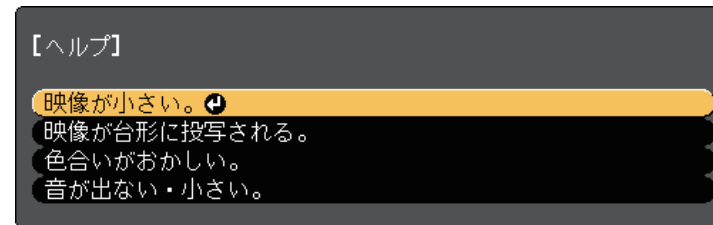


- 3 ホーム画面で【ヘルプ】を選択します。



ヘルプメニューが表示されます。

- 4 上下ボタンを使用して、解決したい問題を選択します。



- 5 【決定】ボタンを押して、対処方法を表示します。
- 6 確認が終わったら、以下のいずれかの操作をします。
 - ・ 他の問題を選ぶ場合は【戻る】ボタンを押します。
 - ・ ヘルプを終了する場合は【メニュー】ボタンを押します。

投写映像や音声に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「映像が表示されない」 [p.163](#)
- ・「USBディスプレイの映像が表示されない」 [p.164](#)
- ・「「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される」 [p.164](#)
- ・「「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される」 [p.165](#)
- ・「映像の一部が表示されない」 [p.165](#)
- ・「映像がゆがむ」 [p.166](#)
- ・「映像にノイズが入る、乱れる」 [p.166](#)
- ・「映像がぼやける」 [p.167](#)
- ・「映像の明るさや色合いが違う」 [p.167](#)
- ・「音が出ない、小さい」 [p.168](#)
- ・「PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない」 [p.168](#)

映像が表示されない

映像が表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・電源ボタンを押して電源を入れます。
- ・レンズカバーを完全に開けます。
- ・リモコンの【A/Vミュート】ボタンを押して、映像が一時的に消されていないか確認します。
- ・必要なケーブルがすべて接続されていること、本機の電源が入っていること、接続された映像機器の電源が入っていることを確認します。
- ・入力映像が黒一色でないことを確認します（コンピューターの映像投写時のみ）。
- ・本機のメニュー設定が正しいことを確認します。
- ・スタンバイ状態、スリープモードから復帰するには、本機の電源ボタンを押します。また、接続されたコンピューターがスリープ状態

でないか、黒一色のスクリーンセーバーが表示されていないか確認します。

- ・[映像]メニューの設定が接続している機器に合っているか確認します。
- ・[画質]メニューの[明るさ]を調整します。
- ・[明るさ切替]を[高]に設定します。
 - [節電] > [明るさ切替]
- ・[拡張設定]メニューの[表示設定]で[メッセージ表示]を[オン]に設定します。
- ・操作パネルのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、ボタン操作がロックされている可能性があります。[設定]メニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
 - [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]
- ・リモコンのボタンを押してもプロジェクターが反応しないときは、リモコン受光部の設定を確認します。
- ・Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- ・Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。
- ・著作権保護された動画をコンピューターで再生すると、プロジェクターから投写されないことがあります。詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご覧ください。

▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 [p.123](#)
- ・「画質メニュー」 [p.121](#)
- ・「節電メニュー」 [p.136](#)
- ・「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.93](#)

USBディスプレイの映像が表示されない

USBディスプレイで映像が正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【USB】ボタンを押します。
- USBディスプレイドライバーが正しくインストールされていることを確認します。必要な場合は手動でインストールします。
- [拡張設定] メニューの [USB Type B] が [USB Display] に設定されていることを確認します。
- OS Xの場合： [Dock] の [USB Display] アイコンを選択します。USB Displayアイコンが [Dock] に表示されないときは、[アプリケーション] フォルダーの [USB Display] をダブルクリックします。
[Dock] の [USB Display] アイコンメニューで [終了] を選択すると、次回USBケーブルを接続したときにUSBディスプレイは自動的に起動しません。
- Windows Media Centerで映像を投写するときは、全画面表示を使用せず、縮小画面表示にしてください。
- Windows DirectXを使用するアプリケーションは、正しく表示されないことがあります。
- マウスカーソルがちらつくときは、[Epson USB Displayの設定] で、[デスクトップ画面のマウスカーソルをきれいにする] を選択します。
- [Epson USB Displayの設定] で、[レイヤードウィンドウの転送] をオフにします。
- 解像度が1080p (1920 × 1080) のプロジェクターで投写中にコンピュータの解像度を変更すると、映像の品質が低下することがあります。

▶ 関連項目

- 「USBケーブルを接続して映像と音声を出力する」 [p.20](#)

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示される

「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- 【入力検出】ボタンを押し、映像が表示されるまで数秒待ちます。
- 接続された映像機器の電源を入れ、必要な場合は再生を押してプレゼンテーションや動画の再生を開始します。
- 投写に必要なケーブルがすべて接続されているか確認します。
- プロジェクターと映像機器を直接接続してください。
- ノート型コンピュータから投写するときは、コンピュータの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。
- 接続されたコンピュータがスリープ状態でないことを確認します。
- 必要に応じて、本機および接続された映像機器の電源を一度切ってから、再度電源を入れます。
- HDMIケーブルで接続しているときは、より短いケーブルに交換して試してください。

▶ 関連項目

- 「ノート型コンピュータから映像を出力する」 [p.164](#)
- 「Macのノート型コンピュータから映像を出力する」 [p.165](#)

ノート型コンピュータから映像を出力する

ノート型コンピュータから投写時に「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピュータの画面出力を切り替えて、プロジェクターに映像を表示します。

- 1 ノート型コンピュータの [Fn] キーを押しながら、モニターのアイコンや [CRT/LCD] が印字されているキーを押します。（詳しくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。）映像が表示されるまで数秒待ちます。

- 2 ノート型コンピューターの画面とプロジェクターの両方で映像を表示するには、もう一度同じキーを押します。
- 3 ノート型コンピューターとプロジェクターで同じ映像が表示されないときは、Windowsの [ディスプレイ] ユーティリティで、外部モニター端子が有効であるか、拡張ディスプレイが無効になっているかを確認します。（詳しくはお使いのコンピューターまたはWindowsの取扱説明書をご覧ください。）
- 4 必要に応じて、ビデオカードの設定を確認し、マルチディスプレイオプションを [クローン] または [ミラー] に設定します。

Macのノート型コンピューターから映像を出力する

Macのノート型コンピューターから投写時に、「映像信号が入力されていません」というメッセージが表示されるときは、コンピューターの設定でディスプレイをミラーリングします。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

- 1 [システム環境設定] を開き、[ディスプレイ] を選択します。
- 2 必要に応じて、[ディスプレイ] または [カラーLCD] を設定します。
- 3 [調整] または [アレンジメント] をクリックします。
- 4 [ディスプレイをミラーリング] を選択します。

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示される

「この信号は本プロジェクターでは受けられません」というメッセージが表示されるときは、次の対処方法を確認してください。

- [映像] メニューで正しい入力信号方式が選択されているか確認します。
- コンピューターのディスプレイ解像度が本機の対応解像度、周波数と合っているか確認します。必要に応じて、コンピューターのディスプレイ解像度を変更します。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

▶ 関連項目

- 「映像メニュー」 p.123
- 「対応解像度」 p.180

映像の一部が表示されない

映像が部分的にしか表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- リモコンの【自動調整】ボタンを押して映像信号を最適化します。
- [映像] メニューの [表示位置] で映像の表示位置を調整します。
- リモコンの【アスペクト】ボタンを押して、アスペクト比を変更します。
- 接続された機器の信号に応じて、[映像] メニューの [入力解像度] を設定します。
- 【Eズーム】ボタンで映像をズームしたときは、【戻る】ボタンを押してEズームを解除します。
- コンピューターのディスプレイ設定でデュアルディスプレイが無効になっているか、本機の対応解像度に合った設定がされているか確

認めます。（詳しくはお使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。）

- ・プレゼンテーションファイルが本機の対応解像度を超えていないか確認します。（詳しくはお使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。）
- ・正しい設置モードを選択していることを確認します。[拡張設定]メニューの[設置モード]で選択できます。

▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 p.123
- ・「拡張設定メニュー」 p.127
- ・「対応解像度」 p.180

映像がゆがむ

投写画面がゆがむときは、次の対処方法を確認してください。

- ・投写面に対してプロジェクターを平行に設置します。
- ・[設定]メニューで、自動補正をオンにします。本機を動かすと、自動的に投写映像が補正されます。
 - ☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテヨコ補正]
 - ☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテ補正]
- ・【フレームフィット】ボタンを押し、画面の指示に従って映像の形状と位置を補正します（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。
- ・フットを使って映像の高さを調整したときは、台形補正ボタンを押して、映像のゆがみを補正します。
- ・Quick Cornerを使って、コーナーの形状を個別に補正します。
 - ☛ [設定] > [台形補正] > [Quick Corner]

▶ 関連項目

- ・「自動タテヨコ補正」 p.42
- ・「自動タテ補正」 p.42
- ・「フレームフィット機能で映像形状を自動で補正する」 p.43

- ・「台形補正ボタンで映像のゆがみを補正する」 p.44
- ・「Quick Corner機能で映像のゆがみを補正する」 p.45

映像にノイズが入る、乱れる

投写映像に電子的な干渉（ノイズ）や妨害が入るときは、次の対処方法を確認してください。

- ・本機と映像機器を接続しているケーブルの状態を確認します。ケーブルが以下の状態であることを確認してください。
 - ・干渉を受けないように、電源コードから離れている
 - ・ケーブルの両端が確実に接続されている
 - ・延長ケーブルを使用していない
- ・[映像]メニューの設定が接続している機器に合っているか確認します。
- ・[画質]メニューの[プログレッシブ変換]と[ノイズリダクション]が設定できる入力ソースのときは、これらの設定をします。
 - ☛ [画質] > [アドバンスド] > [プログレッシブ変換]
 - ☛ [画質] > [イメージ強調] > [ノイズリダクション]
- ・コンピューターのディスプレイ解像度やリフレッシュレートが本機の対応解像度、リフレッシュレートと合っているか確認します。
- ・コンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押して[トラッキング]と[同期]の設定を最適化します。映像が正しく調整されないときは、[映像]メニューで[トラッキング]と[同期]を設定します。
- ・[映像]メニューで[入力解像度]を[オート]に設定します。
- ・映像のゆがみを補正したときは、[画質]メニューで[シャープネス]を低い値に設定し、表示画質を向上させます。
- ・延長ケーブルを使用して電源に接続しているときは、延長ケーブルを使わずに投写して、映像にノイズが入らないか確認します。
- ・USBディスプレイを使って投写するときは、[Epson USB Displayの設定]で[レイヤードウィンドウの転送]をオフにします。

▶ 関連項目

- ・「映像メニュー」 p.123
- ・「画質メニュー」 p.121
- ・「対応解像度」 p.180

映像がぼやける

投写映像がぼやけるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・映像のピントを合わせます。
- ・本機のレンズを掃除します。



寒い場所から暖かい場所に持ち込んだときは、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。お使いになる1時間くらい前に、通電しない状態で本機を設置するようにします。

- ・投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ・映像の高さ調整のために本機の傾斜角度を大きくすると映像がゆがみます。傾斜角度を小さくして台形補正の調整値を小さくします。
- ・フレームフィットを使って映像の形状と位置を補正するときは、適切な投写距離範囲内に本機を設置します。設置できないときは、手動で映像のゆがみを補正します（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。
- ・[設定]メニューで、自動タテ補正をオンにします。
 - ☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテヨコ補正]
 - ☛ [設定] > [台形補正] > [タテヨコ] > [自動タテ補正]
- ・[画質]メニューで[シャープネス]を調整して、表示画質を上げます。
- ・コンピューターから映像を投写しているときは、リモコンの【自動調整】ボタンを押してトラッキングと同期の設定を最適化します。映像に縦の縞模様が出たり、全体的にぼやけるときは、均一なパターン画面を表示し、[映像]メニューで[トラッキング]と[同期]を設定します。

- ・コンピューターから映像を投写しているときは、解像度を下げるか、本機の解像度に合わせて解像度を変更します。

▶ 関連項目

- ・「自動タテヨコ補正」 p.42
- ・「自動タテ補正」 p.42
- ・「映像メニュー」 p.123
- ・「画質メニュー」 p.121
- ・「対応解像度」 p.180
- ・「フォーカスリングで映像のピントを調整する」 p.50
- ・「レンズを清掃する」 p.146
- ・「フォーカスボタンで映像のピントを調整する」 p.49

映像の明るさや色合いが違う

投写映像が暗すぎたり明るすぎるとき、また色合いが正しく表示されないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・リモコンの【カラーモード】ボタンを押して、映像と投写環境に合うカラーモードを選択します。
- ・お使いのビデオ機器の設定を確認します。
- ・[画質]メニューで[明るさ]、[コントラスト]、[色合い]、[色温度]、[色の濃さ]などを設定します。
- ・[映像]メニューで[入力信号方式]または[ビデオ信号方式]を正しく設定します。
 - ☛ [映像] > [アドバンスト] > [入力信号方式]
 - ☛ [映像] > [アドバンスト] > [ビデオ信号方式]
- ・[画質]メニューで[ガンマ]、[RGBCMY]を正しく設定します。
 - ☛ [画質] > [アドバンスト]
- ・必要なケーブルが本機とビデオ機器に確実に接続されていることを確認します。ケーブルが長いときは、短いケーブルで接続します。

- ・ [明るさ切替] で [低] を選択しているときは、 [高] に設定します。

☛ [節電] > [明るさ切替]



高地や高温になりやすい場所では、映像が暗めに表示されます。このときは [明るさ切替] が設定できないことがあります。

- ・ 投写距離の推奨範囲内に設置します。
- ・ ランプの交換時期が近づくと映像が暗くなったり色合いが悪くなったりします。新しいランプと交換してください。

▶ 関連項目

- ・ 「カラーモードを設定する」 [p.56](#)
- ・ 「映像メニュー」 [p.123](#)
- ・ 「画質メニュー」 [p.121](#)
- ・ 「節電メニュー」 [p.136](#)

音が出ない、小さい

音が出ない、小さすぎるなどの問題があるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・ 本機の音量設定を調整します。
- ・ 一時的に映像と音を消したときは、リモコンの【AVミュート】ボタンを押して、映像と音を再開します。
- ・ コンピューター、ビデオ機器の音量が大きくなっているか、音声出力が正しく設定されているか確認します。
- ・ オーディオケーブルを一度外し、再度接続します。
- ・ プロジェクターとビデオ機器のケーブルが正しく接続されているか確認します。
- ・ HDMIケーブルで接続している機器の音が出ないときは、接続機器の音声出力をPCMに設定します。

- ・ 接続するオーディオケーブルは「抵抗なし」と表記されているものを使用します。
- ・ USBディスプレイを使って投写するときは、 [Epson USB Displayの設定] で [音声をプロジェクターで出力する] をオンにします。
- ・ [拡張設定] メニューで [AV出力設定] を正しい音声入力に設定します。
- ・ MacとプロジェクターをHDMIケーブルで接続していて音が出ないときは、MacがHDMI端子からの音声出力に対応しているか確認します。対応していない場合はオーディオケーブルを接続します。
- ・ [節電] メニューの [明るさ切替] が [低] に設定されていても、ファンが一時的に高速で回転して、回転音が大きくなる場合があります。これは異常ではありません。
- ・ コンピューターの音量を最小、プロジェクターの音量を最大に設定していると、ノイズが入ることがあります。コンピューターの音量を上げて、プロジェクターの音量を下げてください。（EasyMP Multi PC Projection、USBディスプレイを使用する場合）

▶ 関連項目

- ・ 「プロジェクターを接続する」 [p.20](#)
- ・ 「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・ 「節電メニュー」 [p.136](#)
- ・ 「音量ボタンで音量を調整する」 [p.62](#)

PC Freeで画像ファイル名が正しく表示されない

ファイル名の文字数が表示幅を超える場合や、非対応の記号が含まれている場合は、PC Free機能ではファイル名が短縮または変更されます。ファイル名を短縮もしくは変更してください。

プロジェクター、リモコンの操作に関するトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「電源が入らない、予期せず切れる」 [p.169](#)
- ・「リモコンで操作できない」 [p.169](#)
- ・「パスワードが入力できない」 [p.170](#)
- ・「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される」 [p.170](#)
- ・「タッチプレゼンター機能が動作しない」 [p.170](#)

電源が入らない、予期せず切れる

電源ボタンを押しても本機の電源が入らない、予期せず電源が切れるときは、次の対処方法を確認してください。

- ・電源コードが本機とコンセントに確実に接続されていることを確認します。
- ・セキュリティのため、操作パネルのボタン操作がロックされていることがあります。[設定]メニューで[操作ボタンロック]を解除するか、リモコンを使用して本機の電源を入れます。
☛ [設定] > [ロック設定] > [操作ボタンロック]
- ・電源コードが故障している可能性があります。電源コードを抜いて、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- ・本機のランプが予期せず消えるときは、一定時間操作が行われずスリープモードになっている可能性があります。いずれかのボタンを押して、スリープモードから復帰します。スリープモードを無効にするには、[節電]メニューで[スリープモード]を[オフ]にします。
- ・本機のランプが予期せず消えるときは、AVミュートタイマーが有効になっている可能性があります。AVミュートタイマーを無効にする

には、[節電]メニューで[AVミュートタイマー]を[オフ]にします。

- ・本機のランプが予期せず消えるときは、レンズカバータイマーが有効になっている可能性があります。レンズカバータイマーを無効にするには、[節電]メニューで[レンズカバータイマー]を[オフ]にします。
- ・本機のランプが消え、ステータスインジケータが点滅して温度インジケータが点灯しているときは、本機の内部高温異常（オーバーヒート）で電源がオフになっています。
- ・リモコンの電源ボタンを押しても本機の電源が入らないときは、リモコンの電池を確認します。また、[設定]メニューの[リモコン受光部]で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- ・プロジェクターの設定によって、スタンバイ状態でもファンが回転することがあります。また、スタンバイ状態から電源をオンにしたときに、ファンが大きな音を立てて回転することがありますが、異常ではありません。

▶ 関連項目

- ・「節電メニュー」 [p.136](#)
- ・「インジケータの見方」 [p.159](#)
- ・「設定メニュー」 [p.125](#)
- ・「操作ボタンロックを解除する」 [p.93](#)

リモコンで操作できない

本機がリモコン操作に反応しないときは、次の対処方法を確認してください。

- ・リモコンの電池が正しくセットされていること、電池が切れていないことを確認します。必要に応じて、電池を交換します。
- ・リモコン信号が届く距離、角度からリモコンを操作します。

- 本機がウォームアップ中またはシャットダウン中でないか確認します。
- リモコンのボタンが押し込まれた状態になっていないか確認します。その状態ではリモコンが操作できないことがあります。ボタンを元の状態に戻してください。
- 蛍光灯の強い光、直射日光、赤外線機器の信号が、本機のリモコン受光部に干渉することがあります。照明の明るさを落とす、または直射日光や赤外線干渉を避けられる場所に本機を移動してください。
- [設定] メニューの [リモコン受光部] で、いずれかの受光部がオンになっていることを確認します。
- [リモコン受光部] がオフに設定されているときは、リモコンの【メニュー】ボタンを15秒以上押したままにして、この設定を初期値に戻します。
- プロジェクターIDを設定しているときは、プロジェクターIDと同じ番号をリモコンで選択してリモコン操作を有効にします。
- リモコンを紛失した場合は、新たにリモコンをお買い求めいただけます。

▶ 関連項目

- 「リモコンを操作する」 p.28
- 「設定メニュー」 p.125
- 「操作対象のプロジェクターIDをリモコンで選択する」 p.86
- 「リモコンの電池を交換する」 p.156

パスワードが入力できない

パスワードを入力できない、または忘れたときは、次の対処方法を確認してください。

- パスワードを設定せずに、パスワードプロテクトを有効にしていることがあります。初期パスワード**0000**を入力します。

- 誤ったパスワードを何度も入力すると、問い合わせコードを示すメッセージが表示されます。そのコードをメモして、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。パスワードに関してお問い合わせをいただいた際は、お客様のお名前や連絡先をお聞きし、ご本人であることを確認させていただきます。
- リモコンを紛失したときはパスワードを入力できません。新たにリモコンをお買い求めください。

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される

「時刻を保持する電池残量が低下しています」というメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

タッチプレゼンター機能が動作しない

タッチプレゼンター機能が動作しないときは、次の対処方法を確認してください。

- USBケーブルが正しく接続されているか確認します。
- [明るさ切替] を [高] に設定します。
☛ [節電] > [明るさ切替]
- 室内の照明を暗くします。投写画面の一部に直射日光や強い光が当たっていないか確認します。
- 室内の明るさが一定に保たれているか確認します。
- スクリーンなど投写面が白色であることを確認します。投写面が白色でないときは、タッチプレゼンター機能が動作しないことがあります。

ネットワーク経由でプロジェクターを使用するときに想定されるトラブルの対処方法を確認してください。

▶ 関連項目

- ・「無線LAN認証できない」 [p.171](#)
- ・「Webブラウザを使って設定を変更できない」 [p.171](#)
- ・「ネットワーク経由で投写した映像が乱れる」 [p.171](#)
- ・「NFCタグが読み取れない」 [p.172](#)
- ・「Screen Mirroringで接続できない」 [p.172](#)
- ・「Screen Mirroringの映像・音声が乱れる」 [p.172](#)

無線LAN認証できない

無線LANの認証に失敗するときは、次の対処方法を確認してください（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。

- ・無線LANが正しく設定されていても認証できないときは、[拡張設定]メニューで[日付&時刻]を設定し直してください。
 - ☛ [拡張設定] > [動作設定] > [日付&時刻]
- ・[ネットワーク]メニューで[セキュリティー]の設定を確認します。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [無線LAN]

▶ 関連項目

- ・「拡張設定メニュー」 [p.127](#)
- ・「ネットワークメニュー - 無線LANメニュー」 [p.132](#)

Webブラウザを使って設定を変更できない

Webブラウザを使って本機の設定を変更できないときは、正しいユーザー名とパスワードを確認します。

- ・[Web制御画面]の[ベーシックコントロール]を開くときは、ユーザー名に**EPSONREMOTE**と入力します。（ユーザー名は変更できません。）
- ・ベーシックコントロール機能のパスワードには、[ネットワーク]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは**guest**です。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Remoteパスワード]
- ・[Web制御画面]の[詳細設定]を開くときは、ユーザー名に**EPSONWEB**と入力します。（ユーザー名は変更できません。）
- ・詳細設定、OSDコントロールパッドのパスワードには、[ネットワーク]メニューで設定しているパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは**admin**です。
 - ☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Web制御パスワード]
- ・プロジェクターが接続しているネットワークへのアクセス権を持っていることを確認します。
- ・ご使用のWebブラウザで、プロキシサーバーを使用して接続するように設定されていると、Web制御画面を表示できません。プロキシサーバーを使用しないで接続するように設定してください。



ユーザー名、パスワードの大文字小文字は区別されます。

▶ 関連項目

- ・「ネットワークメニュー - 基本設定メニュー」 [p.131](#)

ネットワーク経由で投写した映像が乱れる

ネットワーク経由で投写した映像が乱れるときは、次の対処方法を確認してください。

- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターの間に障害物がないかを確認し、電波状況がよくなるようにそれらの位置を変更します。
- アクセスポイントとコンピューターやモバイルデバイス、プロジェクターが離れすぎていないか確認します。離れすぎているときは、近づけて接続します。
- 映像の表示が遅いときや、投写映像にノイズが入るときは、Bluetoothを使用する機器や電子レンジなどからの干渉がないか確認してください。干渉の可能性のある機器を遠ざけるか、無線帯域を確保します。
- 映像の表示が遅いときは、接続している機器の数を減らしてください。

NFCタグが読み取れない

NFCタグが読み取れないときは、次の対処方法を確認してください（EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W）。

- Android端末がスリープモードまたは操作がロックされている状態でないことを確認します。
- Android端末のNFCリーダーを起動してください。
- Android端末のNFCリーダー部分とプロジェクターのNFCタグの位置を合わせるように、Android端末をプロジェクターにかざしてください。

Screen Mirroringで接続できない

Screen Mirroringでプロジェクターに接続できないときは、次の対処方法を確認してください（EB-1795F/EB-1785W）。

- プロジェクターの設定を確認します。

- [ネットワーク] メニューで [Screen Mirroring] を [オン] に設定します。
- [ネットワーク] メニューで [Screen Mirroring] を [オフ] に設定し、再度 [オン] に設定します。
- [動作モード] を切り替えて、接続します。
 - ☛ [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定] > [動作モード]
- 他のモバイルデバイスが [割り込み接続不可] の設定で接続していないことを確認します。
 - ☛ [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定] > [拡張設定] > [会議モード]
- 周囲の無線LAN状況に応じて、[チャンネル] の設定を変更します。
 - ☛ [ネットワーク] > [Screen Mirroring設定] > [拡張設定] > [チャンネル]
- モバイルデバイスの設定を確認します。
 - モバイルデバイスの設定が正しいことを確認します。
 - 接続を終了した直後に再接続するときは、接続までに時間がかかることがあります。しばらくしてから再接続します。
 - モバイルデバイスを再起動します。
 - 一度Screen Mirroringで接続すると、モバイルデバイスに本機の接続情報が記録されることがありますが、この画面からは再接続できないことがあります。接続可能なデバイスの一覧から、再度本機を選択してください。

▶ 関連項目

- 「ネットワークメニュー」 [p.129](#)
- 「ネットワークメニュー - Screen Mirroring設定」 [p.130](#)

Screen Mirroringの映像・音声が乱れる

Screen Mirroringでモバイルデバイスから投写した映像・音声が乱れるときは、次の対処方法を確認してください（EB-1795F/EB-1785W）。

- モバイルデバイスのWi-Fiアンテナ部分を隠さないようにします。
- モバイルデバイスでScreen Mirroringとインターネット接続を同時に行うと、映像が止まったり、ノイズが入ったりすることがあります。無線帯域を確保し、モバイルデバイスの通信速度を向上させるために、インターネット接続を停止します。
- Screen Mirroringで投写できるコンテンツであることを確認します。
- モバイルデバイスの設定によっては、パワーセーブ時に接続が切れることがあります。デバイスの省電力設定などを確認します。
- モバイルデバイスの無線ドライバーやファームウェアを最新の状態に更新します。

▶ 関連項目

- 「モバイルデバイスからのワイヤレス投写（Screen Mirroring）」
[p.104](#)

付録

本機の仕様や使用上の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- 「オプション・消耗品一覧」 [p.175](#)
- 「スクリーンサイズと投写距離」 [p.177](#)
- 「対応解像度」 [p.180](#)
- 「本機仕様」 [p.182](#)
- 「外形寸法図」 [p.184](#)
- 「USBディスプレイのシステム要件」 [p.185](#)
- 「IEC60950-1 A2対応 安全規格対応シンボルマーク」 [p.186](#)
- 「用語解説」 [p.188](#)
- 「一般のご注意」 [p.190](#)

下記のオプション・消耗品を用意しています。用途に合わせてお買い求めください。

これらのオプション品は2016年9月現在のものです。

予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

▶ 関連項目

- ・「スクリーン」 [p.175](#)
- ・「ケーブル」 [p.175](#)
- ・「設置用金具」 [p.175](#)
- ・「外付けオプション」 [p.176](#)
- ・「消耗品」 [p.176](#)

スクリーン

60型スクリーン ELPSC27

80型スクリーン ELPSC28

100型スクリーン ELPSC29

携帯型ロールスクリーンです。（アスペクト比4:3）

64型スクリーン ELPSC31

携帯型マグネットスクリーンです。（アスペクト比4:3）

50型スクリーン ELPSC32

持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。（アスペクト比4:3）

70型スクリーン ELPSC23

80型スクリーン ELPSC24

90型スクリーン ELPSC25

携帯型ロールスクリーンです。（アスペクト比16:10）

80型スプリングローラー式スクリーン ELPSC15

ロールスクリーンです。（アスペクト比16:9）

80型モバイルXタイプスクリーン ELPSC21B

携帯型Xタイプスクリーンです。（アスペクト比16:9）

ケーブル

コンピューターケーブル ELPKC02（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m）

コンピューターケーブル ELPKC09（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用3m）

コンピューターケーブル ELPKC10（ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用20m）

コンピューター端子に接続するときに使います。

コンポーネントビデオケーブル ELPKC19（ミニD-Sub 15pin/RCAオスx3用3m）

コンポーネントビデオを投写するときに使います。

D端子ケーブル ELPKC22（ミニD-Sub 15pin/D端子用3m）

映像機器のD端子と接続するときに使います。

設置用金具

天吊金具 ELPMB23

天井に取り付けるときに使います。

パイプ450（450mm） ELPFP13

パイプ700（700mm） ELPFP14

高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。



天吊り設置には特別な技術が必要です。詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

外付けオプション

電子黒板ユニット **ELPIU02**

投写画面上でコンピューター画面の操作をするときに使います。

書画カメラ **ELPDC21**

書籍やOHP原稿、スライドなどを投写するときに使います。

消耗品

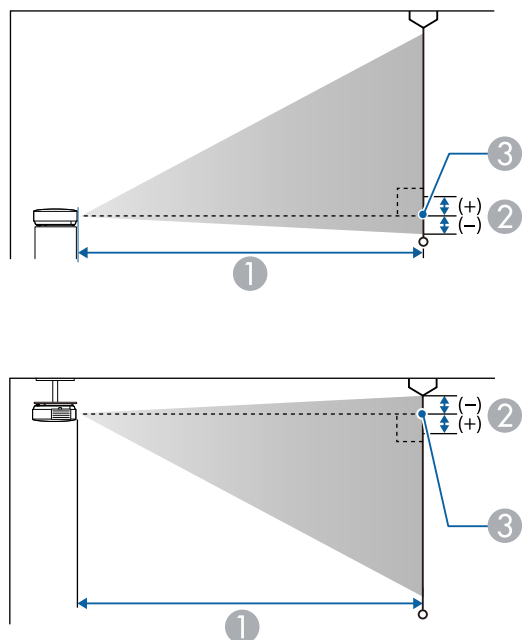
交換用ランプ **ELPLP94**

使用済みランプと交換します。

エアフィルター **ELPAF53**

使用済みエアフィルターと交換します。

この表に従って、スクリーンからプロジェクターまでの距離を、投写映像の大きさに応じて決めます。



- ① 投写距離 (cm)
- ② レンズ中心からスクリーン下端 (天吊りの場合はスクリーン上端) までの高さ (cm)
- ③ レンズ中心

1080p (EB-1795F)

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
30型	66 × 37	67 - 81	-3
40型	89 × 50	90 - 109	-3
50型	111 × 62	113 - 136	-4
60型	133 × 75	135 - 164	-5
80型	177 × 100	181 - 219	-7
100型	221 × 125	227 - 275	-8
150型	332 × 187	342 - 413	-13
200型	443 × 249	457 - 551	-17
250型	553 × 311	571 - 690	-21
300型	664 × 374	686 - 828	-25

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
25型	51 × 38	68 - 83	-3
30型	61 × 46	82 - 100	-3
40型	81 × 61	110 - 133	-4
50型	102 × 76	138 - 167	-5
60型	122 × 91	166 - 201	-6
80型	163 × 122	222 - 269	-8
100型	203 × 152	279 - 337	-10
150型	305 × 229	419 - 506	-15

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
200型	406 × 305	559 - 675	-20
245型	498 × 373	686 - 828	-25

16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
30型	65 × 40	72 - 88	-3
40型	86 × 54	97 - 118	-4
50型	108 × 67	122 - 148	-5
60型	129 × 81	147 - 177	-5
70型	151 × 94	171 - 207	-6
80型	172 × 108	196 - 237	-7
100型	215 × 135	246 - 297	-9
150型	323 × 202	370 - 447	-14
200型	431 × 269	494 - 596	-18
250型	538 × 337	618 - 746	-23
275型	592 × 370	680 - 821	-25

WXGA (EB-1785W/EB-1781W/EB-1780W)

16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
30型	65 × 40	67 - 80	-4

16 : 10スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
40型	86 × 54	89 - 108	-5
50型	108 × 67	112 - 135	-6
60型	129 × 81	135 - 162	-7
80型	172 × 108	181 - 217	-10
100型	215 × 135	226 - 271	-12
150型	323 × 202	340 - 408	-18
200型	431 × 269	454 - 545	-24
250型	538 × 337	567 - 681	-31
300型	646 × 404	681 - 818	-37

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
28型	57 × 43	71 - 85	-4
30型	61 × 46	76 - 91	-4
40型	81 × 61	102 - 122	-6
50型	102 × 76	127 - 153	-7
60型	122 × 91	153 - 184	-8
80型	163 × 122	205 - 246	-11
100型	203 × 152	256 - 308	-14
150型	305 × 229	385 - 462	-21
200型	406 × 305	514 - 617	-28
250型	508 × 381	643 - 771	-35

4 : 3スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
260型	528 × 396	668 - 802	-36

16 : 9スクリーンサイズ		①	②
		最短 (ワイド) ~ 最長 (テレ)	
30型	67 × 38	69 - 83	-2
40型	50 × 89	92 - 111	-2
50型	111 × 62	115 - 139	-3
60型	133 × 75	139 - 167	-3
70型	155 × 87	162 - 195	-4
80型	177 × 100	186 - 223	-5
100型	221 × 125	232 - 279	-6
150型	332 × 187	349 - 419	-8
200型	443 × 249	466 - 560	-11
250型	553 × 311	583 - 700	-14
280型	620 × 349	653 - 784	-16

映像信号ごとのリフレッシュレートと解像度を示します。

コンピューター映像（アナログRGB）

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60/72/75/85	640 × 480
SVGA	60/72/75/85	800 × 600
XGA	60/70/75/85	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 768
	60	1366 × 768
	60/75/85	1280 × 800
WXGA+	60/75/85	1440 × 900
WXGA++	60	1600 × 900
SXGA	70/75/85	1152 × 864
	60/75/85	1280 × 960
	60/75/85	1280 × 1024
SXGA+	60/75	1400 × 1050
WSXGA+ *	60	1680 × 1050
UXGA	60	1600 × 1200

* [映像] メニューの [入力解像度] で [ワイド] を選択しているときのみ

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。ただし、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i/1080p *)	50/60	1920 × 1080

* コンピューター端子からの映像信号のみ

コンポジットビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
TV (NTSC)	60	720 × 480
TV (SECAM)	50	720 × 576
TV (PAL)	50/60	720 × 576

HDMI入力

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 × 480
SVGA	60	800 × 600
XGA	60	1024 × 768
WXGA	60	1280 × 800
		1366 × 768
WXGA+	60	1440 × 900
WXGA++	60	1600 × 900
UXGA	60	1600 × 1200
WSXGA+	60	1680 × 1050

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
SXGA	60	1280 × 960
	60	1280 × 1024
SXGA+	60	1400 × 1050
WUXGA *	60	1920 × 1200
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	24/30/50/60	1920 × 1080

* EB-1795Fのみ

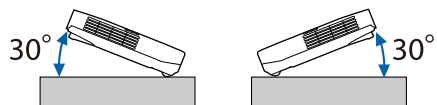
MHL入力

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度 (ドット)
VGA	60	640 × 480
SDTV (480i/480p)	60	720 × 480
SDTV (576i/576p)	50	720 × 576
HDTV (720p)	50/60	1280 × 720
HDTV (1080i)	50/60	1920 × 1080
HDTV (1080p)	24/30	1920 × 1080

商品名	EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W/EB-1780W
外形サイズ	幅292 × 高さ44 × 奥行き213 mm (突起部を含まず)
液晶パネルサイズ	EB-1795F : 0.61型 EB-1785W/EB-1781W/EB-1780W : 0.59型
表示方式	ポリシリコンTFT アクティブマトリクス
画素数	EB-1795F : 2,073,600個 1080p (横1920 × 縦1080ドット) × 3 EB-1785W/EB-1781W/EB-1780W : 1,024,000個 WXGA (横1280 × 縦800ドット) × 3
フォーカス調整	EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W : 電動 EB-1780W : 手動
ズーム調整	1-1.2
ランプ	EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W : UHEランプ 定格214 W 型番 : ELPLP94 EB-1780W : UHEランプ 定格206 W 型番 : ELPLP94
ランプ寿命	節電メニューの明るさ切替が高の場合 : 約4,000時間 節電メニューの明るさ切替が低の場合 : 約7,000時間
音声最大出力	1W
スピーカー	1個

電源	EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W : 100-240V AC±10% 50/60Hz 3.2 - 1.4 A EB-1780W : 100-240V AC±10% 50/60Hz 3.0 - 1.3 A
消費電力 (100-120V エリア)	EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W : 定格消費電力 : 309 W 待機時消費電力 : 0.18 W EB-1780W : 定格消費電力 : 290 W 待機時消費電力 : 0.18 W
消費電力 (220-240V エリア)	EB-1795F/EB-1785W/EB-1781W : 定格消費電力 : 295 W 待機時消費電力 : 0.34 W EB-1780W : 定格消費電力 : 277 W 待機時消費電力 : 0.34 W
動作高度	標高 0~3,000 m
動作温度範囲	+5~+40°C (結露しないこと) (標高 0~2,286 m) +5~+35°C (結露しないこと) (標高 2,287 m以上)
保存温度範囲	-10~+60 °C (結露しないこと)
質量	EB-1795F : 約1.83 kg EB-1785W/EB-1781W : 約1.81 kg EB-1780W : 約1.77 kg

傾斜角度



30°以上傾けてお使いになると、故障や事故の原因となります。

▶ 関連項目

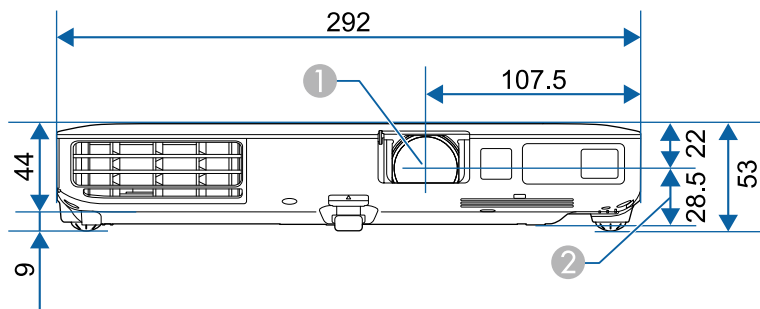
- ・ 「接続端子」 p.183

接続端子

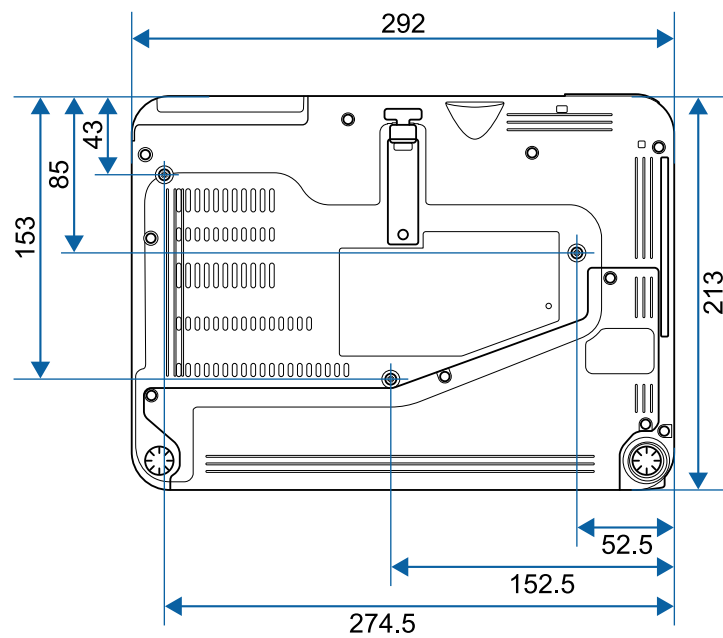
コンピューター端子	1系統	ミニD-Sub 15pin (メス)
ビデオ端子	1系統	RCAピンジャック
音声入力端子	1系統	ステレオミニピンジャック
HDMI端子	1系統	HDMI (音声はPCMにのみ対応)
USB-A端子	1系統	USBコネクタ (Aタイプ)
USB-B端子	1系統	USBコネクタ (Bタイプ)



- ・ USB-A端子とUSB-B端子はUSB2.0に対応しています。ただし、USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。
- ・ USB-B端子はUSB 1.1には対応していません。



- ① レンズ中心
- ② レンズ中心から天吊り固定部までの寸法



単位：mm

USBディスプレイは以下の条件を満たすコンピューターで使用できます。

条件	Windows	Mac
OS	Windows Vista <ul style="list-style-type: none"> • Ultimate (32ビット) • Enterprise (32ビット) • Business (32ビット) • Home Premium (32ビット) • Home Basic (32ビット) 	OS X <ul style="list-style-type: none"> • 10.7.x (32/64ビット) • 10.8.x (64ビット) • 10.9.x (64ビット) • 10.10.x (64ビット) • 10.11.x (64ビット)
	Windows 7 <ul style="list-style-type: none"> • Ultimate (32/64ビット) • Enterprise (32/64ビット) • Professional (32/64ビット) • Home Premium (32/64ビット) • Home Basic (32ビット) • Starter (32ビット) 	
	Windows 8 <ul style="list-style-type: none"> • Windows 8 (32/64ビット) • Windows 8 Pro (32/64ビット) • Windows 8 Enterprise (32/64ビット) 	
	Windows 8.1 <ul style="list-style-type: none"> • Windows 8.1 (32/64ビット) • Windows 8.1 Pro (32/64ビット) • Windows 8.1 Enterprise (32/64ビット) 	









条件	Windows	Mac
	Windows 10 <ul style="list-style-type: none"> • Windows 10 Home (32/64ビット) • Windows 10 Pro (32/64ビット) • Windows 10 Enterprise (32/64ビット) 	
CPU	Intel Core2Duo 以上 (推奨: Intel Core i3 以上)	Intel Core2Duo 以上 (推奨: Intel Core i5 以上)
メモリー容量	2GB 以上 (推奨: 4GB 以上)	
ハードディスク 空き容量	20 MB以上	
ディスプレイ	640 × 480から1920 × 1200までの解像度 16ビットカラー以上	




Service PackがインストールされていないWindows Vista と Windows Vista Service Pack 1は動作保証の対象外です。

製品上にシンボルマークが表示されている場合は、それぞれ以下の意味を持っています。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
①		IEC60417 No.5007	電源ON 電源への接続を示す。
②		IEC60417 No.5008	電源OFF 電源からの切り離しを示す。
③		IEC60417 No.5009	スタンバイ 機器・装置の一部だけを通電状態にし、機器・装置を待機状態にするためのスイッチまたはその位置を示す。
④		ISO7000 No.0434B, IEC3864-B3.1	注意 製品取扱時の全般的な注意を示す。
⑤		IEC60417 No.5041	注意（高温） 高温の可能性があり、不注意に触れない方がよい箇所であることを示す。
⑥		IEC60417 No.6042 ISO3864-B3.6	注意（感電危険） 感電（電撃）の危険性がある機器・装置であることを示す。
⑦		IEC60417 No.5957	屋内専用 屋内使用専用を目的とする電気機器・装置であることを表す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
⑧		IEC60417 No.5926	直流電源コネクタ極性 直流電源を接続してもよい機器のプラスおよびマイナス電極の接続を示す。
⑨		—	No.8と同じ
⑩		IEC60417 No.5001B	電池（一般） 電池を電源とする機器・装置に使用する。電池装着部分のカバーまたは接続端子を示す。
⑪		IEC60417 No.5002	電池の向き 電池ケース本体および電池ケース内での向きを示す。
⑫		—	No.11と同じ
⑬		IEC60417 No.5019	保護接地 障害発生時の電撃（感電）保護用外部導体への接続端子または保護接地極の端子であることを示す。
⑭		IEC60417 No.5017	アース No.13の使用が明示的に要請されない場合の接地（アース）端子であることを示す。
⑮		IEC60417 No.5032	交流 交流専用の機器・装置であり、交流に対応する端子であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
16		IEC60417 No.5031	直流 直流専用の機器・装置であり、直流に対応する端子であることを示す。
17		IEC60417 No.5172	クラスII 機器 JIS C 9335-1/JIS C 8105-1でクラスII 機器と規定した安全性要求事項に適合する機器・装置であることを示す。
18		ISO 3864	一般的な禁止 特定しない一般的な禁止通告を示す。
19		ISO 3864	接触禁止 機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
20		—	プロジェクター動作中の投写レンズ覗きこみ禁止を示す。
21		—	プロジェクターの上に物を置いてはならないことを示す。
22		ISO3864 IEC60825-1	注意（レーザー放射） 製品上に注意が必要なレベルのレーザー放射部があることを示す。
23		ISO 3864	分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止通告を示す。
24		IEC60417 No. 5266	待機、一部待機 機器・装置の一部が準備状態であることを示す。

No.	シンボルマーク	対応規格	説明
25		ISO3864 IEC60417 No. 5057	注意（可動部品） 保護規定上、可動部品から離れなければならないことを示す。

本書で使用している用語で、本文中に説明がないものや難しいものを簡単に説明します。詳細は市販の書籍などでご確認ください。

アスペクト比	画面の横と縦の比率をいいます。 横：縦の比率が16：9の、HDTVなどの画面をワイド画面といえます。 SDTVや、一般的なコンピューターのディスプレイのアスペクト比は4：3です。
コンポーネントビデオ	映像信号を、輝度信号（Y）や青色差信号（CbまたはPb）と赤色差信号（CrまたはPr）に分離して伝送する方式です。
コンポジットビデオ	映像信号の輝度信号や色信号を、1本のケーブルで伝送する方式です。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がはっきり見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といえます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DICOM	Digital Imaging and Communication in Medicineの略称です。 医用画像の画像規格および通信プロトコルを定義した世界標準規格です。
ゲートウェイアドレス	サブネットマスクによって分割したネットワーク（サブネット）を超えて通信するためのサーバー（ルーター）のことです。

HDCP	High-bandwidth Digital Content Protectionの略です。 DVIやHDMI端子を経由して送受信するデジタル信号を暗号化し、不正なコピーを防止する著作権保護技術です。 本機のHDMI端子はHDCPに対応しているため、HDCP技術で保護されたデジタル映像を投写できます。 ただし、HDCPの規格変更等が行われたときは、変更後の規格で保護されたデジタル映像を投写できなくなる場合があります。
HDMI™	High Definition Multimedia Interfaceの略で、デジタル家電やコンピューター向けの規格です。HD映像とマルチチャンネルオーディオ信号をデジタル伝送できます。 デジタル信号を圧縮せず高品質のまま転送できます。デジタル信号の暗号化機能もあります。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・ 垂直解像度720p、1080i以上（pはプログレッシブ走査、iはインターレース走査） ・ 画面のアスペクト比は16：9
インフラストラクチャーモード	無線LANの通信方式の一つで、各機器がアクセスポイントを経由して通信を行います。
インターレース	1つの画面を作り出す情報を上から下へ1つ飛ばしに伝送します。 1フレームの表示が1ラインおきとなるため、ちらつき（フリッカー）が出やすくなります。
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピューターを識別するための数字のことです。
MHL	Mobile High-definition Linkの略で、スマートフォンやタブレット端末などの携帯機器向けの接続インターフェース規格です。 画像データを圧縮することなく高速、高品質で伝送することができ、接続された機器の充電も可能です。

プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を一度で映し出して1フレーム分の映像を表示します。 そのため走査線の本数が同じでもインターレースと比べて時間あたりの情報量が2倍になるためちらつきが少ない映像になります。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。 そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。 その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ (Hz) で表します。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビ放送のことです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピューターのオペレーティングシステム (OS) やインターネットで簡単に対処するために規定された、色空間に関する国際標準です。接続している機器にsRGBモードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGBに設定します。
SSID	SSIDは、無線LANの環境で相手と接続するための識別データです。SSIDが一致している機器同士で無線通信できます。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク (サブネット) のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
SVGA	画面サイズの規格で、横800ドット×縦600ドットのものと呼ばれます。
SXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦1,024ドットのものと呼ばれます。

同期	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の位相 (山のずれ) を合わせることを「同期を合わせる」といいます。 同期が合っていないと映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
トラッキング	コンピューターから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。 その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないと、きれいな映像になりません。 信号の周波数 (山の数) を合わせることを「トラッキングを合わせる」といいます。 トラッキングが合っていないと映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
VGA	画面サイズの規格で、横640ドット×縦480ドットのものと呼ばれます。
XGA	画面サイズの規格で、横1,024ドット×縦768ドットのものと呼ばれます。
WXGA	画面サイズの規格で、横1,280ドット×縦800ドットのものと呼ばれます。

本機をお使いの際の注意事項については、以下の項目をご確認ください。

▶ 関連項目

- ・「電波法による規制」 p.190
- ・「使用限定について」 p.190
- ・「本機を日本国外へ持ち出す場合の注意」 p.190
- ・「瞬低（瞬時電圧低下）基準について」 p.190
- ・「JIS C 61000-3-2適合品」 p.190
- ・「表記について」 p.190
- ・「商標について」 p.191
- ・「ご注意」 p.191
- ・「著作権について」 p.192

電波法による規制

電波法により次の行為は禁止されています。

- ・ 改造および分解（アンテナ部分を含む）
- ・ 適合証明ラベルの剥離
- ・ 5 GHz帯無線LANの屋外での使用

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませ

るので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本機を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源コードは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外でお使いになるときは、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源コードを現地にてお求めください。

瞬低（瞬時電圧低下）基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

表記について

- ・ Microsoft® Windows Vista® operating system
- ・ Microsoft® Windows® 7 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 8 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 8.1 operating system
- ・ Microsoft® Windows® 10 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows Vista」、「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」、「Windows 10」と表記しています。また、これらを総称する場合は「Windows」と表記します。

- OS X 10.7.x
- OS X 10.8.x
- OS X 10.9.x
- OS X 10.10.x
- OS X 10.11.x

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」、「OS X 10.10.x」、「OS X 10.11.x」と表記しています。また、これらを総称する場合は「OS X」と表記します。

MHLとMHLのロゴ、及びMobile High-Definition Linkは、米国およびその他の国におけるMHL、LLCの商標または登録商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

Foxit PDF SDK Copyright ©2011, Foxit Software Company
www.foxitsoftware.com, All rights reserved.

Intel®は、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標です。

Miracast™は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。

Nマークは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

商標について

「EPSON」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。「EXCEED YOUR VISION」、「ELPLP」はセイコーエプソン株式会社の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS Xは、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Windows ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

WPA™、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Allianceの登録商標です。

App Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。

Google Playは、Google Inc.の商標です。

HDMIとHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。 

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。

(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせ先」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2016. All rights reserved.

2016.9 413319200JA